

ITEM 60316

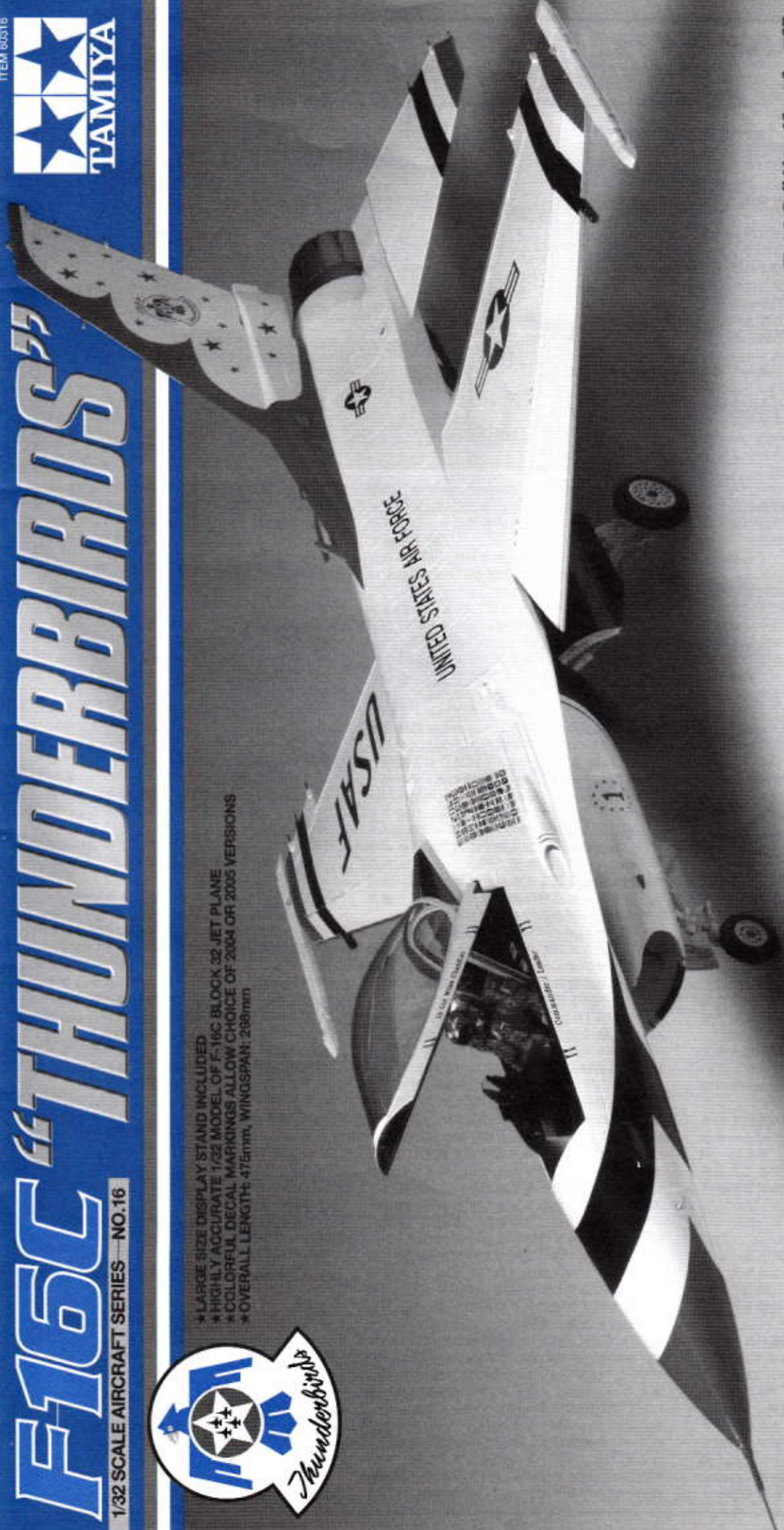


# F16C "THUNDERBIRDS"

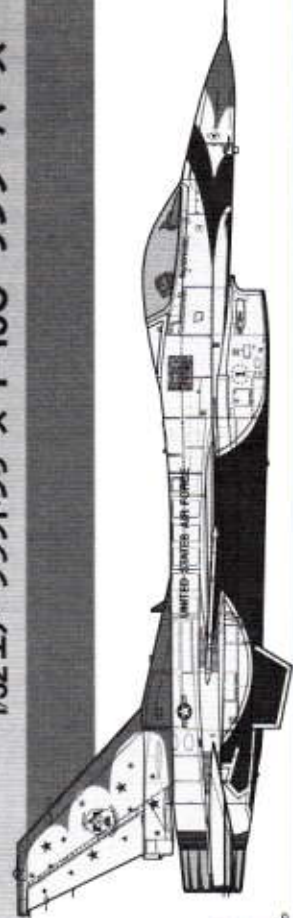
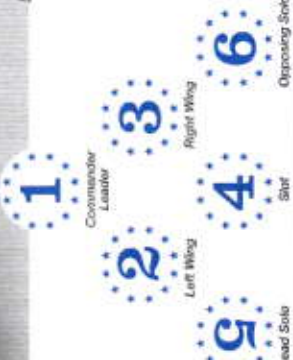
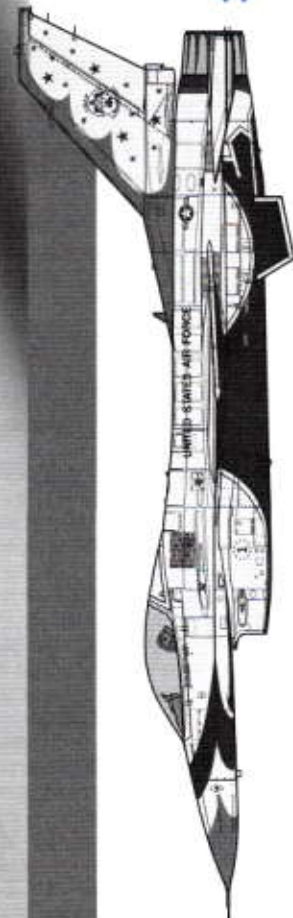
1/32 SCALE AIRCRAFT SERIES - NO.16



- \* LARGE SIZE DISPLAY STAND INCLUDED
- \* HIGHLY ACCURATE 1/32 MODEL OF F-16C BLOCK 32 JET PLANE
- \* COLORFUL DECAL MARKINGS ALLOW CHOICE OF 2004 OR 2005 VERSIONS
- \* OVERALL LENGTH: 475mm, WINGSPAN: 208mm



1/32 エアークラフトシリーズ F-16C "サンダーバーズ"



# F16C "THUNDERBIRDS"

整列したパイロットが搭乗機に向かって歩き出す。ウォークダウンからショーははじまる。すべてのクルーが指先まで神経を使った無駄のない洗練された動きでショーを進行する。パイロットが機体に入り込み、エンジンスタート。グラウンドクルーとのサムアップのやり取りで機体はいよいよ動き出す。きれいな隊列でタキシング、滑走路に入りエンジン音の高まりと共に観客の興奮はいやが上にも盛り上がっていく。

編隊での離陸、大空に繰り広げられる息もつかせぬ演技の数々。次々と隊形を変えていく密集した編隊飛行にソロでの演技も加わり、観客の目は大空に注がれる。機体が見せるシャープな挙動、飛行の軌跡がスモークとなって残る。性能をフルに引き出したアक्रバットは操縦テクニックの見事さと相まって見るものを魅了してやまない。数あるアक्रバットチームの中でもその見事な演技が「パーフェクトショー」と称されて世界の指標とされているのがアメリカ空軍「サンダーバード」です。

## ■ジェット機アक्रバットの草分け「サンダーバード」

パイロットの操縦技術の向上と隊員の士気を高めることを目的の一つとしたアक्रバットチーム。航空自衛隊の「ブルーインパルス」をはじめ各国がトップレベルのパイロットを集めてチームを編成、その技量を競っています。

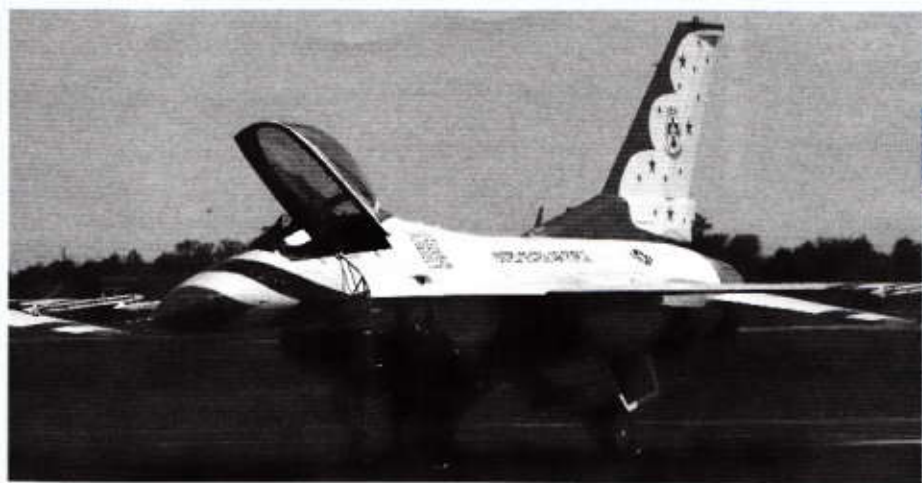
トップクラスのアक्रバット技術で世界をリードするアメリカ空軍「サンダーバード」は1953年5月25日に誕生。アリゾナ州ルーク空軍基地で第3600航空デモンストレーションチームとして編成され、その歴史は始まりました。チーム名「サンダーバード」はルーク基地がある南西アメリカに居住するインディアンに伝わる伝説の鳥、「サンダーバード」に由来しています。初代の使用機にはジェット戦闘機のリパブリックF-84サンダージェットが選ばれ、「サンダーバード」は世界で最も早くジェット機によるアक्रバットをはじめたチームのひとつとなったのです。メンバーはサンダージェットの飛行訓練を担当する高等飛行訓練飛行隊の教官パイロットを中心に編成されました。最初にアक्रバットが一般公開されたのは1953年の7月19日。ワイオミング州シャイアンで開催されたロデオ大会でのことでした。翌1954年には中南米ツアーを実施し、11ヶ国でアक्रバット飛行を披露。ツアー終了後、機体には訪問国の国旗が描き込まれ、このマーキングは現在に至るまで引き継がれています。

チーム結成からジェット戦闘機を使用した「サンダーバード」に託された役割の中で最も重要だったのはジェット戦闘機に対する信頼性を高めることです。1950年に勃発した朝鮮戦争で本格的な実戦登場したジェット戦闘機でしたが、当時はまだメカニズムの面でも操縦技術の面でも安定性に欠けたため事故や故障が発生。このままでは兵士の士気にも影響しかねないとの危機感が生まれていました。そこでアक्रバットチームを結成し、ジェット戦闘機の性能を引き出す飛行を行い、その能力を広くアピールすることこそが最も重要だったのです。さらに、世界各国でアक्रバット飛行を披露することは外交使節のひとつとして国際親善の役割も期待されていました。

## ■世界最初の超音速アक्रバットチーム

1955年のはじめに「サンダーバード」は2代目となる後継機F-84Fサンダーストリークに機種を変換。この時初めてスモークを発生する装置が取り付けられました。大空に飛行の軌跡を残して展開される演技は観客の注目をいっそう高めることになったのです。

1956年に使用機は3代目に引き継がれ、基地もネバダ州ネリス基地へと移されます。3代目に選ばれたのはアメリカ空軍が世界に先駆けて実戦配備した超音速戦闘機ノースアメリカンF-100スーパーセイバー。この機種変換により「サンダーバード」は世界初の超音速アक्रバットチームとなり、展示飛行ではソロ機が超音速でのパスも披露していました。1959年には初の極東ツアーの一環として来日。横田基地での展示飛行の際は当時の航空自衛隊関係者も見学し、



その後の航空自衛隊「ブルーインパルス」の誕生にも大きな影響を与えることになったのです。1963年12月17日のショーを最後にチームはリパブリックF-105Bサンダーチーフに機種変換を行いました。翌年、機体のトラブルにより、原因究明のためF-105B全機が飛行停止となってしまいました。そのため「サンダーバード」は急遽F-100Dを導入することになったのです。

1969年からは初の双発機マクダネルF-4EファントムIIが使用機となります。圧倒的なパワーを持つファントムの使用は「サンダーバード」の演技を豪快でダイナミックなものとしたのです。加えて、それまで無塗装の金属地肌、ナチュラルメタルの上に赤白青のカラーリングが施されていたが、ファントムからは機体全体を白く塗装し、そこに赤青のストライプを入れた現在の「サンダーバード」に見られる配色となりました。機体下面には伝説の鳥「サンダーバード」のカラーリングがこの時に完成したのです。

1974年からは練習機のノースロップT-38Aタロンに機種変換。石油危機や環境問題がクローズアップされる中、燃費の悪いファントムからの機種変換を余儀なくされた結果でした。小型軽量のタロンは運動性能に優れ、スピード感あふれるシャープな演技が人気を集めました。

## ■F-16「サンダーバード」の誕生

そして迎えた1983年、すぐれた運動性能に着目した「サンダーバード」はタロンに続く使用機として当時最新鋭戦闘機として配備がはじまっていたF-16を選択。ホームベースのネリス基地で1983年4月2日、F-16Aを使った「サンダーバード」は公式デビューを果たしたのです。

ジェネラルダイナミクス社によって開発された多用途戦闘機F-16の開発は1972年にスタートし、1974年の2月に初飛行。1975年1月にはアメリカ空軍への採用が決定しました。その後、実用化に向けたテストが繰り返され、最初の量産型F-16Aは1978年12月より部隊配備が開始されたのです。当時の最先端技術を駆使したF-16は静安定緩和技術とフライ・バイ・ワイヤの組合せですぐれた運動性を生み出し、主翼と胴体をスムーズに融合させるブレンデッド・ウイングボディの採用で軽量化も実現。さらに、主翼の付け根から機首まで延びたスレーキにより、あらゆる速度や飛行姿勢ですぐれた飛行特性を發揮。ハイレベルな曲技飛行をする「サンダーバード」にふさわしい性能の機体でした。将来の発展性をも視野に入れた設計が施されたF-16はその後改良が進められ、段階ごとにブロック15、ブロック25といった名称で呼ばれています。1983年、最初の量産型F-16Aを装備した「サンダーバード」は、1992年に第3段階の改良を加えられたF-16Cブロック32へと機種変換。常に世界最高峰のアक्रバットチームであり続けるためのアップデートが行われているのです。

チームの機体はレーダーと20mm機関砲が取り外され、スモークオイル用タンクを搭載した発煙装置が装備されている以外は、通常の機体と変わりはありません。そして有事の際には72時

間以内に実戦状態に戻せるようになっています。1992年からの使用機F-16Cブロック32は最大推力23770ポンドを発生するF100-PW-220エンジンを搭載し、レーダーにはAPG-68(V)を装備。コックピットには2基のCTRディスプレイと大視野型ヘッドアップディスプレイが採用され、1987年7月から部隊配備が開始されています。

「サンダーバード」の展示飛行は4機編隊とソロ2機の6機が基本となります。ダイヤモンド編隊をはじめ、各種の隊形でのループやロール。そこにソロも加わり約45分の展示飛行では40課目にも及ぶ演技が繰り広げられます。6機のリーダーを務めるのが1番機。演技のタイミングなど、すべては1番機の指示のもとに繰り広げられます。ダイヤモンド編隊でリーダーの左後方に位置するのがライトウイングと呼ばれる2番機です。右後方にはライトウイングの3番機が、最後尾にはスロットの4番機が加わり、編隊演技を担当します。そして5番機はリードソロ。演技の中では背面飛行をすることが多く、機体ナンバーが上下逆さまに描かれています。もう1機のソロ、オボジグソロが6番機でリードソロと共に2機での演技も担当します。2機のソロがバック・トゥバックで軌道飛行する「カリブ・パス」や左右から侵入して交差する「ナイフ・エッジ」などはソロの演技の見どころです。

チームの活動は毎年3月から11月まで行われ、年間約70回の展示飛行を繰り広げています。パイロットは通常2年、下士官が3年で交代します。1959年の初来日後、一般公開はなかったものの1987年にも来日し、1994年には三沢基地で35年ぶりの一般公開、2004年にはパシフィックツアーの一環として4度目の来日を果たしています。2004年のパシフィックツアーでは、残念ながら日本での演技は天候不順により行われませんでした。その後のグアム、韓国ではダイナミックなアक्रバットを披露しました。2005年シーズンは2年目となるマイケル・J・チャンドラー中佐が搭乗する1番機をリーダーにラスティ・ケーン少佐(2番機)、ブライアン・バーンズ少佐(3番機)、スティーブ・ホートン少佐(4番機)、そしてリードソロはスコット・ゲム少佐(5番機)、オボジグソロを担当するブライアン・ファーラー少佐(6番機)を中心に演技が行われています。さらに、ナレーターを含め将校や下士官など、約100名にもなるスタッフが常にチームをサポートしているのです。半世紀以上にもわたりジェット機によるアक्रバットの歴史を刻んできたアメリカ空軍「サンダーバード」、世界60ヶ国、延べ3億人以上の人の前で演技を披露してきた「サンダーバード」はこれからも世界最高のアक्रバットチームとして多くのファンを魅了し続けることでしょう。

## 〔F-16Cブロック32 主要データ〕

|      |             |
|------|-------------|
| 全長   | 14.94 m     |
| 全幅   | 9.45 m      |
| 全高   | 6.7 m       |
| エンジン | F100-PW-220 |
| 最大速度 | マッハ2.0      |

Aerobatic display teams are comprised of elite pilots gathered to undertake public performances of aerial maneuvers, demonstrating the finely polished skills of the pilots and the technology of modern high-performance aircraft. World renowned teams include the U.S. Air Force "Thunderbirds," U.S. Navy "Blue Angels," Royal Air Force "Red Arrows," the French Patrouille de France, and the Italian Freccia Tricolori.

#### U.S. Air Force "Thunderbirds"

The USAF "Thunderbirds" were founded as the 3600th Air Demonstration Unit in May, 1953. Based at Luke Air Force Base, Arizona, the team adopted the name "Thunderbirds" due to the strong American-Indian culture of the southwest where Luke is located. The thunderbird is a bird which exists in American-Indian legend, and with nothing in nature able to challenge it, the thunderbird embodies great fear and respect. The first aircraft chosen for the "Thunderbirds" was the Republic F-84G Thunderjet. The 4-plane team, consisting of a team leader, two wingmen and a slot pilot, performed their first official public air show on July 19, 1953. The following year they undertook their first overseas tour, performing in 11 countries in Central and South America. Following the tour, on the upper-left side of the fuselage they placed a flag of each country they performed in. This tradition continues today, with more than 60 countries represented.

Flying jet aircraft, the "Thunderbirds" were served with a very important mission, prove the reliability of these new jet planes. Jet fighters were first used in combat by the U.S. in the 1950's during the Korean War, where they were earning a reputation of being unreliable and dangerous. It was hoped that establishing an aerobatic display team like the "Thunderbirds" would not only reinforce public confidence in this new technology, but also strengthen morale within the Air Force itself. Other major objectives of the team were to support recruiting programs, fine-tune piloting skills, demonstrate the full capabilities of new jet fighter technology, and to promote international goodwill.

Teams für Kunstflug-Vorführungen bestehen aus Elitepiloten, die speziell ausgesucht werden, um öffentliche Vorführungen von Flugmanövern darzubieten und dabei das ausgefeilte Können der Piloten und die Technologie moderner Hochleistungs-Flugzeuge zu demonstrieren. Zu den weltberühmten Teams gehören die US Air Force "Thunderbirds," US Navy "Blue Angels," Royal Air Force "Red Arrows," die Französische "Patrouille de France" und die Italienische "Freccia Tricolori."

#### US Air Force "Thunderbirds"

Die USAF "Thunderbirds" wurden als die 3600. Luft-Vorführungs-Einheit im Mai 1953 gegründet. Stationiert auf dem Luftwaffenstützpunkt Luke in Arizona, gab sich das Team den Namen "Thunderbirds" entsprechend der starken Amerikanisch-Indianischen Kultur des Südwestens, wo Luke liegt. Der Donnervogel ist ein Vogel, welcher nur in der Amerikanisch-Indianischen Legende existiert und da es nichts in der Natur gibt, was ihn herausfordern könnte, verkörpert er tiefe Ehrfurcht und Respekt. Das erste Flugzeug, welches sich die "Thunderbirds" auswählten war die Republic F-84G Thunderjet. Das Team aus 4 Flugzeugen, bestehend aus dem Teamleiter, zwei Flügelmannern und dem Spaltipiloten, zeigte seine erste öffentliche Vorführung am 19. Juli 1953. Im darauf folgenden Jahr unternahm sie ihre erste Übersee-tour mit Vorführungen in 11 Ländern in Zentral- und Südamerika. Im Anschluss an die Tour platzierten sie links oben auf dem Rumpf eine Fahne jeden Landes, in dem sie aufgetreten waren. Diese Tradition besteht noch heute, es sind mehr als 60 Länder repräsentiert.

Durch das Fliegen mit Düsenflugzeugen waren die "Thunderbirds" zugleich mit einer sehr wichtigen Mission beauftragt, nämlich die Zuverlässigkeit dieser neuen Düsenflugzeuge zu beweisen. Düsenjäger wurden von den USA erstmals 1950 während des Koreakriegs im Kampf eingesetzt, wo sie sich den Ruf einhandelten, unzuverlässig und gefährlich zu sein. Man hatte die Hoffnung, dass die Einrichtung einer Kunstflugstaffel wie der "Thunderbirds" nicht nur das öffentliche Vertrauen in diese neue Technologie wiederherstellen sondern auch die Moral innerhalb der Air Force selbst bestärken könnte. Andere wichtige Anliegen des Teams waren die Unterstützung eines Rekrutierungsprogramms, die Verfeinerung des fliegerischen Könnens, die Demonstrierung der gesamten Möglichkeiten der neuen Düsenjäger-Technologie und das Voranbringen des internationalen Ansehens.

Das allererste Überschall-Vorführteam der Welt 1955 wechselten die "Thunderbirds" den Flugzeugtyp von der F-84G Thunderjet auf die F-84F Thunderstreak mit gepfeilten Flügeln. Die F-84F war das erste Thunderbird-Flugzeug, das mit Rauchpatronen ausgerüstet war, was einen zusätzlichen Showeffekt

#### The World's First Ever Supersonic Demonstration Team

In 1955 the "Thunderbirds" changed aircraft type from the F-84G Thunderjet to the swept-wing F-84F Thunderstreak. The F-84F was the first "Thunderbirds" plane to be fitted with smoke tanks, adding extra showmanship to their already crowd-pleasing performances. The following year they adopted the new F-100C Super Sabre and moved to Nellis Air Force Base, Nevada, where they have remained based ever since. The F-100C Super Sabre landed the "Thunderbirds" the honor of being the first ever supersonic aerial demonstration team. Until banned by the US Federal Aviation Authority (FAA), upon request of the air show organizer, a solo Thunderbird would fly supersonic as part of their performance. Used until 1963, the F-100C was replaced with the F-105B Thunderchief. Due to safety concerns the Thunderchief performed only 6 shows before being replaced by the F-100D Super Sabre.

From 1969, the "Thunderbirds" adopted the F-4E Phantom II, giving them their first 2-engine aircraft. Big, heavy and powerful, the Phantom II added a whole new dynamic dimension to their performance. The Phantom also brought with it a color change, with the previously unpainted silver fuselage now featuring a coat of pure white coloring. This white coloring has been used on all Thunderbird aircraft since.

#### Phantom II to Fighting Falcon

The 1973 energy crisis brought an abrupt end to the fuel hungry F-4E Phantom II, with the "Thunderbirds" adopting their first ever non-combat aircraft, the T-38A Talon. Although a training aircraft, the supersonic Talon was sleek, swift, highly maneuverable and economical, making it ideal for aerobatic performance. In 1983, the "Thunderbirds" went back to flying the latest fighter jets with the Talon replaced by the all new F-16A Fighting Falcon. In 1992 the F-16A was replaced with the new Pratt & Whitney F100-P&W-220 engine powered F-16C Block 32, which still remains the "Thunderbirds" aircraft of choice. Apart from removal of radar and 20mm can-

non, and the addition of a smoke generator, the F-16C used by the "Thunderbirds" remains the same as those delivered to combat units, and if necessary can be made combat ready in less than 72 hours.

A standard Thunderbird performance involves 6 aircraft, 4 aircraft flying in formation and 2 aircraft performing solo routines, with repertoire ranging from diamond and delta formation to loops and rolls. A standard performance is approximately 1 hour, featuring a set of about 40 different routines. The performing season lasts from March to November, with the team performing about 70 times during the one season. The winter months are used for training new personnel, with pilots serving an average of 2 years and enlisted corps serving 3-4 years. Nearly a third of all support personnel are replaced each year.

For the 2005 season the "Thunderbirds" are led by Lt. Col. Mike Chandler in the No.1 jet. Lt. Col. Chandler leads all air demonstrations and is in charge of the 130-person squadron. Maj. Rusty Keen flies the No.2 jet (left wingman), Maj. Brian Burns flies the No.3 jet (right wingman), and Maj. Steve Horton flies the No.4 jet (slot pilot). Maj. Scottie Zamzow flies the No.5 jet as lead solo, and Maj. Brian Farrar flies the No.6 jet as the opposing solo.

Performing for more than 50 years, the long history of the "Thunderbirds" has seen the team visit more than 60 countries around the world, perform in front of more than 300 million people on more than 3,800 occasions, and broadcast an official air demonstration live over the internet. Always thrilling spectators around the world, the continue to serve as noble ambassadors of the U.S. Air Force.

#### F-16C Block 32 Main Specifications

Fuselage length: 14.94m  
Wing span: 9.45m  
Overall height: 6.7m  
Engine: F100-PW-220  
Max. speed: Mach 2.0

zu ihren bereits begeistert aufgenommenen Vorführungen ergab. Im darauf folgenden Jahr übernahmen sie die neue F-100C Super Sabre und änderten ihren Standort auf den Luftwaffenstützpunkt Nellis in Nevada, wo sie seither stationiert blieben. Die F-100C Super Sabre verschaffte den "Thunderbirds" die Ehre, das erste Flugschauteam überhaupt mit Überschallmaschinen zu sein. Bis zum Verbot durch die US Luftfahrt-Aufsichtsbehörde (FAA) sollte auf Bitten der Veranstalter der Flugschau ein einzelner Thunderbird als Teil ihrer Vorführungen Überschall fliegen. Nachdem sie bis 1963 eingesetzt war, wurde die F-100C durch die F-105B Thunderchief ersetzt. Aus Sicherheitsgründen führte die Thunderchief nur 6 Flugschauen durch, ehe sie durch die F-100D Super Sabre ersetzt wurde.

Ab 1969 übernahmen die "Thunderbirds" die F-4E Phantom II, wodurch sie erstmals eine zweistrahlige Maschine an die Hand bekamen. Groß, schwer und stark, brachte die Phantom II eine völlig neue Dimension der Dynamik in ihre Vorführung. Mit der Phantom kam auch ein Wechsel in der Farbgebung, der vorher unlackierte, silberne Rumpf erstrahlte jetzt in reinem Weiß. Die weiße Farbgebung wurde seitdem von allen nachfolgenden "Thunderbirds" verwendet.

#### Von der Phantom II zur Fighting Falcon

Die Energiekrise von 1973 brachte ein abruptes Ende der sprit-durstigen F-4E Phantom II, die "Thunderbirds" übernahmen ihr erstes Nicht-Kampfflugzeug, die T-38A Talon. Obwohl nur ein Schulflugzeug, war die überschallschnelle Talon wendig, schnell, sehr gut manövrierbar und ökonomisch, was sie für Kunstflug-Vorführungen ideal machte. 1983 kamen die "Thunderbirds" darauf zurück, die neusten Kampfflugzeuge zu fliegen, die Talon wurde durch

die brandneue F-16A Fighting Falcon ersetzt. 1992 wiederum ersetzte man die F-16A durch die von der neuen Pratt & Whitney F100-P&W-220 Turbine angetriebene F-16C Block 32, die immer noch bei den "Thunderbirds" das Flugzeug der Wahl ist. Sieht man von der Entfernung des Radars und der 20mm Kanone ab, sowie der Hinzunahme eines Rauchgenerators, bleibt die von den "Thunderbirds" eingesetzte F-16C die gleiche wie eine an die Kampfeinheiten ausgelieferte, falls erforderlich könnte sie sogar in weniger als 72 Stunden kampfbereit gemacht werden.

In eine standardmäßige Thunderbird-Vorführung sind 6 Flugzeuge eingebunden, 4 davon fliegen in Formation, 2 Flugzeuge führen ein Soloprogramm vor, das Repertoire reicht von Diamant- und Delta-Formation bis zu Loops und Rollen. Eine normale Vorführung dauert ungefähr 1 Stunde und beinhaltet etwa 40 verschiedene Programm-Nummern. Die Vorführsaison erstreckt sich von März bis November, wobei das Team etwa 70 Vorführungen in einer Saison abhält. Die Wintermonate werden zur Schulung neuen Personals genutzt, die Piloten dienen im Durchschnitt 2 Jahre lang und das angeworbene Corps dient etwa 3-4 Jahre. Fast ein Drittel des Hilfspersonals wird jedes Jahr ersetzt.

Für die Saison 2005 werden die "Thunderbirds" von Lt. Col. Mike Chandler im Jet Nr.1 geführt. Lt. Col. Chandler leitet alle Flugschauen und ist für die 130-Personen Schwadron verantwortlich. Maj. Rusty Keen fliegt den Jet Nr.2 (linker Flügelmann), Maj. Brian Burns fliegt den Jet Nr.3 (rechter Flügelmann) und Maj. Steve Horton fliegt den Jet Nr.4 (Spaltipilot). Maj. Scottie Zamzow fliegt den Jet Nr.5 als führender Solopilot und Maj. Brian Farrar fliegt den Jet Nr.6 als entgegenkommender Solopilot.



Mit Vorführungen seit mehr als 50 Jahren hat in der langen Geschichte der "Thunderbirds" das Team mehr als 60 Länder auf der ganzen Welt besucht, bei mehr als 3800 Veranstaltungen vor mehr als 300 Millionen Leuten die Show vorgeführt und eine offizielle Kunstflug-Demonstration live über das Internet

übertragen. Die "Thunderbirds" wirken auch weiterhin als edle Botschafter der US Air Force, indem sie die Zuschauer rund um den Globus begeistern.

**F-16C Block 32 Haupt-Daten**  
 Rumpflänge: 14,94m  
 Spannweite: 9,45m  
 Gesamthöhe: 6,7m  
 Triebwerk: F100-PW-220  
 Max. Geschwindigkeit: Mach 2,0

Les patrouilles acrobatiques sont constituées de pilotes d'élite rassemblés pour effectuer des présentations aériennes démontrant leur maîtrise du pilotage et la haute technologie de leurs appareils. Parmi les formations les plus célèbres au monde, on peut citer les "Thunderbirds" de l'U.S. Air Force, les "Blue Angels" de l'U.S. Navy, les "Red Arrows" de la Royal Air Force, la "Patrouille de France" de l'Armée de l'Air et les "Frecce Tricolori" italiens.

**Les "Thunderbirds" de l'U.S. Air Force**

Les USAF "Thunderbirds" ont été créés sous la dénomination de 3600th Air Demonstration Unit en mai 1953. Basée à Luke Air Force Base, Arizona, la formation a adopté le nom de "Thunderbirds" du fait de la très forte tradition culturelle amérindienne du Sud-Ouest Américain où Luke AFB est située. Le Thunderbird (Oiseau Tonnerre) est une dixième des légendes amérindiennes. Ne craignant rien ni personne, le Thunderbird inspire le respect. Le premier appareil utilisé par les "Thunderbirds" a été le Republic F-84G Thunderjet. La formation de quatre appareils constituée d'un leader, de deux ailiers et d'un charognard effectua sa première représentation publique le 19 juillet 1953. L'année suivante fut entreprise la première tournée à l'étranger dans 11 pays d'Amérique Centrale et du Sud. Suite à ce périple, un drapeau de chaque nation visitée fut peint à l'avant gauche du fuselage. La tradition se perpétue aujourd'hui avec plus de 60 drapeaux ornant les appareils.

Volant sur jets de combat, les "Thunderbirds" avaient une mission importante : prouver la fiabilité de ces nouveaux appareils. Les avions à réaction furent pour la première fois engagés au combat dans les années 1950 lors de la Guerre de Corée où ils avaient acquis la mauvaise réputation d'être dangereux et peu fiables. On espérait que la création de patrouilles acrobatiques telles les "Thunderbirds" donnerait confiance au public en cette nouvelle technologie mais renforcerait également le moral au sein même de l'Air Force. Les autres objectifs principaux étaient d'appuyer les campagnes de recrutement, d'affiner les techniques de pilotage, de démon-

trer les performances des nouveaux jets de chasse et de représenter les Etats-Unis à l'étranger.

**La Première Patrouille Acrobatique Supersonique au Monde**

En 1955, les "Thunderbirds" échangèrent leur F-84G Thunderjet pour des F-84F Thunderstreak à ailes en flèche. Le F-84F fut le premier appareil des "Thunderbirds" équipé de fumigènes afin d'accroître l'impact visuel de leurs démonstrations. L'année suivante, ils passèrent sur le nouveau F-100C Super Sabre et déménagèrent à Nellis Air Force Base, Nevada dont ils n'ont plus bougé depuis. Le F-100C Super Sabre permit aux "Thunderbirds" de devenir la première patrouille acrobatique supersonique au monde. Jusqu'à l'interdiction de la Federal Aviation Authority (FAA), le passage du solo des Thunderbirds à Mach 1 faisait partie du programme de démonstration. Utilisé jusque 1963, le F-100C fut remplacé par le F-105B Thunderchief. Du fait de problèmes liés à la sécurité, les Thunderchief n'effectuèrent que six show aériens avant d'être à leur tour remplacés par des F-100D Super Sabre.

A partir de 1969, les "Thunderbirds" votèrent sur F-4E Phantom II, leur première monture biréacteur. Enorme, lourd et puissant, le Phantom II ajoutait une nouvelle dimension dynamique aux représentations. Avec le Phantom survint également un changement dans la décoration des avions : laissés précédemment métal naturels, ils étaient maintenant peints en blanc pur. Tous les appareils utilisés depuis par les "Thunderbirds" sont peints en blanc.

**Du Phantom II au Fighting Falcon**

La crise pétrolière de 1973 mit fin à la carrière du gourmand F-4E chez les "Thunderbirds", obligeant même la patrouille à utiliser son premier appareil non conçu pour le combat : le T-38A Talon d'entraînement. Le Talon était un appareil supersonique aux lignes fines et élancées, très manoeuvrant et économique ; la machine idéale pour l'acrobatie. En 1983, les "Thunderbirds" volaient à nouveau sur jet de combat de dernière génération. Les T-38A avaient été remplacés par des F-16A Fighting Falcon. En

1992, des F-16C Block 32 équipé du nouveau réacteur Pratt & Whitney F100-P&W-220 prirent la relève. Ils sont toujours utilisés en 2005. A part la dépose du radar et du canon de 20mm et l'ajout d'un générateur de fumée, les F-16C employés par les "Thunderbirds" sont les mêmes que ceux livrés aux unités opérationnelles et si nécessaire, ils peuvent être prêts au combat en moins de 72 heures.

Un show aérien "Thunderbirds" standard implique 6 avions, 4 en formation et 2 effectuant des figures solo, le répertoire allant des formations Diamant et Delta aux tonneaux et loopings. Une représentation dure classiquement une heure et comporte une quarantaine de figures. La saison s'étend de mars à novembre avec environ 70 représentations. Durant les mois d'hiver s'effectue l'entraînement du personnel nouveau. Les pilotes servent durant 2 ans en moyenne et les autres personnels 3 à 4 ans. Environ un tiers des personnels techniques sont remplacés chaque année.

Pendant la saison 2005, le leader des "Thunderbirds" était le Lt. Col. Mike Chandler dans l'avion N°1. Le Lt. Col. Chandler mène toutes les démonstrations aériennes et dirige un escadron de 130 personnes. Le Maj. Rusty Keen pilotait le N°2 (ailier gauche), le Maj. Brian Burns le N°3 (ailier droit) et le Maj. Steve Horton le N°4 (charognard). Le Maj. Scottie Zamzow était le N°5 (leader solo) et le Maj. Brian Farrar le N°6 (2<sup>me</sup> solo).

Après plus de 50 ans d'existence, les "Thunderbirds" ont visité plus de 60 pays tout autour du monde, se sont produits devant plus 300 millions de spectateurs lors de plus de 3.800 occasions et diffusent une démo officielle sur Internet. Frisson garanti avec les "Thunderbirds", nobles ambassadeurs de l'US Air Force !

**Données principales F-16C Block 32**

Longueur du fuselage : 14,94 m  
 Envergure : 9,45 m  
 Hauteur totale : 6,7 m  
 Réacteur : F100-PW-220  
 Vitesse maximale : Mach 2,0

**READ BEFORE ASSEMBLY**

**注意** ●このキットは組み立てモデルです。作る前に必ず説明書を最後までお読みください。また、小学生などの低年齢の方が組み立てるときは、保護者の方もお読みください。  
 ●工具の使用には十分注意してください。とくにカッターナイフ、ニッパーなど刃物の使用は、事故には注意してください。  
 ●接着剤や塗料は使用する前にそれぞれ注意書きをよく読み、指示に従って正しく使用し、使用するときは換気に十分注意してください。  
 ●小さなお子さまのいる場所での作業は避けてください。小さな部品の飲み込みや、ビニール袋をかぶつての窒息などの危険な状況が考えられます。  
 ●精密モデルのため、とがっている部品があります。思わぬ事故のおそれがありますので、取り扱いおよび完成後の鑑賞の際には十分ご注意ください。

**CAUTION** ●Read carefully and fully understand the instructions before commencing assembly.  
 ●When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.  
 ●Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used (not included in kit).  
 ●Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over their head.  
 ●This kit contains pointed parts. To avoid personal injury, take care when assembling and handling model after completion.

**VORSICHT** ●Bevor Sie mit dem Zusammenbau beginnen, sollten Sie alle Anweisungen gelesen und verstanden haben.  
 ●Beim Zusammenbau dieses Bausatzes werden Werkzeuge einschließlich Messer verwendet. Zur Vermeidung von Verletzungen ist besondere Vorsicht angebracht.  
 ●Wenn Sie Farben und/oder Kleber verwenden (nicht im Bausatz enthalten), beachten und befolgen Sie die dort beiliegenden Anweisungen.  
 ●Bausatz von kleinen Kindern fernhalten. Verhüten Sie, daß Kinder irgendwelche Bauteile in den Mund nehmen oder Plastiktüten über den Kopf ziehen.  
 ●Dieser Bausatz enthält spitzige Teile. Zur Vermeidung von Verletzungen sollte beim Zusammenbau und bei der Handhabung des Modells nach der Fertigstellung vorsichtig umgegangen werden.

**PRECAUTIONS** ●Bien lire et assimiler les instructions avant de commencer l'assemblage.  
 ●L'assemblage de ce kit requiert de l'outillage, en particulier des couteaux de modélisme. Manier les outils avec précaution pour éviter toute blessure.  
 ●Lire et suivre les instructions d'utilisation des peintures et/ou de la colle, si utilisées (non incluses dans le kit).  
 ●Garder hors de portée des enfants en bas âge. Ne pas laisser les enfants mettre en bouche ou sucer les pièces, ou passer un sachet vinyl sur la tête.  
 ●Ce kit comporte des pièces pointues. Pour éviter les blessures, assembler et manipuler le modèle terminé avec précaution.

**TOOLS RECOMMENDED**

●用意する工具 / Tools recommended / Benötigtes Werkzeug / Outillage nécessaire

**接着剤 (プラスチック用)**

Cement  
 Kleber  
 Colle



**瞬間接着剤**

Instant cement  
 Sekundenkleber  
 Colle rapide



**ピンセット**

Tweezers  
 Pinzette  
 Précéles



**ニッパー**

Side cutters  
 Seitenschneider  
 Pince coupante



**ナイフ**

Modeling knife  
 Modelliermesser  
 Couteau de modéliste



**デカールバサミ**

Scissors  
 Schere  
 Ciseaux



**+ドライバ=L(大) M(中)**

+ Screwdriver (medium, large)  
 + Schraubenzieher (mittel, groß)  
 Tournevis + (moyen, grand)



**ピンバイス (1mm, 1.2mm, 1.5mm)**

Pin vise  
 Schraubstock  
 Outill à percer



★その他に金属ヤスリや紙ヤスリ、ウエス、セロファンテープなどがあると便利です。  
 ★A file, abrasive paper, soft cloth and cellophane tape will also assist in construction.  
 ★Feils, Schleifpapiere, weiches Tuch und Tesafilm sind beim Bau sehr hilfreich.  
 ★Une lime, du papier abrasif, un chiffon doux et du ruban adhésif seront également utiles durant le montage.





- お買い求めの際、または組立の前には必ず内容をお確かめください。万一不良部品、不足部品などがありました場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。なお、組み立てを始めたあとは、製品の返品交換には応じかねます。

- 組み立てる前に説明書をよく見て、全体の流れをつかんでください。
- このキットには接着剤は含まれていません。プラスチック用接着剤(タミヤセメント)を別にお買い求めください。
- 接着剤、塗料は必ずプラスチック用を使用し、換気には十分注意してください。このマークは塗装指示のマークです。5ページの《使用する塗料》を参考にしてください。

- Study and understand the instructions thoroughly before beginning assembly.
- Read and follow the instructions supplied with paints and /or cement, if used (not included in kit).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- This mark denotes numbers for Tamiya Paint colors. Refer to P5 for paints required.

- Vor dem Zusammenbau die Bauanleitung gründlich studieren.
- Wenn Sie Farben und/oder Kleber verwenden (nicht im Bausatz enthalten) beachten und befolgen Sie die dort beiliegenden Anweisungen.
- Nicht zuviel Klebstoff verwenden (separat erhältlich) Dieses Zeichen gibt die Tamiya Farbnummern an. Siehe S.5 für benötigte Farben.

- Etudier et bien assimiler les instructions avant de débiter l'assemblage.
- Lire et suivre les instructions d'utilisation des peintures et ou de la colle, si utilisés (non inclus dans le kit).
- Utiliser aussi peu que possible la colle et aérer la pièce pendant la construction.
- Ce signe indique la référence de la peinture TAMIIYA à utiliser. Se référer à la page 5 pour les peintures à utiliser.

- このキットは2種類のディスプレイ方法が選べます。組み立てを始める前に A B どちらかを選び、図中の指示に従って組み立ててください。

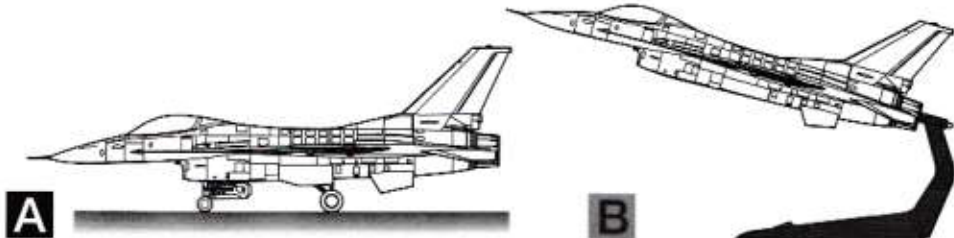
- This kit can depict two types of display.

- Choose A or B.

- Mit diesem Bausatz lassen sich zwei Flugzeugtypen darstellen. Wählen Sie A oder B.

- Ce kit permet deux types de présentation.

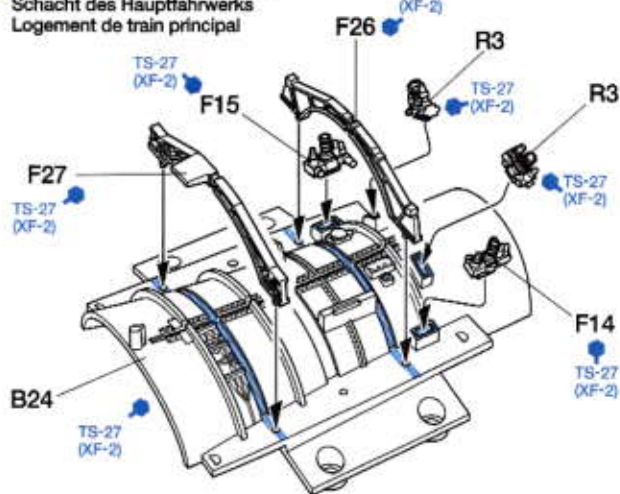
- Choisir A ou B.



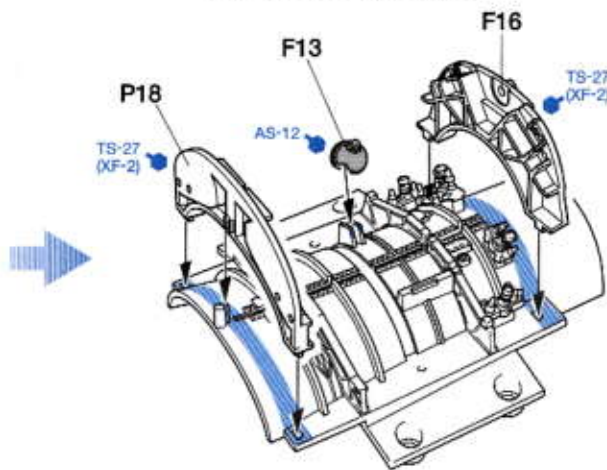
- 塗装指示のないプラスチック部品は機体色 (TS-26)です。全体の塗装は別紙のフィニッシングガイドを参考にしてください。
- When no color is specified, paint the item with fuselage color (TS-26). Refer to the separate finishing guide for painting pattern and markings.
- Wenn keine Farbe angegeben ist, das Teil in der Rumpffarbe lackieren (TS-26). Beachten Sie die separate Fertigstellungs-Anleitung für die Lackierung und Markierung.
- Si aucune teinte n'est spécifiée, peindre dans la teinte du fuselage (TS-26). Se reporter au guide de finition séparé pour peindre les motifs.

## 1 主脚納庫の組み立て

Main landing gear compartment  
Schacht des Hauptfahrwerks  
Logement de train principal

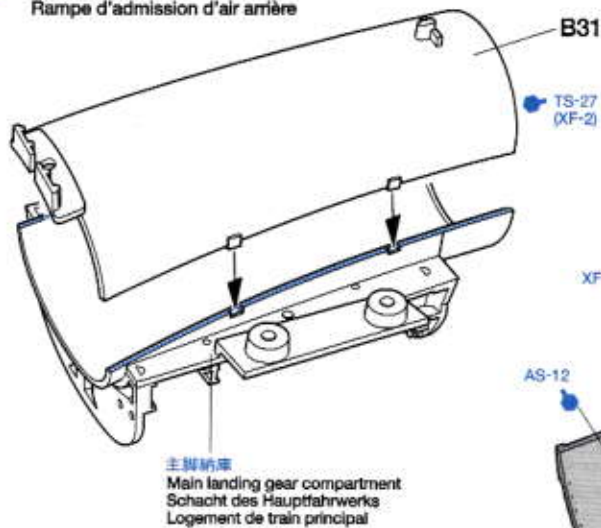


この色で塗られた部分は接着面です。  
Blue shaded portion indicates cementing surface.  
Die blau schattierten Bereiche kennzeichnen die Klebefläche.  
Les surfaces en bleu sont à encoller.

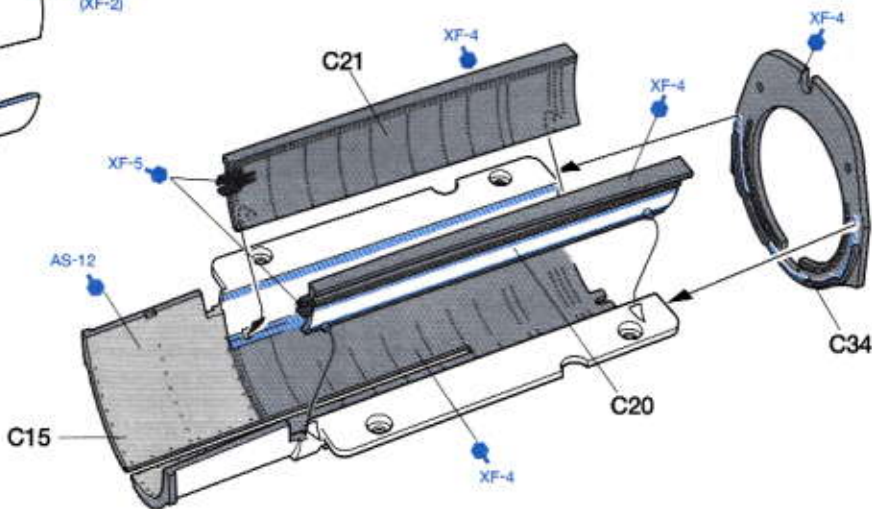


## 2 後部エアダクトの組み立て

Rear air duct  
Hintere Luftkanal  
Rampe d'admission d'air arrière



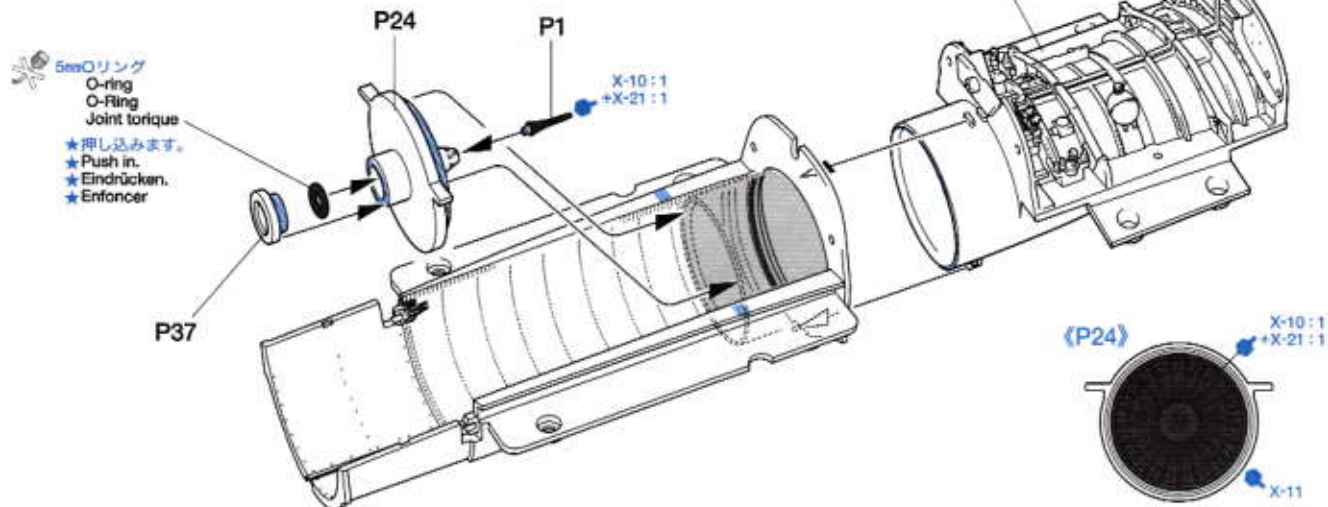
指示の番号のスライドマークをはります。  
Number of decal to apply.  
Nummer des Abziehbildes, das anzubringen ist.  
Numéro de la décalcomanie à utiliser.



### 3 エンジン格納庫の組み立て Engine bay Triebwerkraum Baie du réacteur

 このマークの部品は接着しません。  
Do not cement.  
Nicht kleben.  
Ne pas coller.

 後部エアダクト  
Rear air duct  
Hinterer Luftkanal  
Rampe d'admission d'air arrière



- ★+ドライバー (小) はアダプターに取り付けて使用してください。
- ★Use small screwdriver with adapter.
- ★Kleinen Schraubenzieher mit Adapter verwenden.
- ★Utiliser le petit tournevis avec adaptateur.



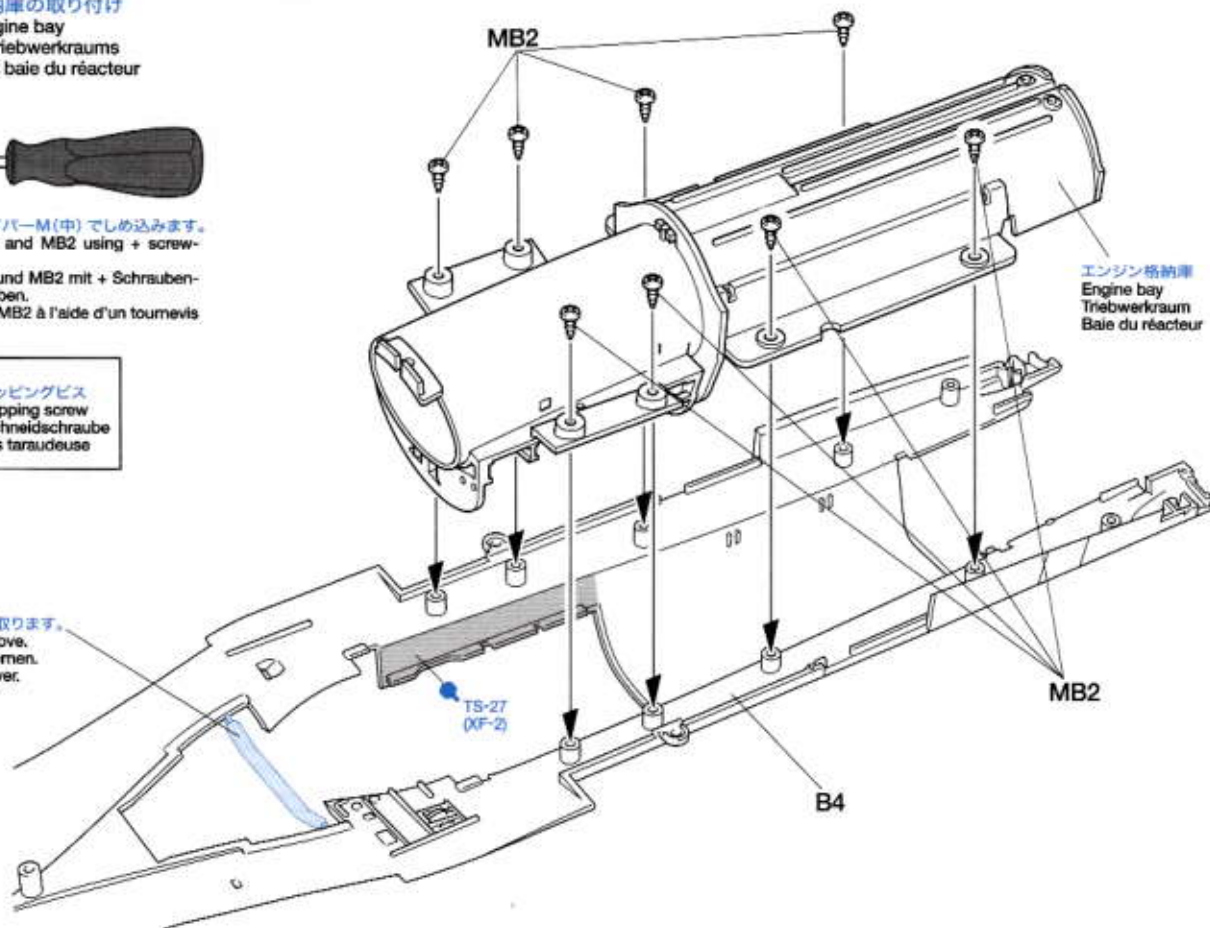
### 4 エンジン格納庫の取り付け Attaching engine bay Einbau des Triebwerkraums Fixation de la baie du réacteur



- ★MB1とMB2は+ドライバー(M(中))で締め込みます。
- ★Tighten screws MB1 and MB2 using + screwdriver (medium).
- ★Die Schrauben MB1 und MB2 mit + Schraubenzieher (mittel) einschrauben.
- ★Serer les vis MB1 et MB2 à l'aide d'un tournevis + (moyen).

 **MB2**  
2×4mmタッピングビス  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse

- ★切り取ります。
- ★Remove.
- ★Entfernen.
- ★Enlever.



#### (瞬間接着剤について)

★通常は塗装する前に使用します。その際、接着面の油分を取ってから接着します。どうしても塗装後に接着したい場合は接着面の塗料を十分に落としてから使用します。この時、塗料が残っていると接着力が極端に低下するので注意しましょう。  
★接着剤をつけすぎると接着力が落ちるばかりではなく、白化しやすくなるので注意してください。  
★劣化した接着剤は使用しないでください。不要な部品で試すなどしてから使用してください。  
★使用する際は瞬間接着剤の取扱説明をよく読んでからご使用ください。



#### Instant cement

- ★Remove any paint or oil from cementing surface before affixing parts.
- ★Use only a small amount of cement. Too much cement will make joints turn white and lose adhesion.
- ★Do not use old cement. Test cement first with unnecessary parts such as sprues before use.

- ★ Carefully read instructions before cementing.

#### Sekundenkleber

- ★ Entfernen Sie alle Farbe und Ölflecke von der Kleboberfläche bevor sie Teile ankleben.
- ★ Verwenden Sie nur geringe Mengen Klebstoff. Bei zuviel Klebstoff kann sich die Verbindung verschieben und die Haftkraft verlieren gehen.
- ★ Verwenden Sie keinen alten Klebstoff. Testen Sie den Kleber vor der Anwendung zuerst mit nicht benötigten Teilen etwa vom Spritzling.
- ★ Vor dem Kleben die Gebrauchsanleitung sorgfältig lesen.

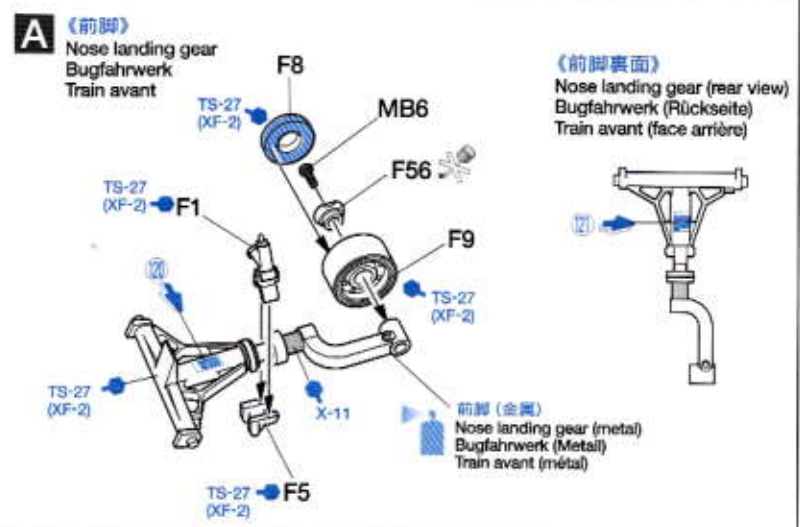
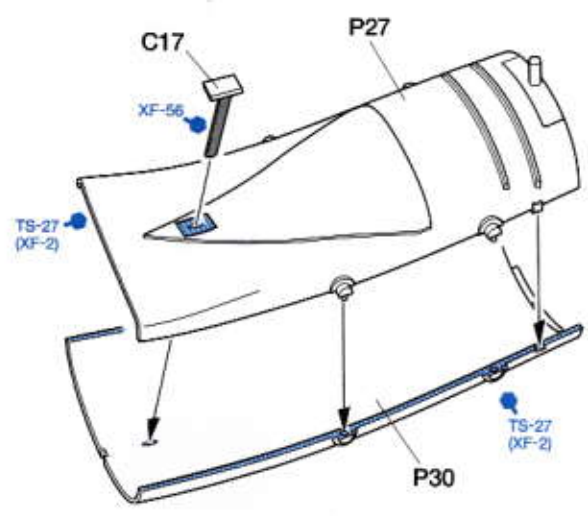
#### Colle rapide

- ★ Enlever les traces de peinture ou de graisse des surfaces de contact avant de coller les pièces.
- ★ N'utiliser qu'une petite quantité de colle. Un excès peut blanchir les lignes de joint et limiter l'adhésion.
- ★ Ne pas utiliser une colle périmée. Tester la colle sur des pièces inutilisées comme des morceaux de grappes avant utilisation effective.
- ★ Lire soigneusement les instructions avant de coller.

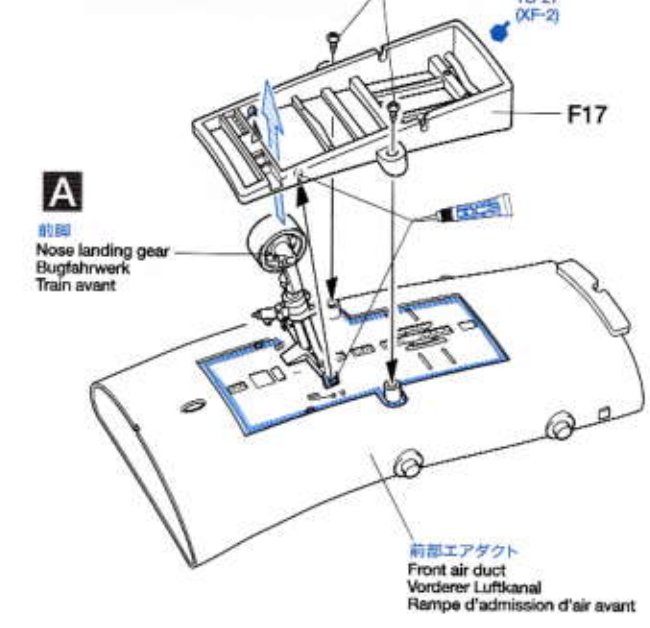
**5** 《前部エアダクト》  
Front air duct  
Vorderer Luftkanal  
Rampe d'admission d'air avant

★このマークの部品は必ず、タミヤ メタルプライマーで下塗りしてください。  
★Make sure to apply metal primer prior to painting metal parts.  
★Vor dem Lackieren von Metallteilen unbedingt Metall-Grundierung auftragen.  
★Appliquez de l'apprêt pour métal avant de peindre les pièces métalliques.

1.2×4mm丸ビス (黒)  
Screw (black)  
Schraube (schwarz)  
Vis (noire)  
**MB6**

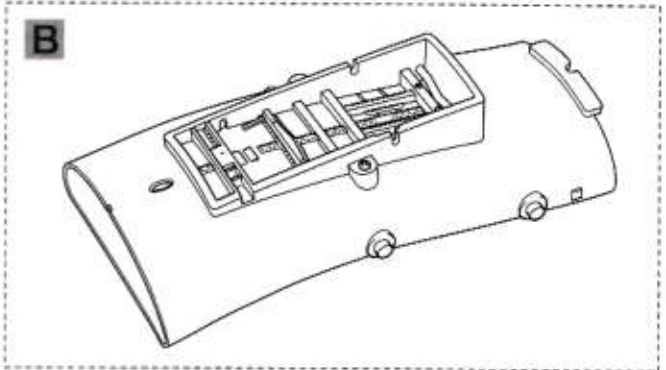
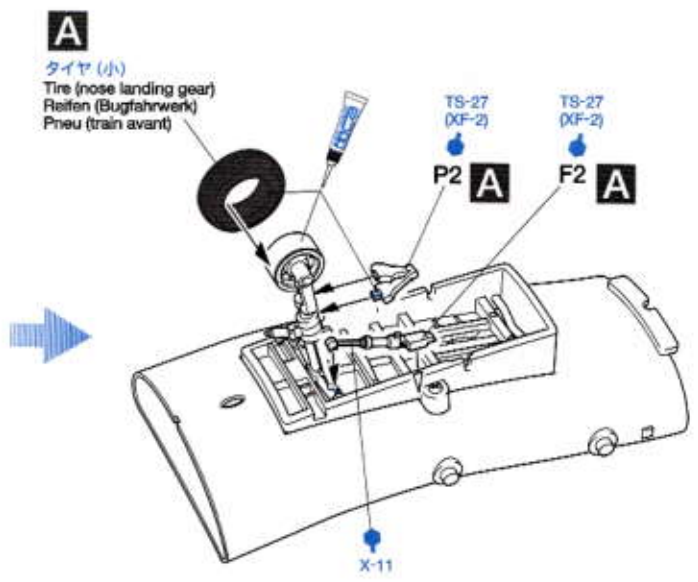


**6** 前脚の取り付け  
Attaching nose landing gear  
Einbau des Bugfahrwerks  
Fixation du train avant

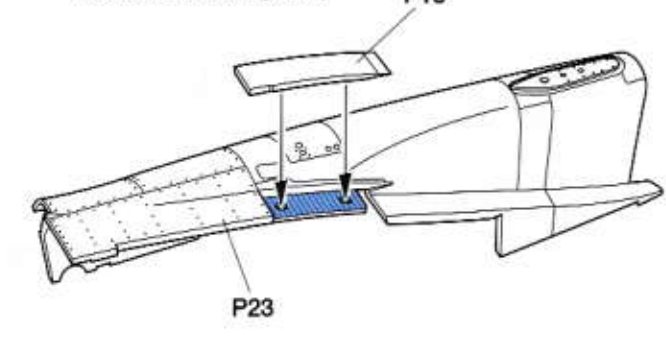


1.4×3mmタッピングビス  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse  
**MB3**

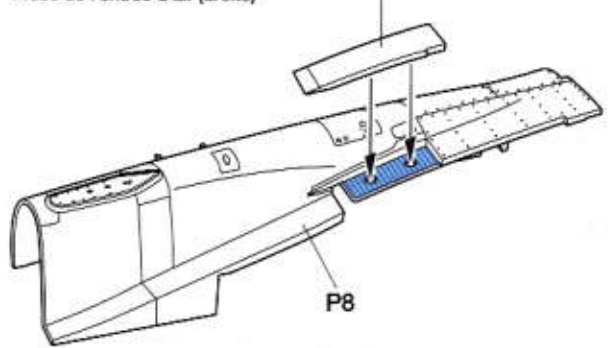
このマークの場所は瞬間接着剤を使います。  
Use instant cement for places shown by this mark.  
An den Stellen mit dieser Markierung Sekundenkleber verwenden.  
Utilisez de la colle rapide aux endroits indiqués par ce symbole.



**7** 《エアインテーク 左》  
Air intake part (left)  
Lufteinlaßhälfte (links)  
Pièce de l'entrée d'air (gauche)

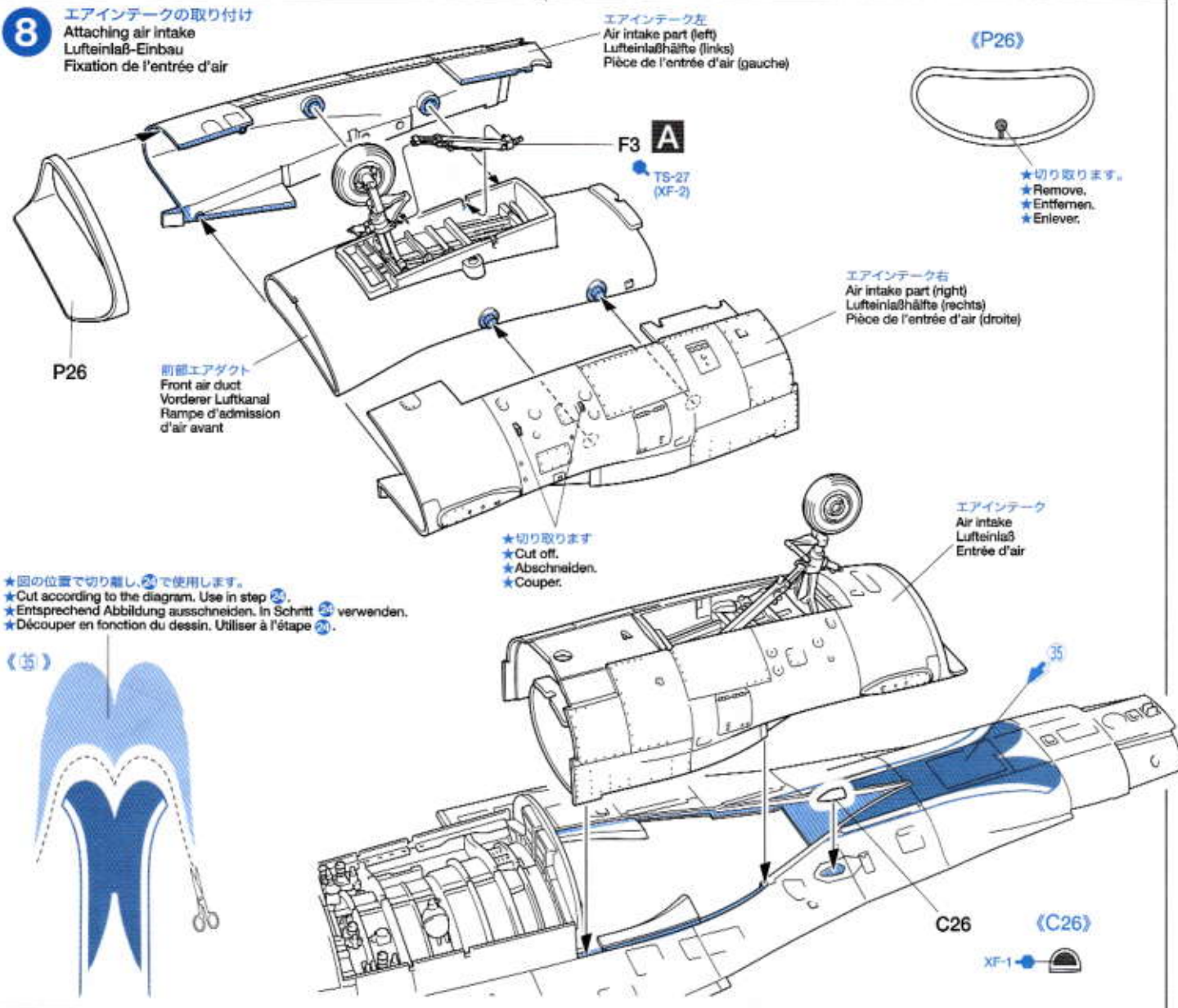


《エアインテーク 右》  
Air intake part (right)  
Lufteinlaßhälfte (rechts)  
Pièce de l'entrée d'air (droite)

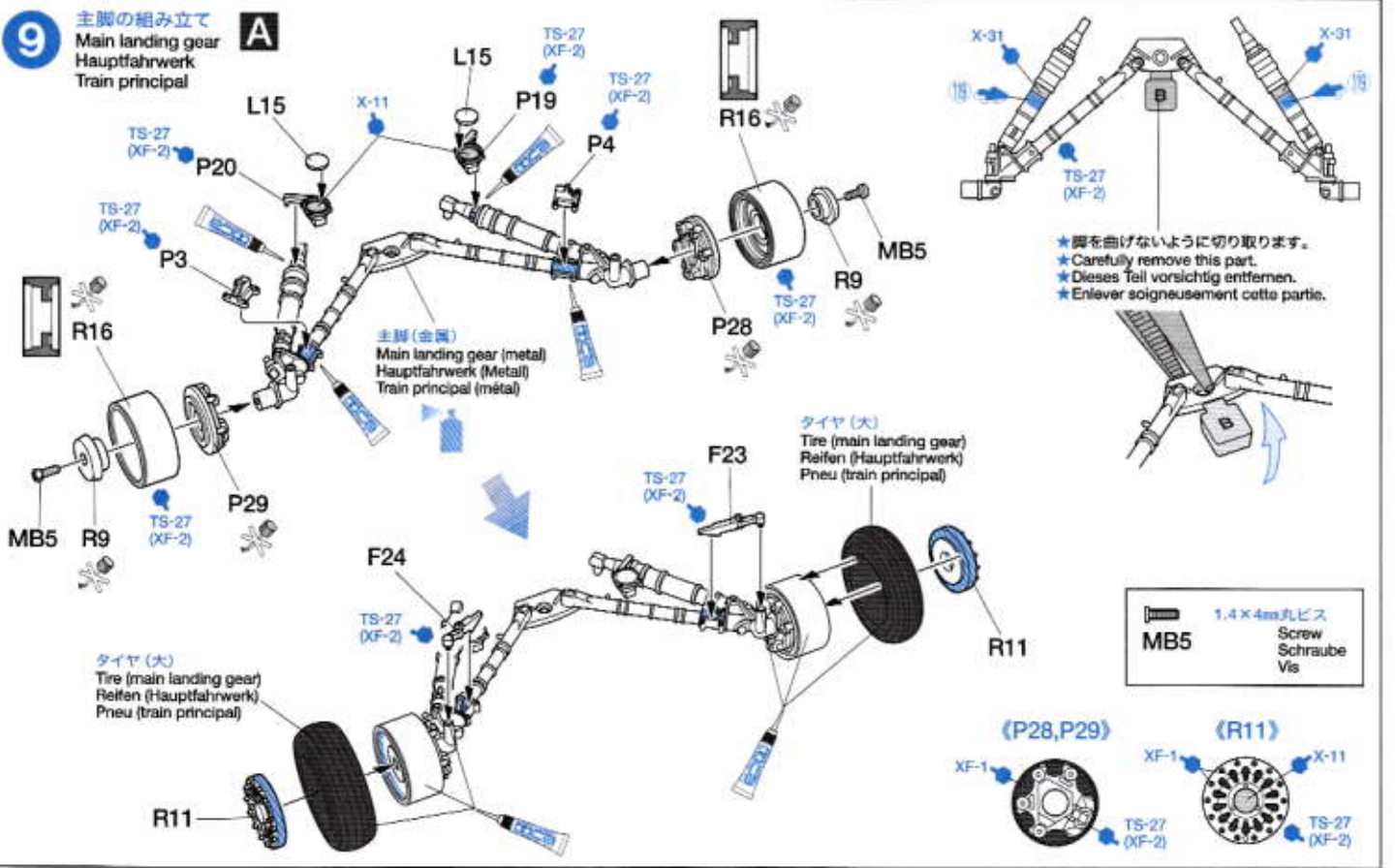




**8** エアインテークの取り付け  
Attaching air intake  
Lufteinlaß-Einbau  
Fixation de l'entrée d'air



**9** 主脚の組み立て  
Main landing gear  
Hauptfahrwerk  
Train principal



10

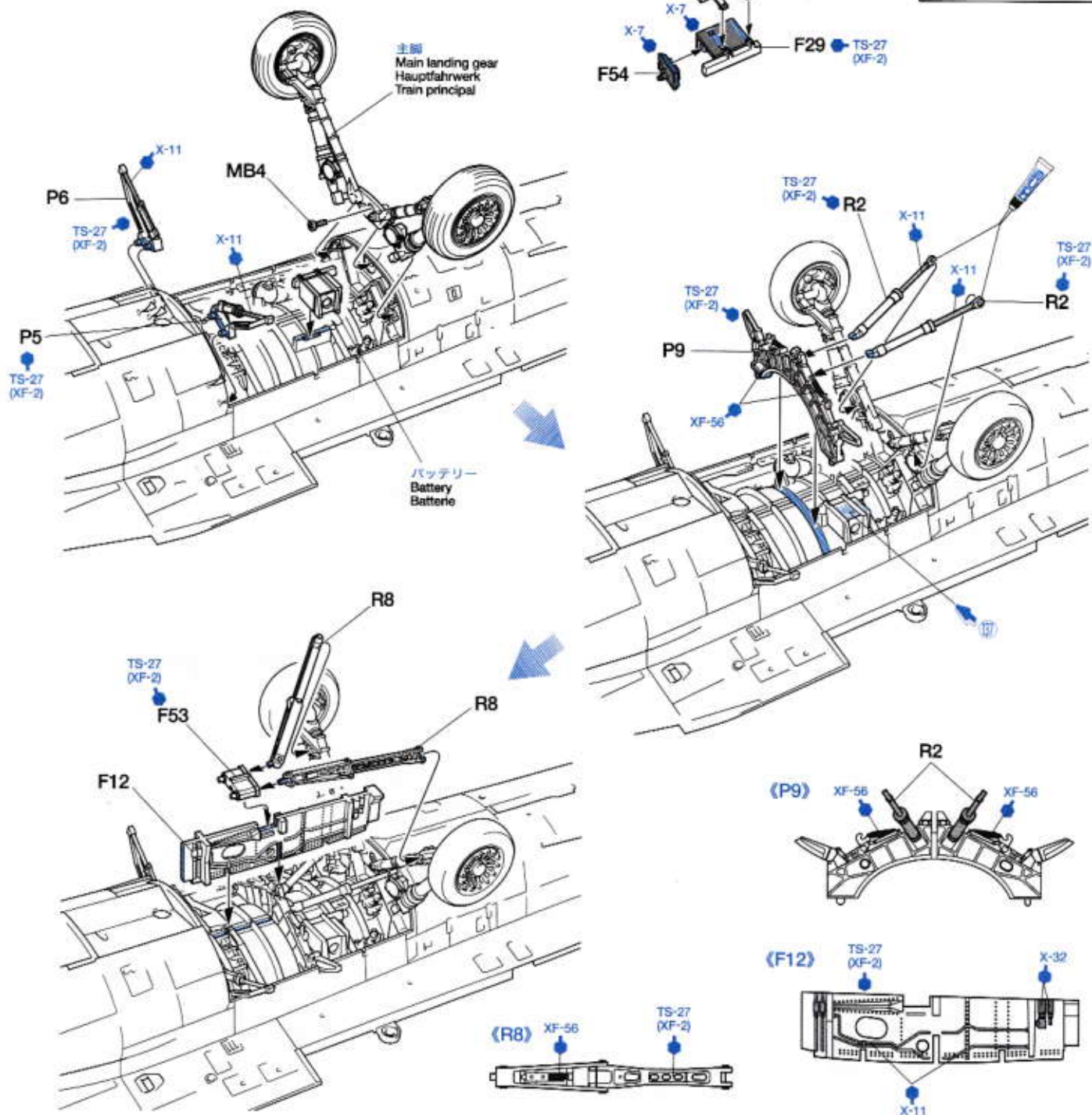
主脚納庫部品の取り付け  
 Attaching main landing gear compartment parts  
 Befestigung der Teile des Hauptfahrwerks-Schachtes  
 Fixation des pièces du logement de train principal

A

《バッテリー》

Battery  
 Batterie

1.6×3mm丸ビス  
 MB4  
 Screw  
 Schraube  
 Vis



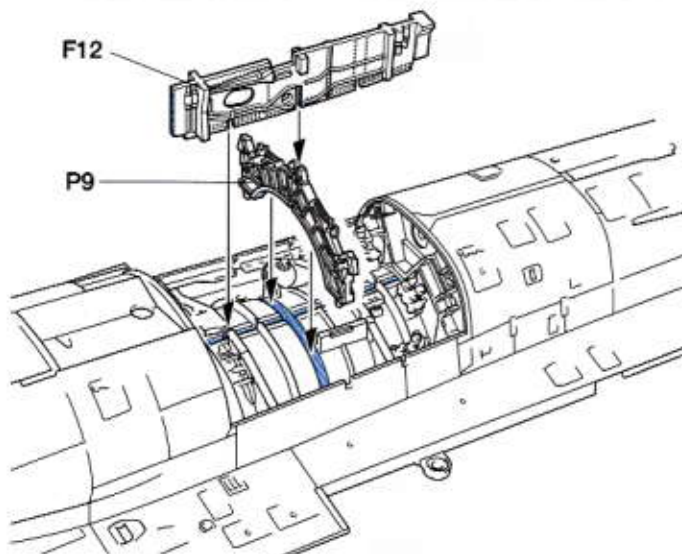
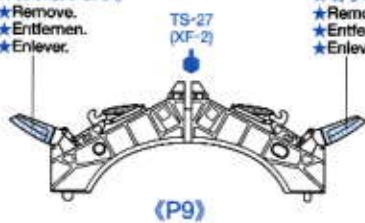
11

主脚納庫部品の取り付け  
 Attaching main landing gear compartment parts  
 Befestigung der Teile des Hauptfahrwerks-Schachtes  
 Fixation des pièces du logement de train principal

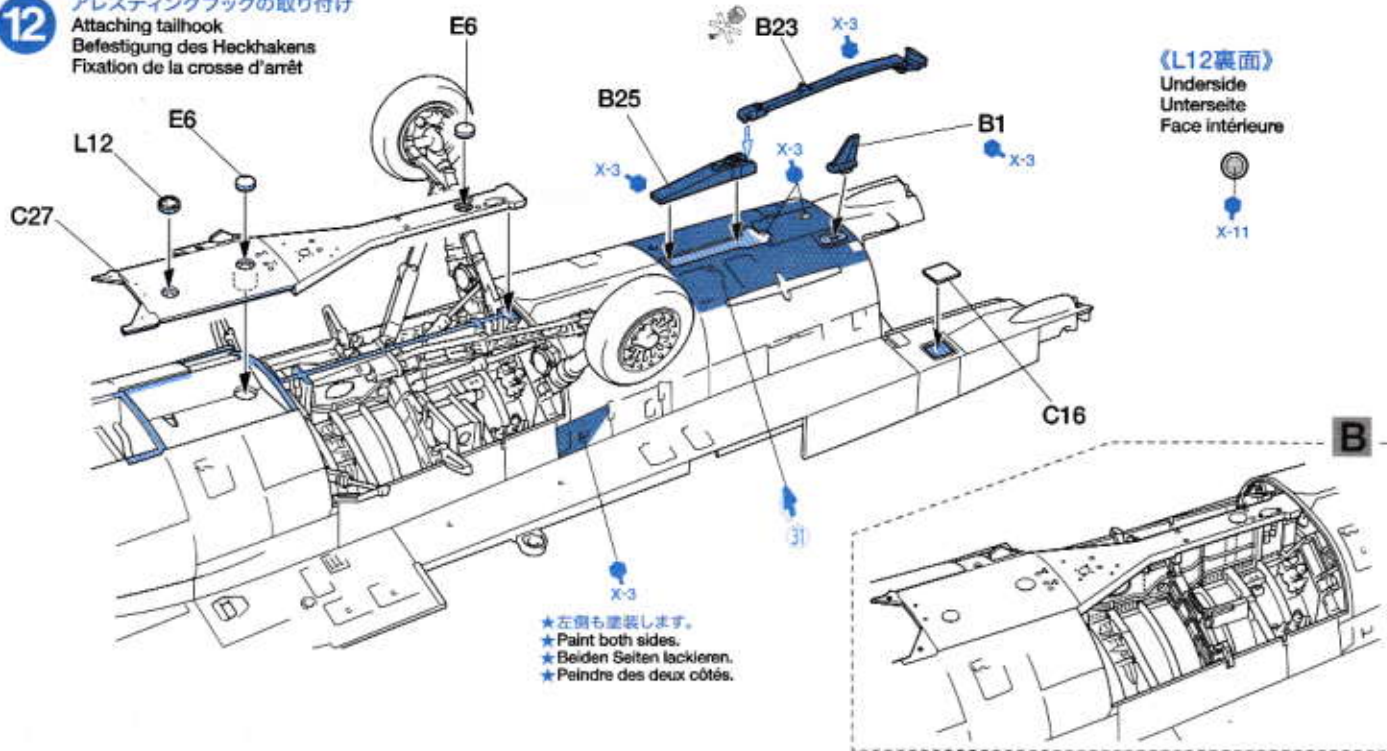
B

★切り取ります。  
 ★Remove.  
 ★Entfernen.  
 ★Enlever.

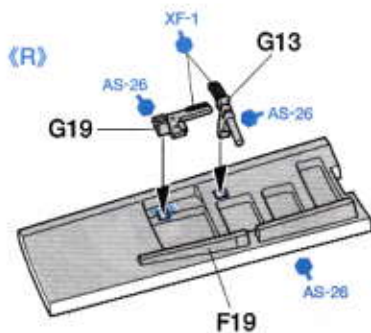
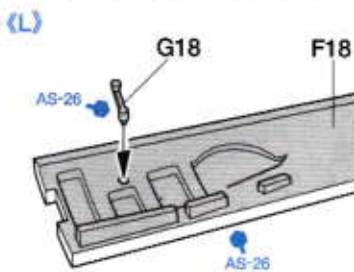
★切り取ります。  
 ★Remove.  
 ★Entfernen.  
 ★Enlever.



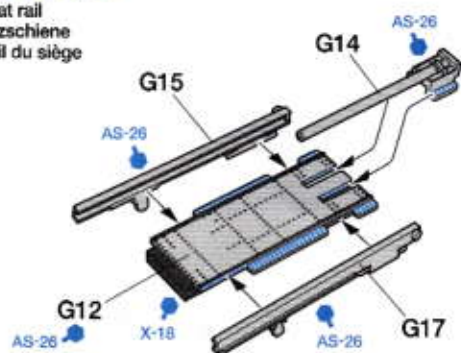
**12** アレステイングフックの取り付け  
Attaching tailhook  
Befestigung des Heckhakens  
Fixation de la crose d'arrêt



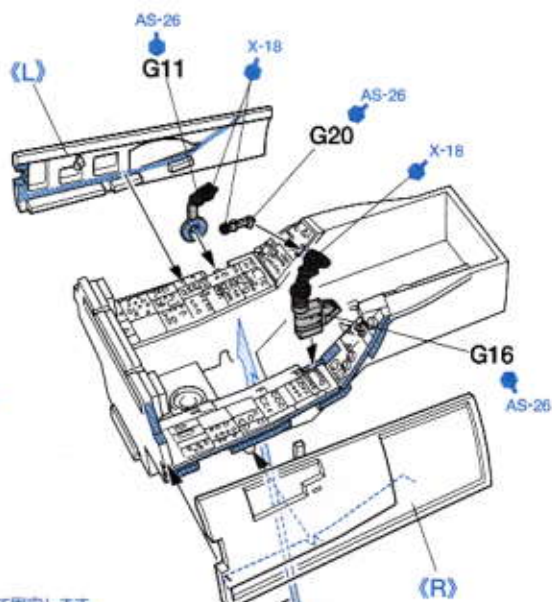
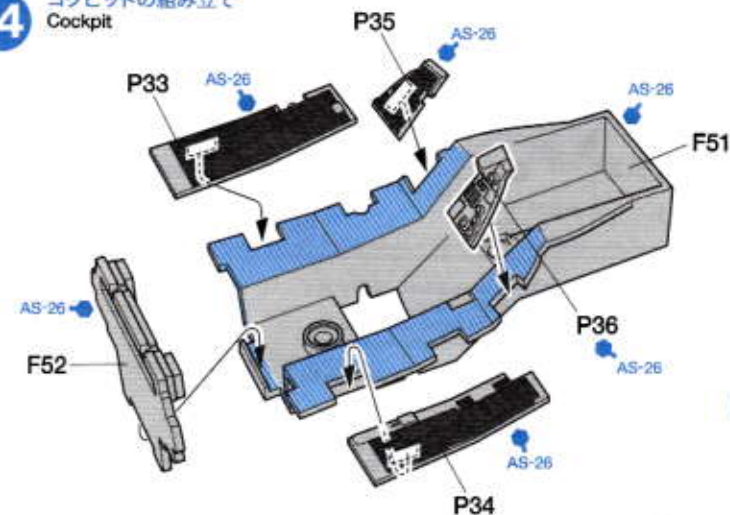
**13** 《コクピット内壁》  
Cockpit side panel  
Cockpit-Seitenwand  
Panneaux latéraux du cockpit



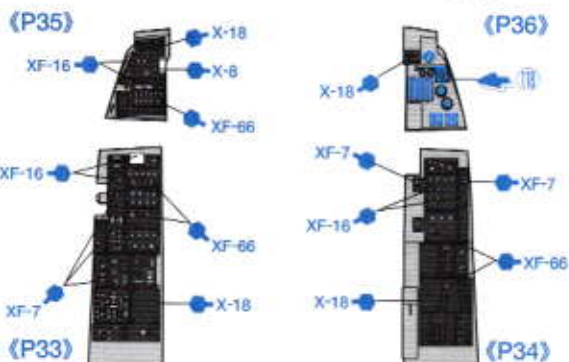
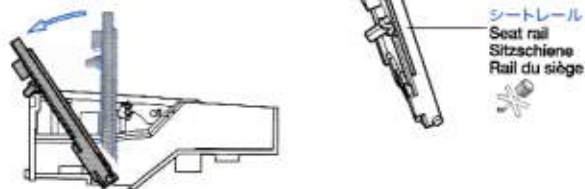
《シートレール》  
Seat rail  
Sitzschiene  
Rail du siège



**14** コクピットの組み立て  
Cockpit



★後ろに倒して固定します。  
★Attach as shown.  
★Wie abgebildet anbringen.  
★Installer comme montré.



**《エッチングパーツの切り出し》**

① エッチングパーツは矢印の形をしたブリッジの部分でカッターナイフで切り出します。  
★切り取った後に残るブリッジは鋭く尖っているのでケガには十分注意してください。  
② 切り出した時、部品に引っ掛かった部分が残っている場合は、ヤスリなどで丁寧に削り落とします。ニッパーやカッターは使用しないでください。刃こぼれの原因になります。  
③ 塗装する場合は必ずタミヤメタルプライマーを吹き付けてから塗装します。  
④ 接着には瞬間接着剤を使用します。瞬間接着剤を使用する場合は付属の取扱説明をよく読んでからお使いください。

**Cutting out photo-etched parts**

① Carefully cut out photo-etched parts using a modeling knife.  
★After cutting out, pieces may have sharp points. To avoid personal injury, take care when handling photo-etched parts.  
② Carefully remove any excess using a file. Do not use side cutters or a modeling knife, as this will damage the tools.

③ Apply metal primer prior to painting.  
④ Affix photo-etched parts using instant cement. Carefully read instructions regarding cement use.

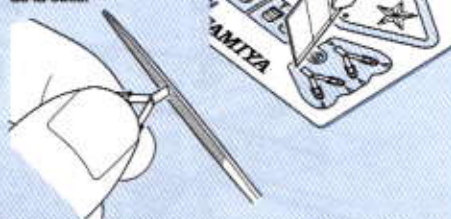
**Ab schneiden der fotogelatzierten Teile**

① Die fotogelatzierten Teile mit einem Modellbaumesser vorsichtig abschneiden.  
★Nach dem Ausschneiden können die Teile scharfe Kanten aufweisen. Zur Vermeidung von Verletzungen vorsichtig mit den fotogelatzierten Teilen umgehen.  
② Überstände vorsichtig mit einer Feile entfernen. Zum Entfernen der Überstände keine Seitenschneider oder Modellbaumesser verwenden, da diese Werkzeuge beschädigt werden können.  
③ Vor dem Lackieren Metall-Grundierung auftragen.  
④ Die fotogelatzierten Teile mit Sekundenkleber anheften. Die Warnhinweise auf dem Kleber genau durchlesen.

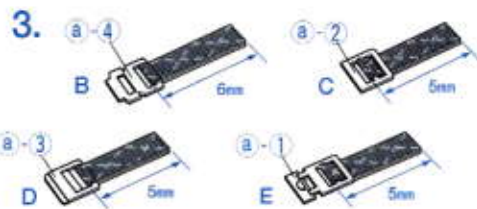
**Prélèvement des pièces photo-découpées**

① Détacher avec précaution les pièces photo-découpées de la planche à l'aide d'un couteau de modéliste.  
★Après détachement, les pièces peuvent présenter des pointes acérées. Pour éviter de se blesser, les manipuler avec précaution.

② Enlever les parties excédentaires en les limant soigneusement. Ne pas utiliser de pinces coupantes ni de couteau de modéliste, ils seraient endommagés.  
③ Appliquer de l'apprêt pour métal avant de peindre.  
④ Fixer les pièces photo-découpées avec de la colle cyanoacrylate. Lire avec attention les instructions de sécurité de la colle.



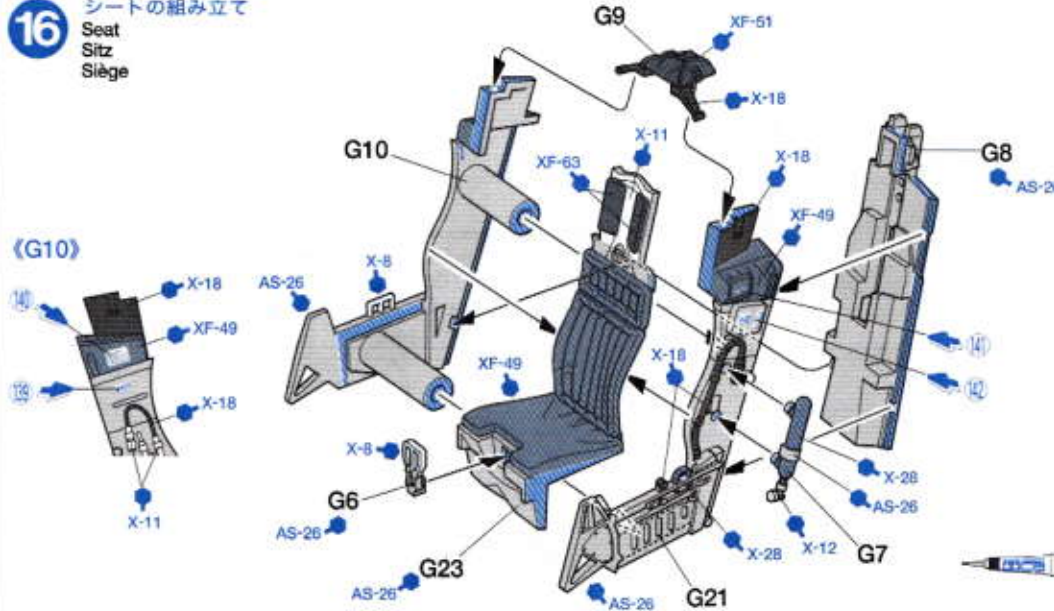
**15 シートベルトの組み立て  
(パイロットを取り付けない場合)  
Seatbelt assembly (when not installing pilot)  
Zusammenbau des Sitzgurtes  
(wenn kein Pilot eingesetzt wird)  
Assemblage du harnais (pilote non installé)**



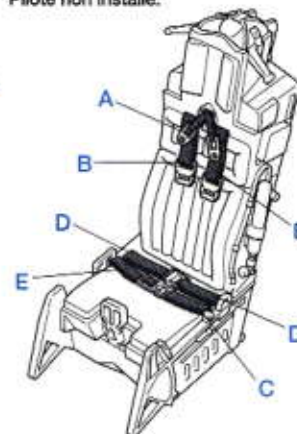
エッチングパーツ⑧の1〜5を使う分だけ切り出します。マスクシートからシートベルトを2cmに切って図のように貼ります。  
Cut out ①-⑤ from photo-etched sheet ⑧. Cut seatbelt to 2cm length from masking sticker and apply as shown.  
①-⑤ vom fotogelatzierten Blatt ⑧ ausschneiden. Vom Abkleber 2cm für den Sitzgurt abschneiden und wie abgebildet anbringen.  
Découper ①-⑤ de la planche de photo-découpe ⑧. Découper une sangle de 2cm de la planche de masquages et appliquer comme montré.

BとDは2個ずつ作り、指定された長さにベルトを切りそろえます。  
Make each 2 pieces of B and D. Cut off belts to shown lengths.  
Je zwei Teile von B und D anfertigen. Die Gurte in der abgebildeten Länge abschneiden.  
Préparer 2 de chaque de B et D. Découper les sangles aux longueurs indiquées.

**16 シートの組み立て  
Seat  
Sitz  
Siège**



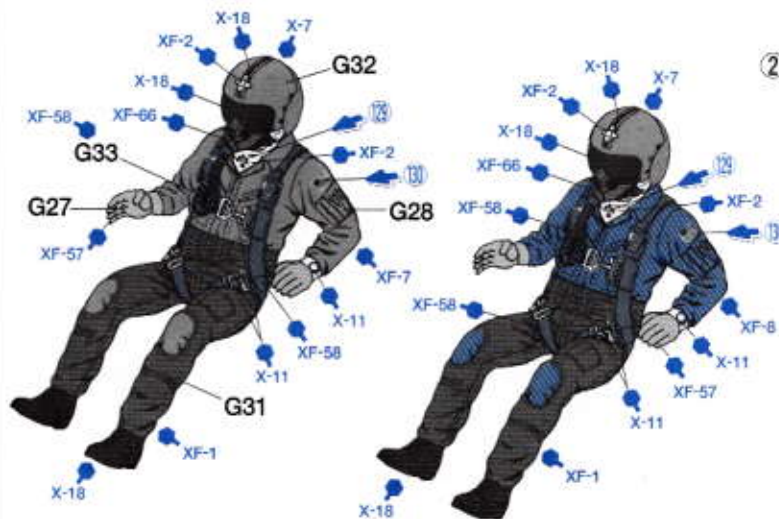
**シートベルトの取り付け  
(パイロットを取り付けない場合)  
When not installing pilot.  
Wenn kein Pilot eingesetzt wird.  
Pilote non installé.**



シートベルトは瞬間接着剤で接着します。  
Affix seatbelts using instant cement.  
Mit Sekundenkleber die Sitzgurte anbringen.  
Fixer les harnais à l'aide de la colle rapide.

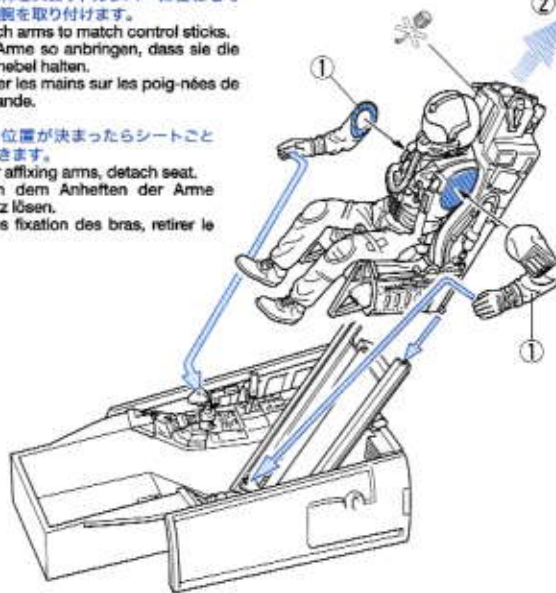
**17 パイロットの取り付け  
Pilot installation  
Einsetzen des Piloten  
Installation du pilote**

★人形の塗装はどちらかを選んでください。  
★Select either color (red or blue).  
★Wählen Sie eine Farbe (Rot oder Blau).  
★Choisir la couleur (rouge ou bleu).



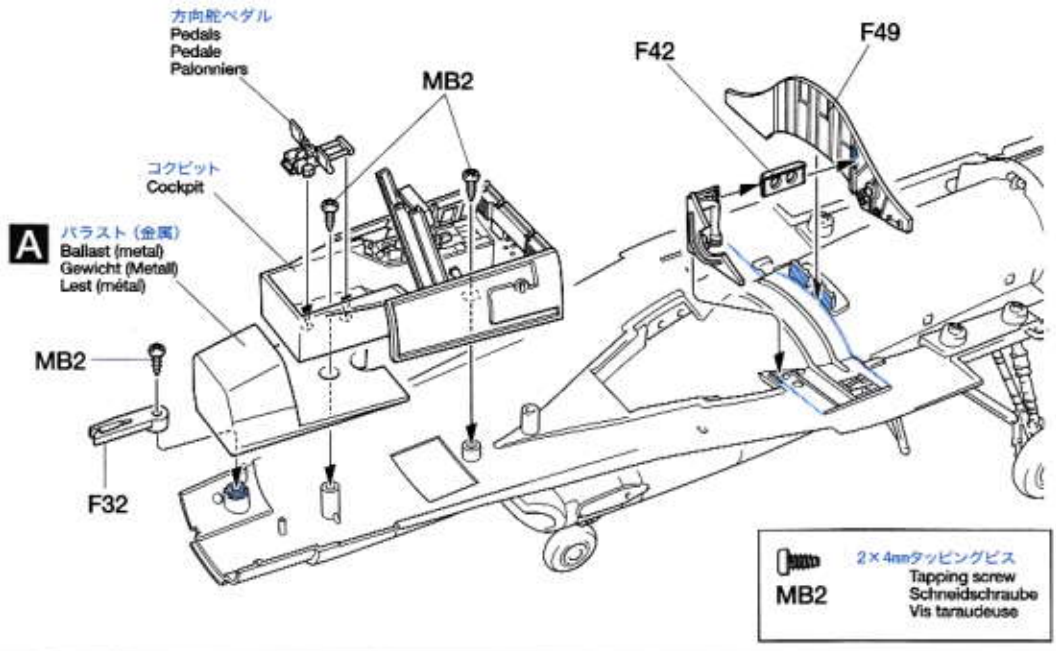
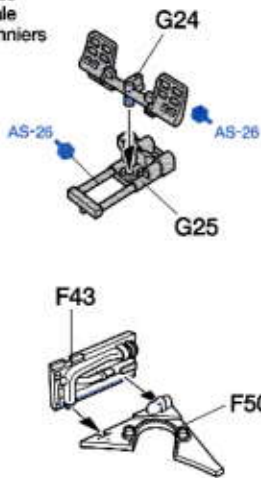
① ★操縦桿とスロットルレバーに合わせて左右の腕を取り付けます。  
★Attach arms to match control sticks.  
★Die Arme so anbringen, dass sie die Steuerhebel halten.  
★Placer les mains sur les poignées de commande.

② ★腕の位置が決まったらシートごと引き抜きます。  
★After affixing arms, detach seat.  
★Nach dem Anheften der Arme den Sitz lösen.  
★Après fixation des bras, retirer le siège.



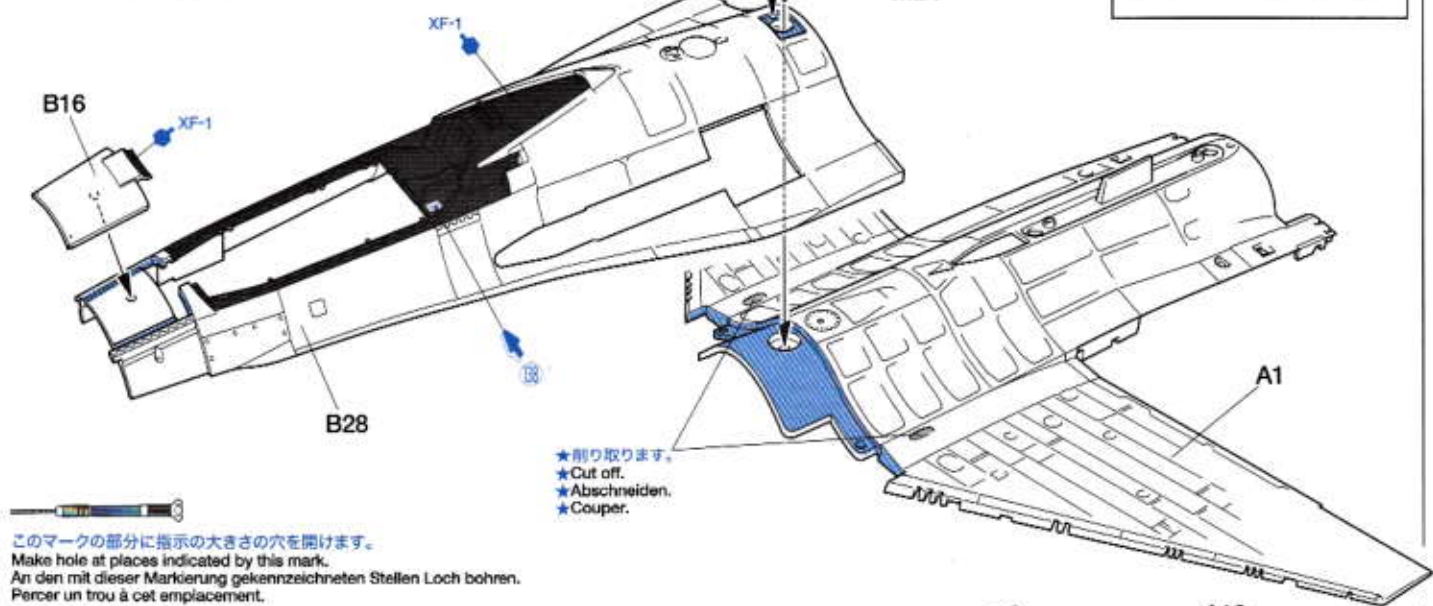
**18** コックピットの取り付け  
Installing cockpit  
Cockpit-Einbau  
Installation du cockpit

《方向舵ペダル》  
Pedals  
Pedale  
Palonniers



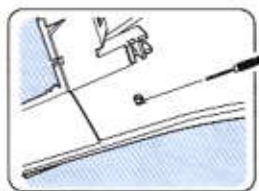
**MB2** 2×4mmタッピングビス  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse

**19** 機体上部の組み立て  
Upper fuselage  
Obere Rumpfhälfte  
Fuselage supérieur

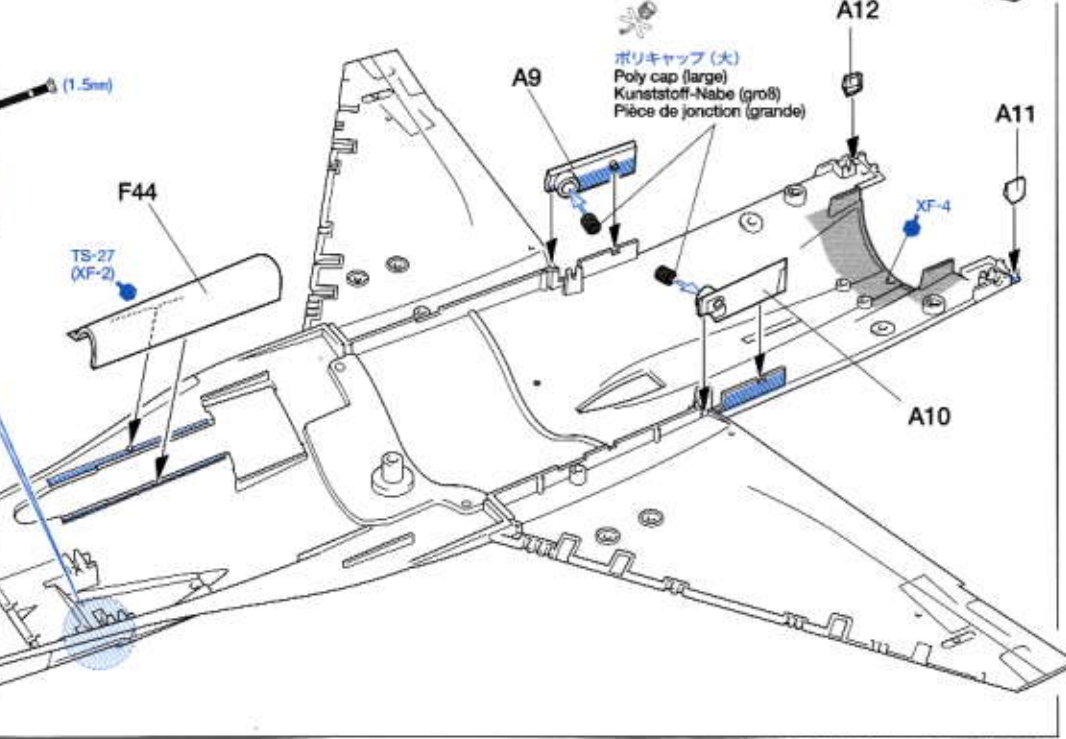


**MB1** 3×6mmタッピングビス  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse

このマークの部分に指示の大きさの穴を開けます。  
Make hole at places indicated by this mark.  
An den mit dieser Markierung gekennzeichneten Stellen Loch bohren.  
Perçer un trou à cet emplacement.



機体上部裏面  
Upper fuselage (inside)  
Obere Rumpfhälfte (innen)  
Fuselage supérieur (intérieur)



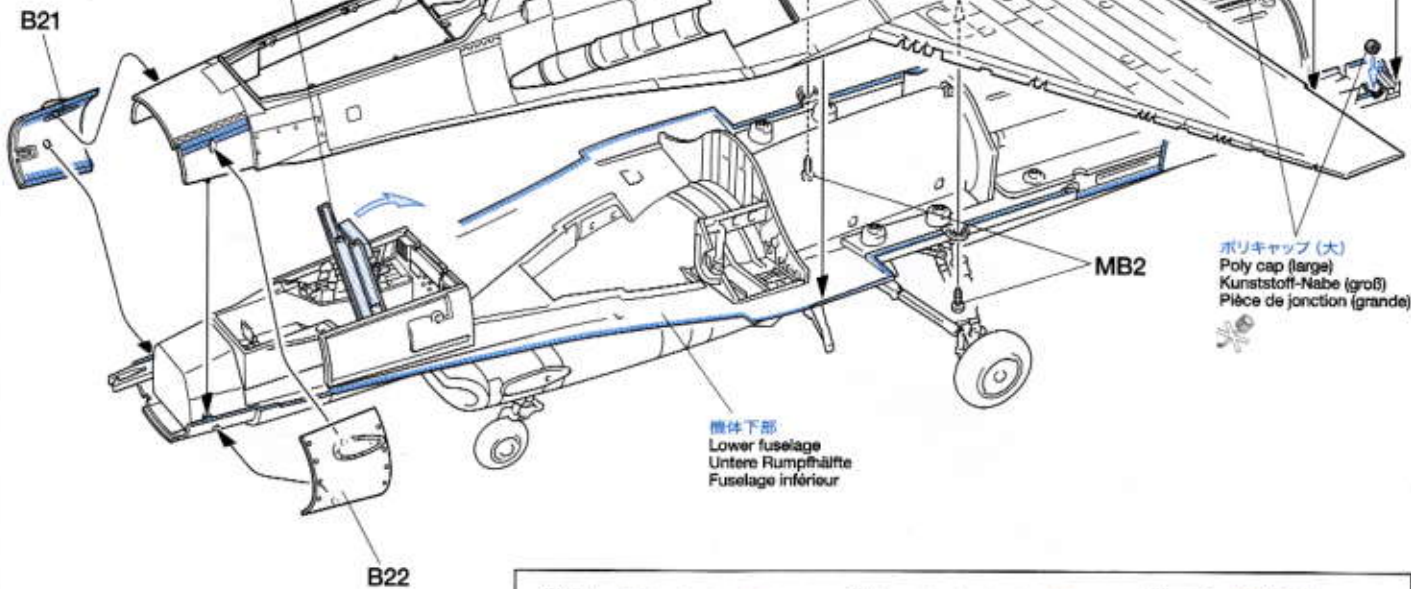
ポリキャップ (大)  
Poly cap (large)  
Kunststoff-Nabe (groß)  
Pièce de jonction (grande)

20

機体上部の取り付け  
Attaching upper fuselage  
Einbau der oberen Rumpfhälfte  
Fixation du fuselage supérieur

機体上部  
Upper fuselage  
Obere Rumpfhälfte  
Fuselage supérieur

★機体上部を接着後、レールを元に戻します。  
★After affixing upper fuselage, return rail to position.  
★Nach dem Anheften des Rumpfoberteils, die Schiene in ihre Position zurückbringen.  
★Après fixation du fuselage supérieur, remettre le rail en place.



機体下部  
Lower fuselage  
Untere Rumpfhälfte  
Fuselage inférieur

ポリキャップ (大)  
Poly cap (large)  
Kunststoff-Nabe (groß)  
Pièce de jonction (grande)



MB2

2×4mmタッピングビス  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse



MB3

1.4×3mmタッピングビス  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse



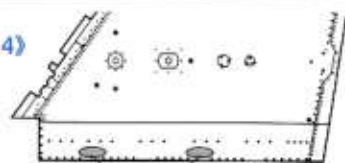
MB7

六角リベット  
Hex head rivet  
Sechskant-Niete  
Rivet à tête hexagonale

21

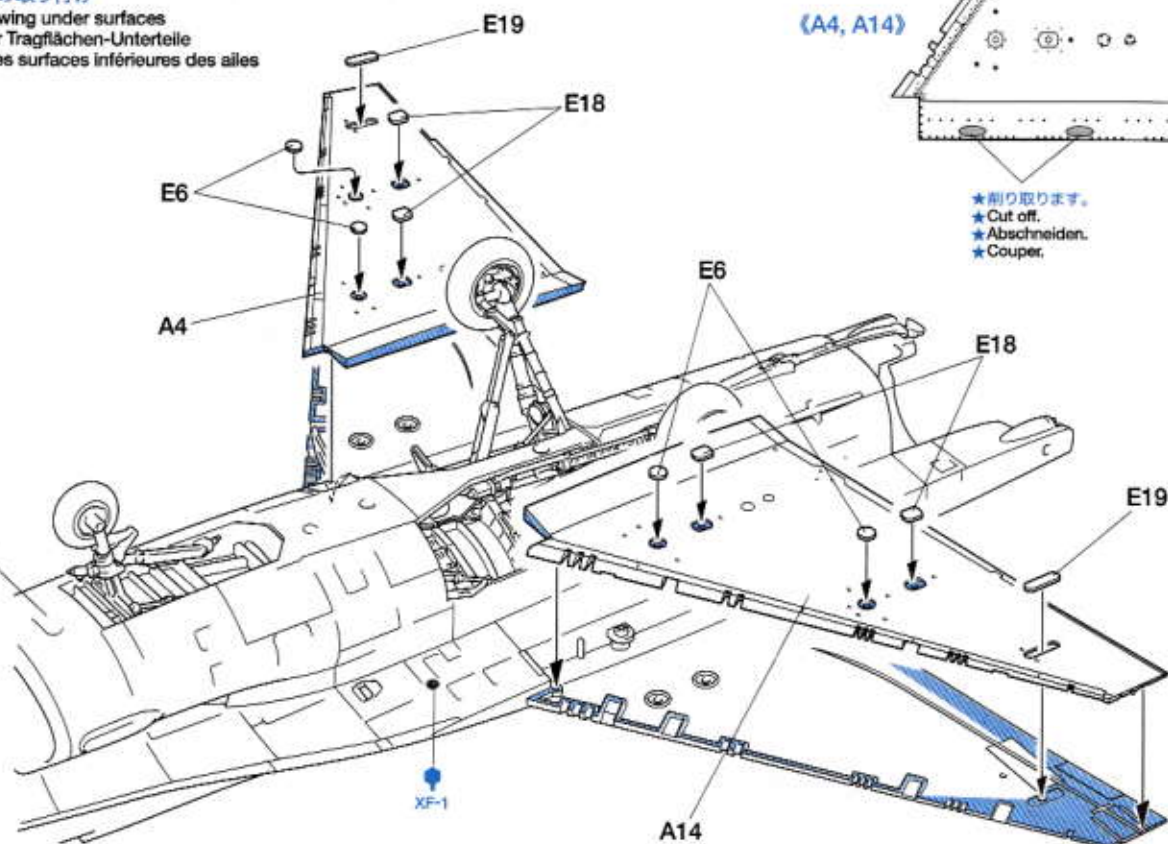
主翼下面の取り付け  
Attaching wing under surfaces  
Einbau der Tragflächen-Unterteile  
Fixation des surfaces inférieures des ailes

《A4, A14》



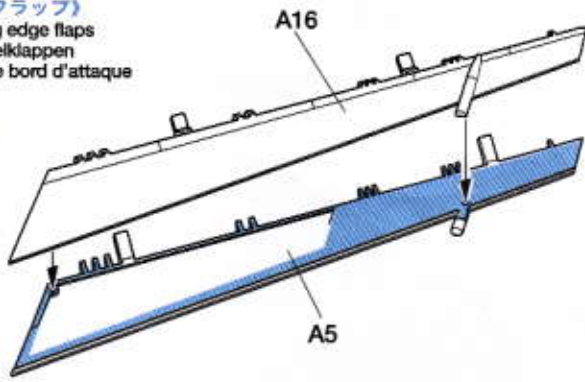
★削り取ります。  
★Cut off.  
★Abschneiden.  
★Couper.

機体  
Fuselage  
Rumpf

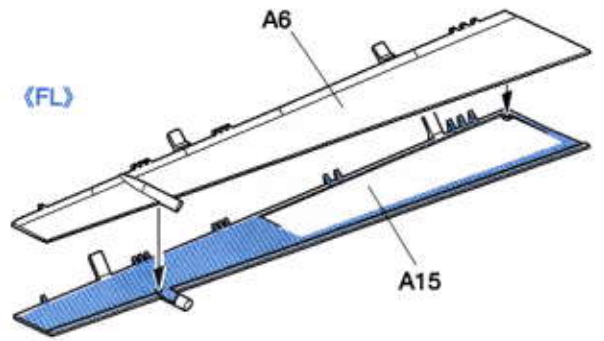


**22** 《前線フラップ》  
Leading edge flaps  
Vorflügelklappen  
Becs de bord d'attaque

《FR》

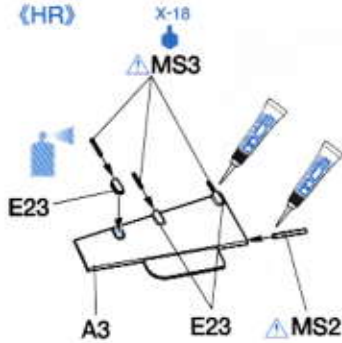


《FL》

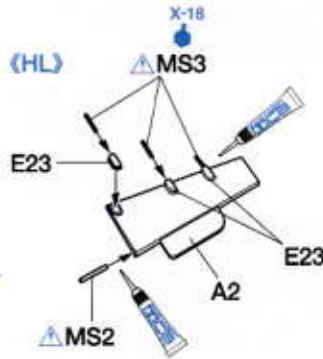


《翼端部》  
Wing tips  
Flügelspitzen  
Extrémités des ailes

《HR》

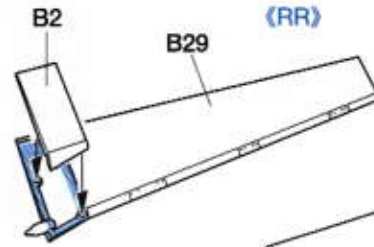


《HL》

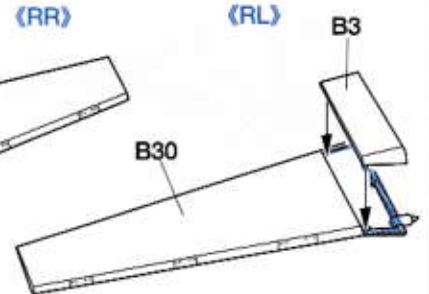


《フラッペロン》  
Flaperons  
Landeklappen

《RR》



《RL》

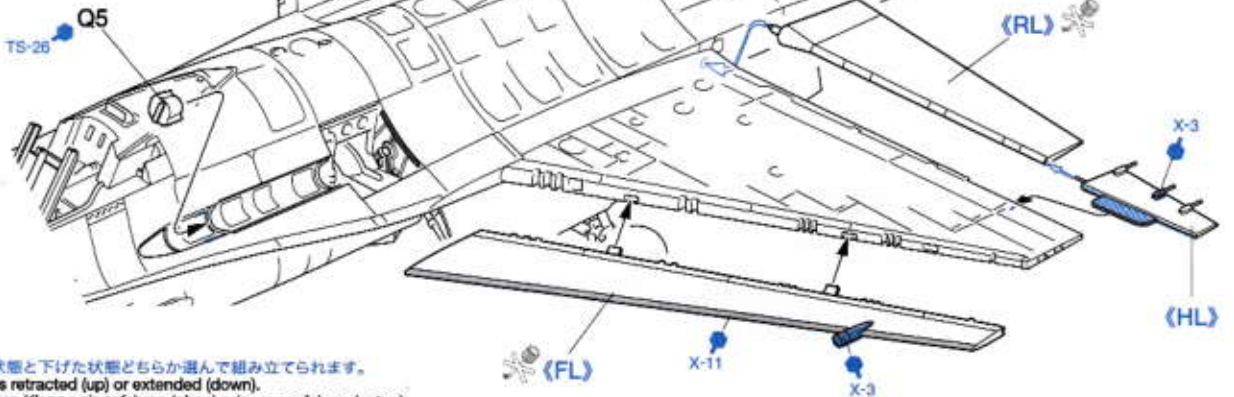


⚠ このマークの部品は尖った箇所があるので注意します。  
Be careful of pointed parts.  
Auf spitzige Teile achten.  
Attention aux pièces pointues.

MS3 0.5×5.5mmシャフト Shaft Achse Axe  
MS2 0.7×6mmシャフト Shaft Achse Axe

**23** フラップの取り付け  
Attaching flaps  
Klappen-Einbau  
Fixation des volets

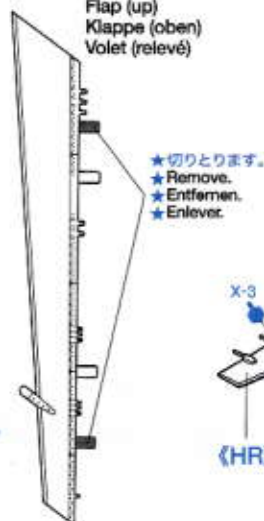
- ★前線フラップは②で接着します。
- ★Attach Leading edge flaps in step ②.
- ★Befestigung der Vorflügelklappen in Schritt ②.
- ★Fixer les becs de bord d'attaque à l'étape ②.



- フラップは上げた状態と下げた状態どちらか選んで組み立てられます。
- Choose either flaps retracted (up) or extended (down).
- Wählen Sie zwischen Klappe eingefahren (oben) oder ausgefahren (unten).
- Choisir entre volets rentrés (relevés) ou braqués (abaissés).

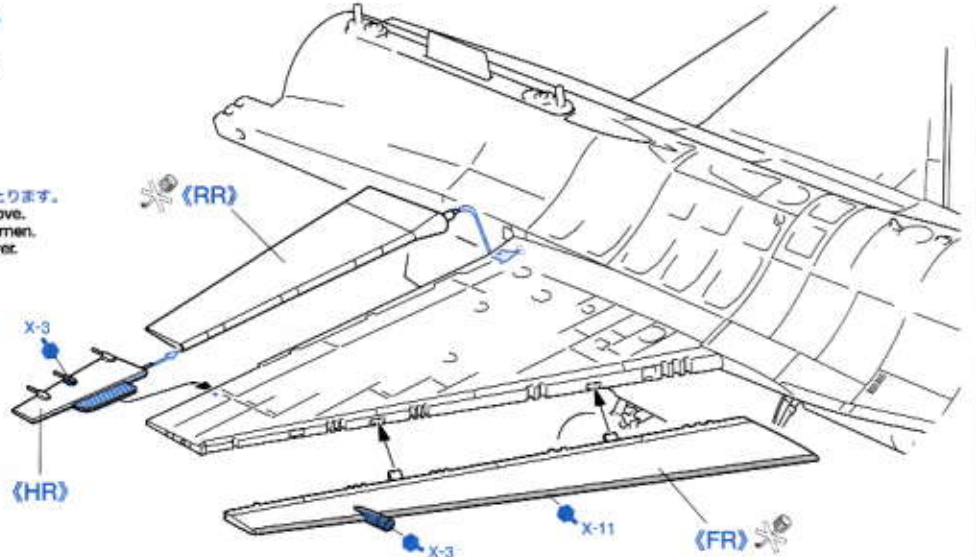
《下げた状態》  
Flap (down)  
Klappe (unten)  
Volet (abaissé)

《上げた状態》  
Flap (up)  
Klappe (oben)  
Volet (relevé)



- ★切りとります。
- ★Remove.
- ★Entfernen.
- ★Enlever.

- ★切りとります。
- ★Remove.
- ★Entfernen.
- ★Enlever.

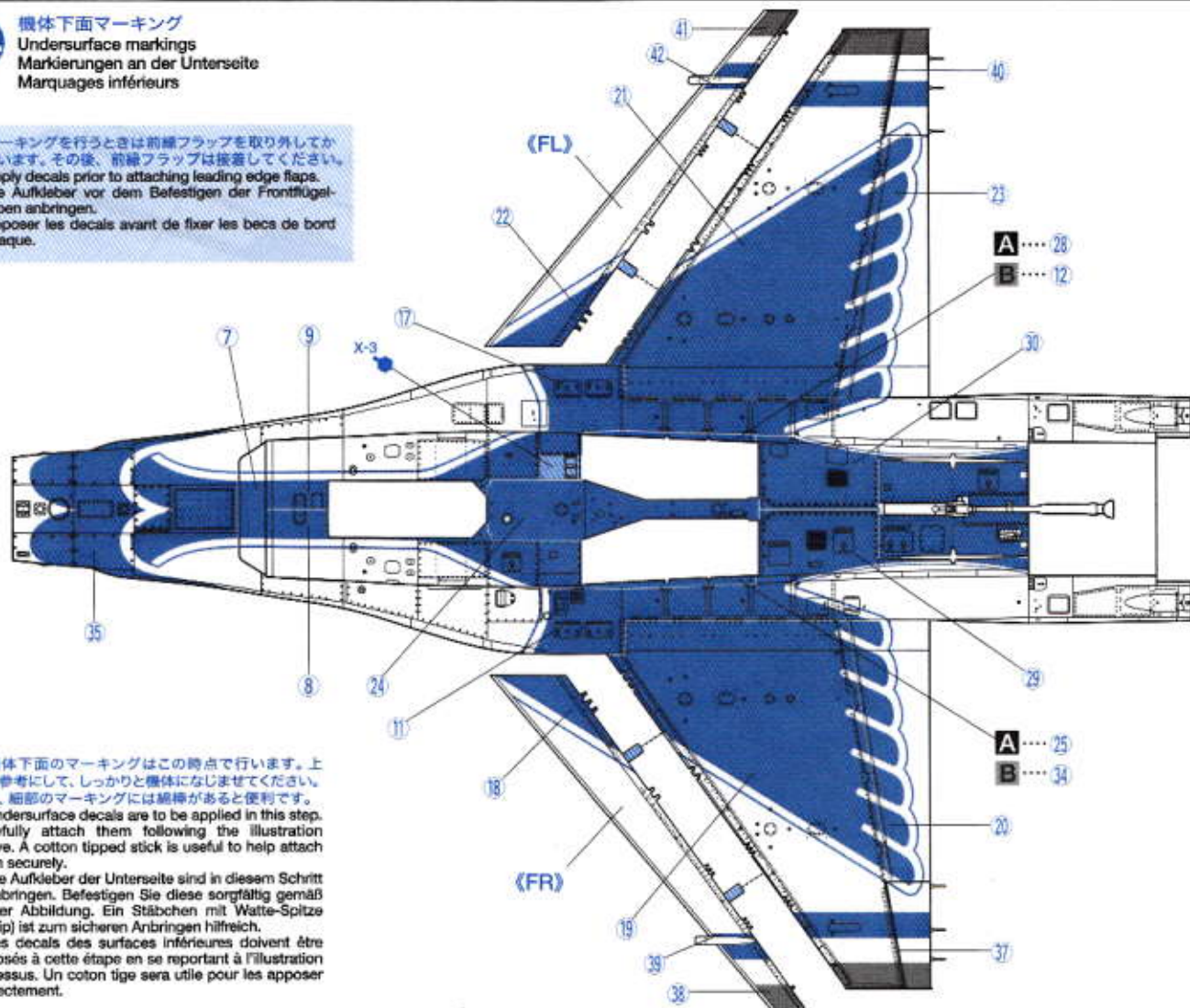


24

機体下面マーキング  
Undersurface markings  
Markierungen an der Unterseite  
Marquages inférieures

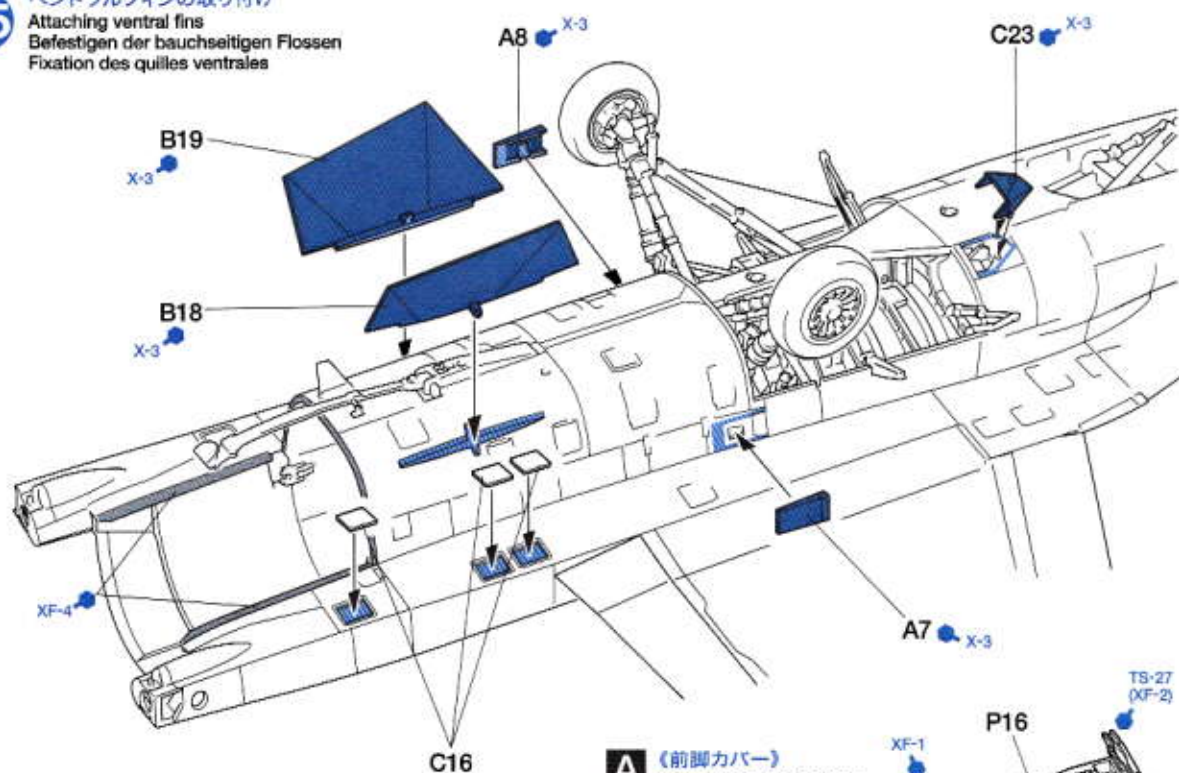
★マーキングを行うときは前縁フラップを取り外してから行います。その後、前縁フラップは接着してください。  
★Apply decals prior to attaching leading edge flaps.  
★Die Aufkleber vor dem Befestigen der Frontflügelklappen anbringen.  
★Appliquer les decals avant de fixer les bords de bord d'attaque.

★機体下面のマーキングはこの時点で行います。上図を参考にして、しっかりと機体になじませてください。また、細部のマーキングには綿棒があると便利です。  
★Undersurface decals are to be applied in this step. Carefully attach them following the illustration above. A cotton tipped stick is useful to help attach them securely.  
★Die Aufkleber der Unterseite sind in diesem Schritt anzubringen. Befestigen Sie diese sorgfältig gemäß obiger Abbildung. Ein Stäbchen mit Watte-Spitze (Q-Tip) ist zum sicheren Anbringen hilfreich.  
★Les decals des surfaces inférieures doivent être apposés à cette étape en se reportant à l'illustration ci-dessus. Un coton tige sera utile pour les apposer correctement.



25

ベントラルフィンを取り付け  
Attaching ventral fins  
Befestigen der bauchseitigen Flossen  
Fixation des quilles ventrales



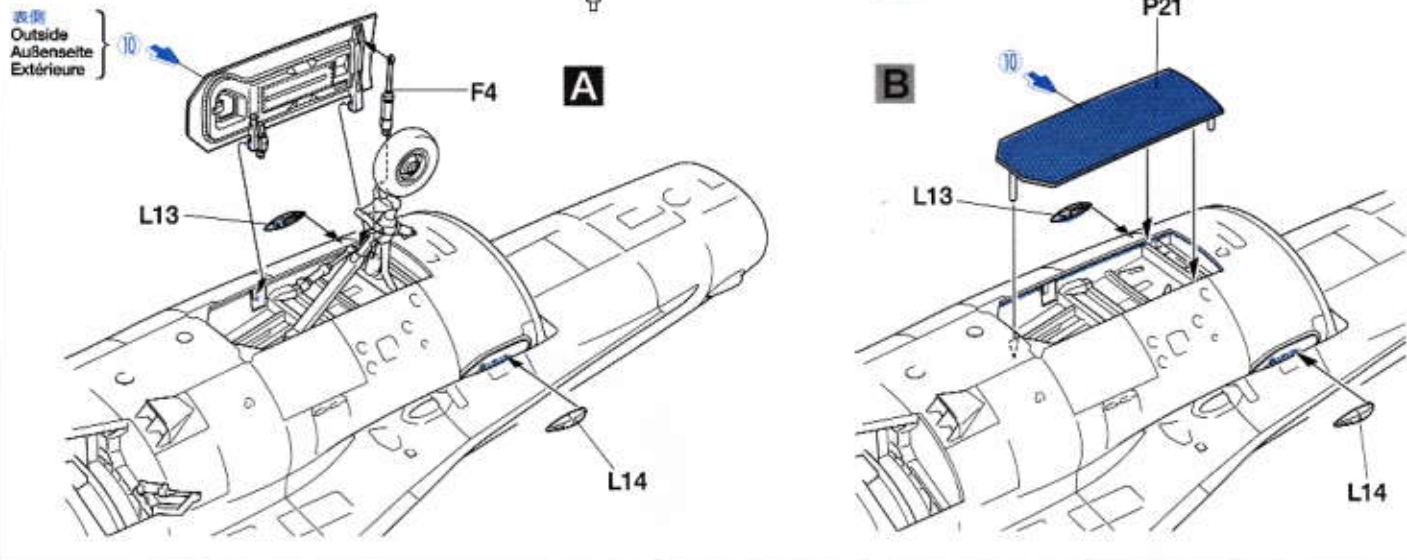
**A** 《前脚カバー》  
Nose landing gear cover  
Bugfahrwerk-Klappe  
Trappe du train avant

★切り取ります。  
★Remove.  
★Entfernen.  
★Enlever.

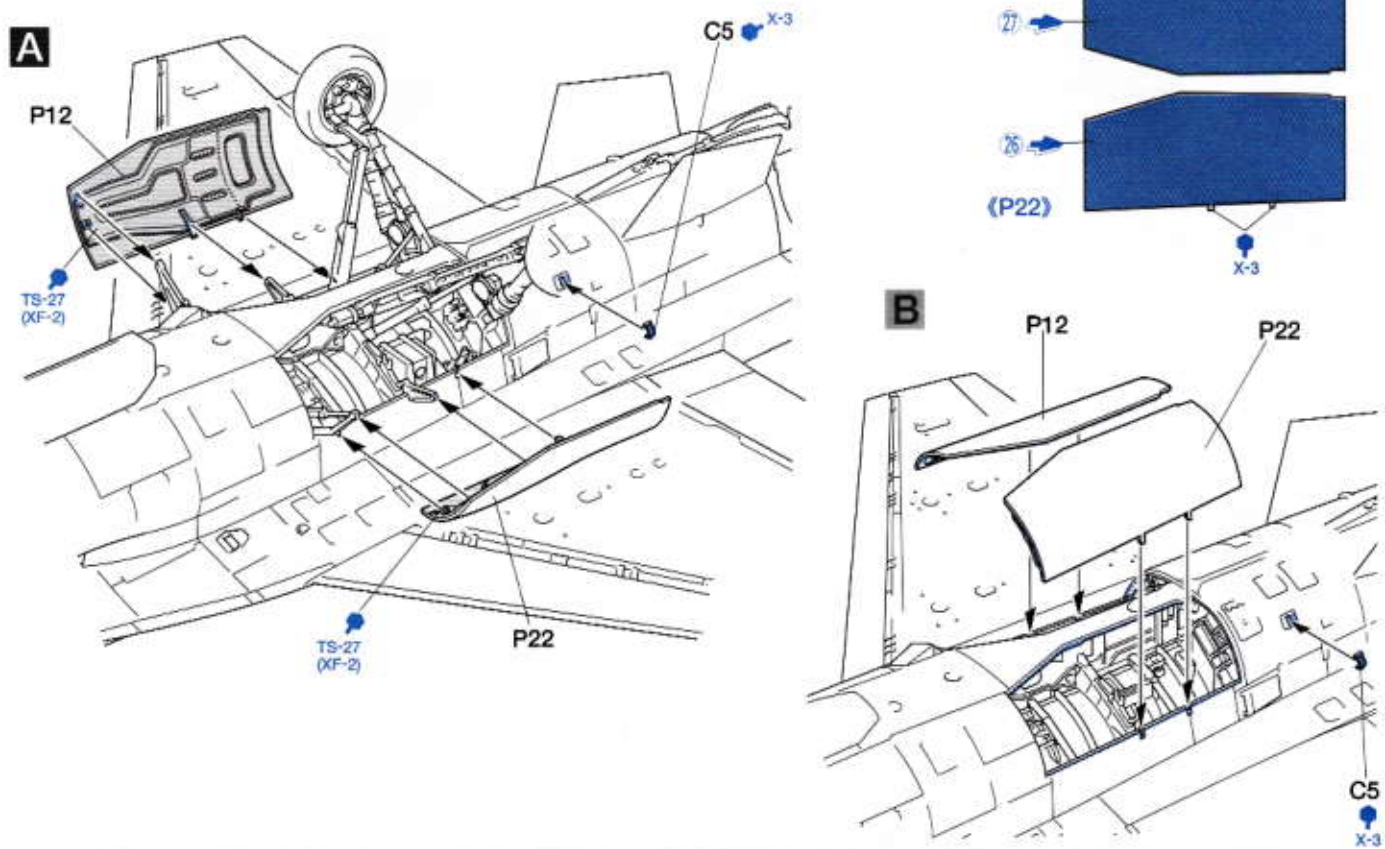
★切り取ります。  
★Remove.  
★Entfernen.  
★Enlever.



**26** 前脚カバーの取り付け  
Attaching nose landing gear cover  
Einbau der Bugfahrwerk-Klappe  
Fixation de la trappe du train avant



**27** 主脚カバーの取り付け  
Attaching main landing gear covers  
Einbau der Hauptfahrwerk-Klappen  
Fixation des trappes du train principal

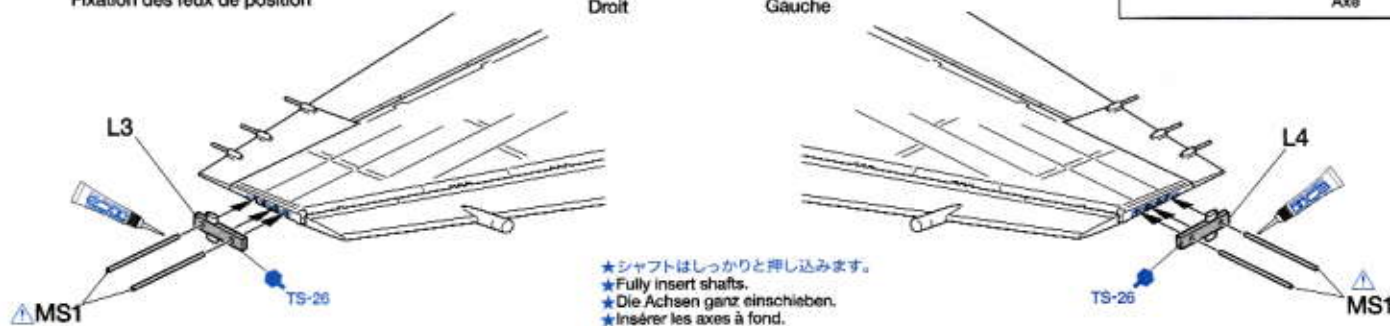


**28** 翼端灯の取り付け  
Attaching wing tip lights  
Einbau der Flügelspitzen-Lichter  
Fixation des feux de position

《右翼端》  
Right  
Rechts  
Droit

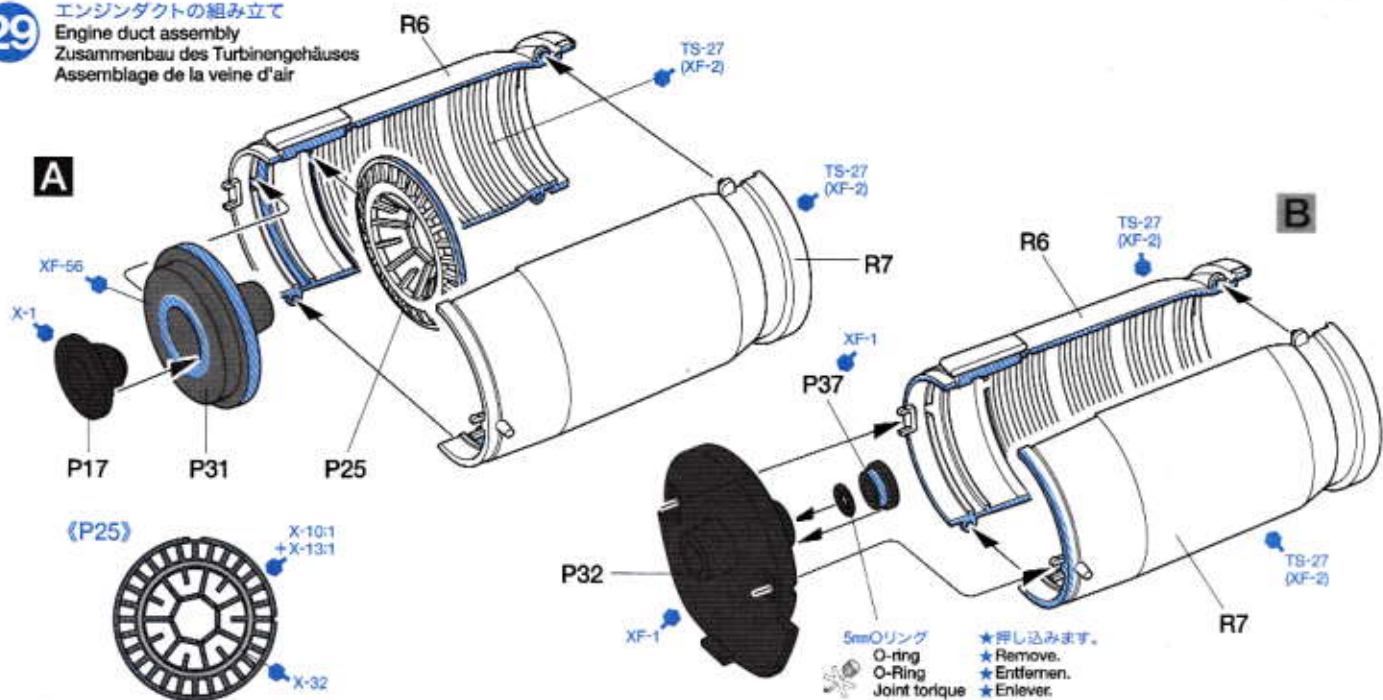
《左翼端》  
Left  
Links  
Gauche

MS1 0.7 × 13.5mm シャフト  
Shaft  
Achse  
Axe

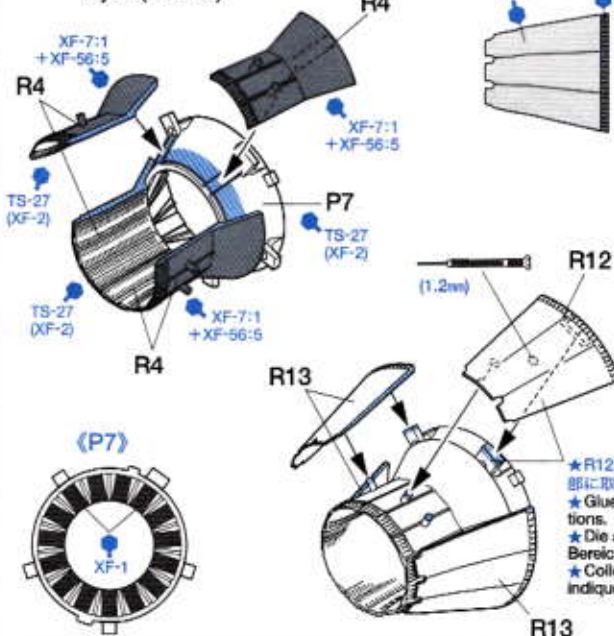


★シャフトはしっかりと押し込みます。  
★Fully insert shafts.  
★Die Achsen ganz einschieben.  
★Insérer les axes à fond.

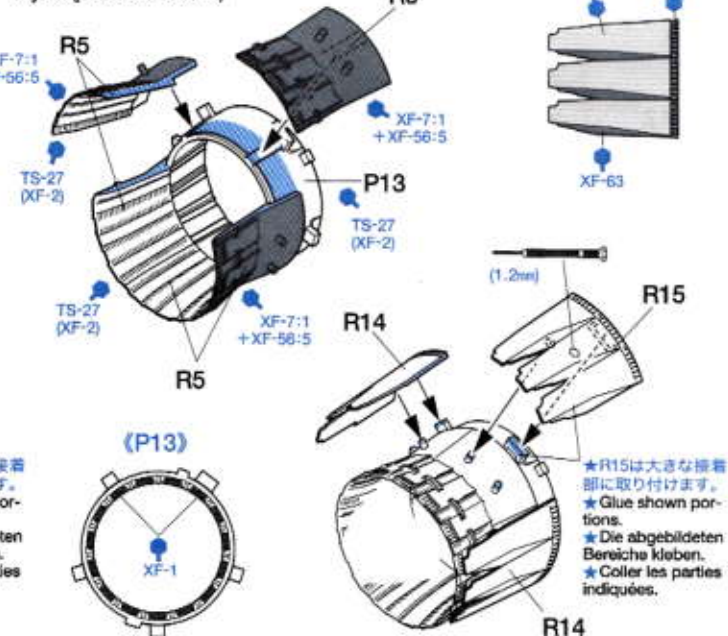
**29** エンジンドクトの組み立て  
Engine duct assembly  
Zusammenbau des Turbinengehäuses  
Assemblage de la veine d'air



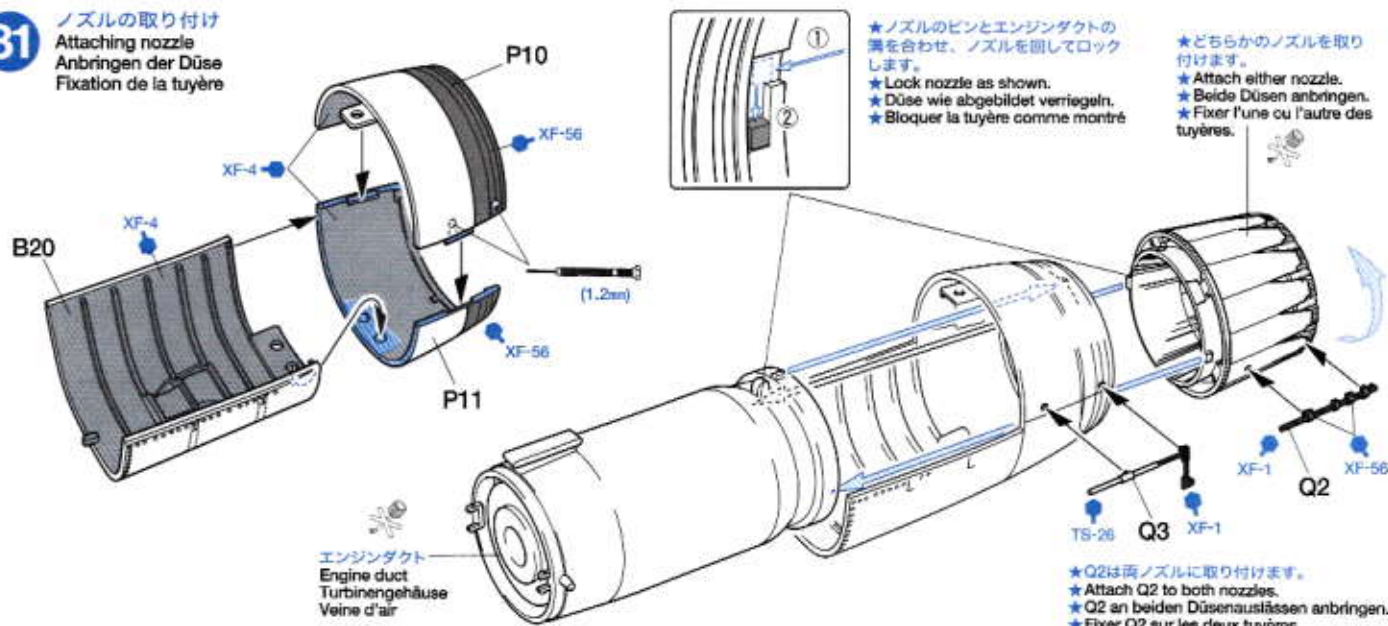
**30** 《ノズル (絞った状態)》  
Nozzle (cruising)  
Düse (Normalflug)  
Tuyère (croisière)



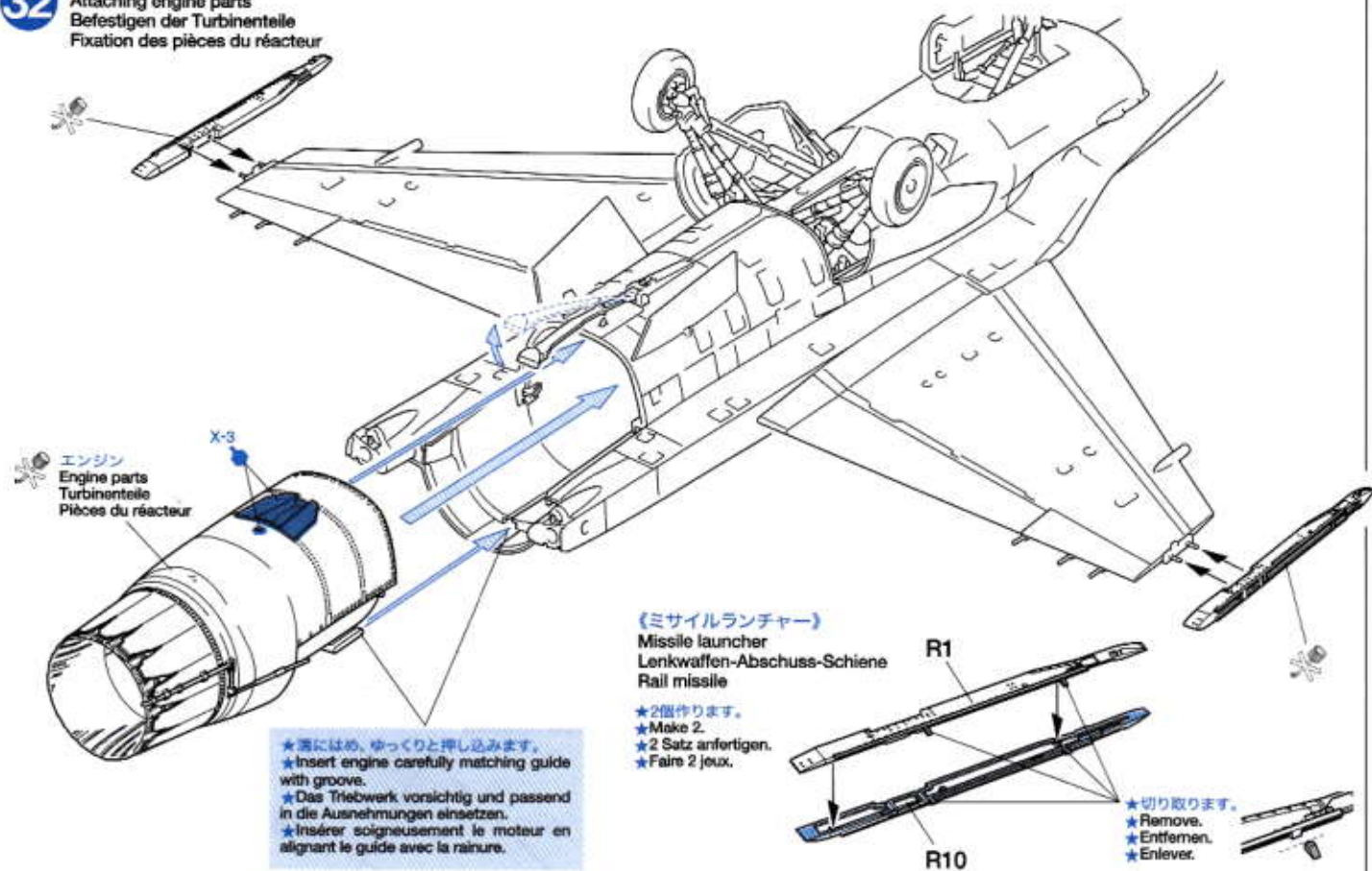
《ノズル (開いた状態)》  
Nozzle (afterburner)  
Düse (Nachbrenner)  
Tuyère (post-combustion)



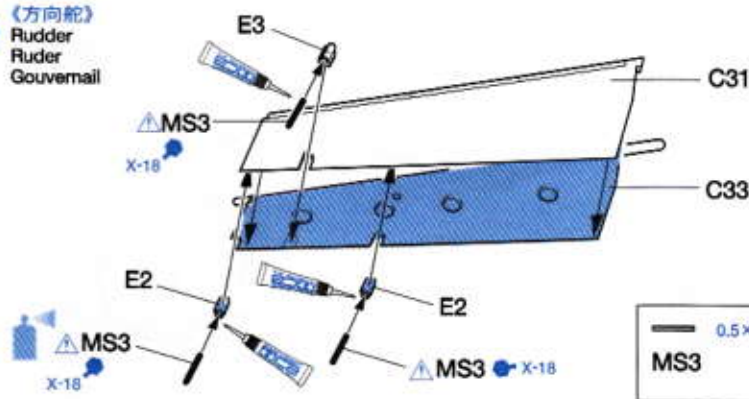
**31** ノズルの取り付け  
Attaching nozzle  
Anbringen der Düse  
Fixation de la tuyère



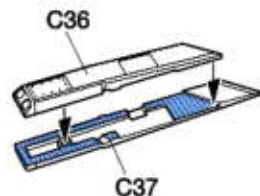
32 エンジンの取り付け  
Attaching engine parts  
Befestigen der Turbinenteile  
Fixation des pièces du réacteur



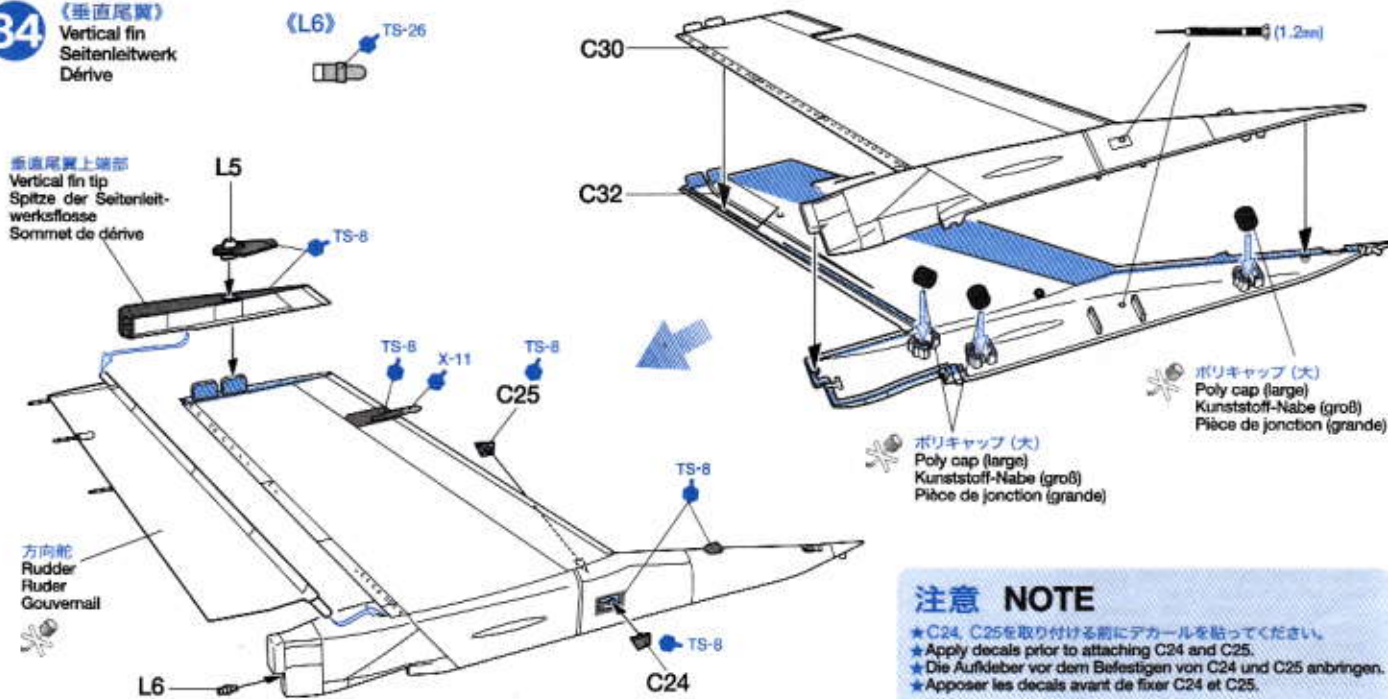
33 《方向舵》  
Rudder  
Ruder  
Gouvernail



《垂直尾翼上端部》  
Vertical fin tip  
Spitze der Seitenleitwerksflosse  
Sommet de dérive



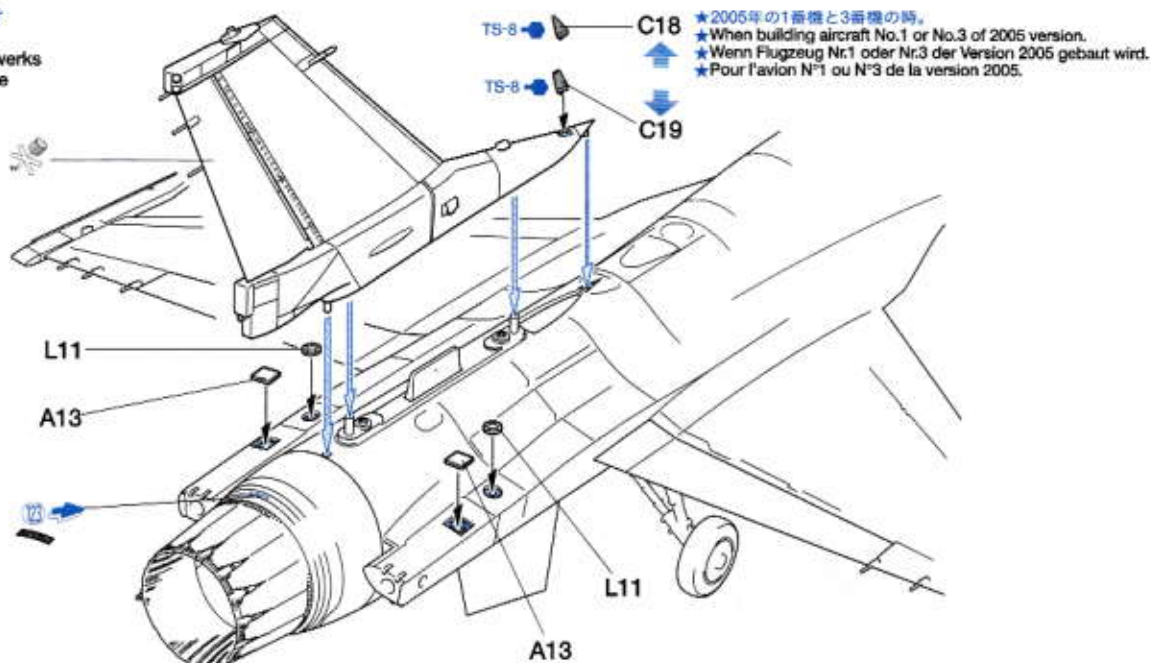
34 《垂直尾翼》  
Vertical fin  
Seitenleitwerk  
Dérive



35

垂直尾翼の取り付け  
Attaching vertical fin  
Einbau des Seitenleitwerks  
Installation de la dérive

《L11裏面》  
Underside  
Unterseite  
Intérieure



36

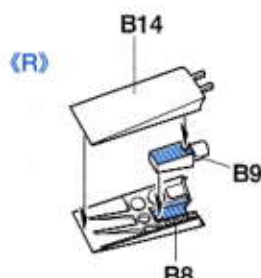
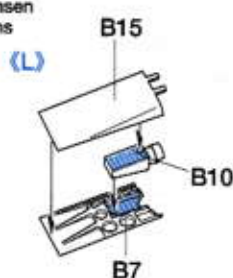
《エアブレーキ》  
Air brakes  
Luftbremsen  
Aérofrens

《水平尾翼》  
Horizontal stabilizer  
Höhenflosse  
Stabilisateur horizontal

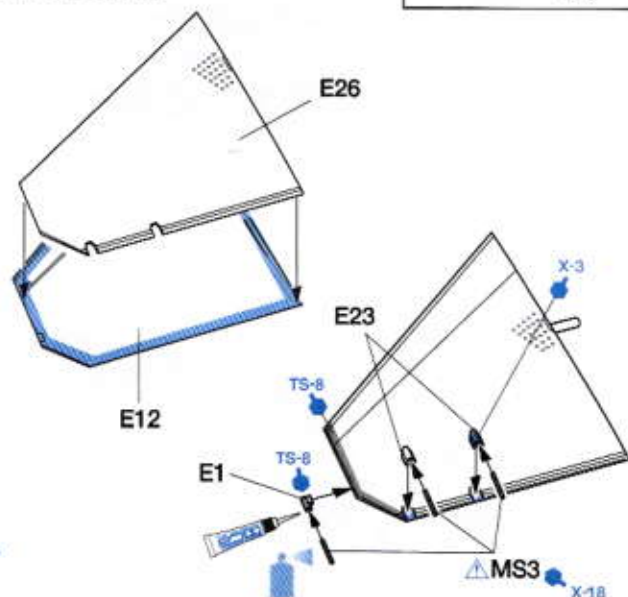
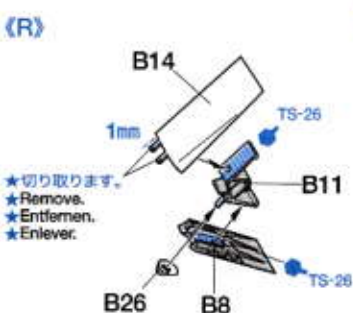
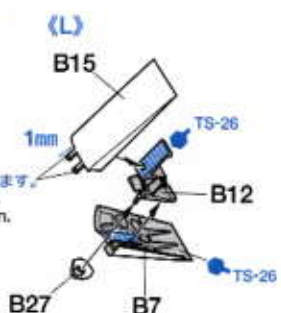
★2枚作ります。  
★Make 2.  
★2 Satz anfertigen.  
★Faire 2 jeux.

— 0.5×5.5mmシャフト  
MS3 Shaft  
Achse  
Axe

《閉状態》  
Closed  
Geschlossen  
Fermés



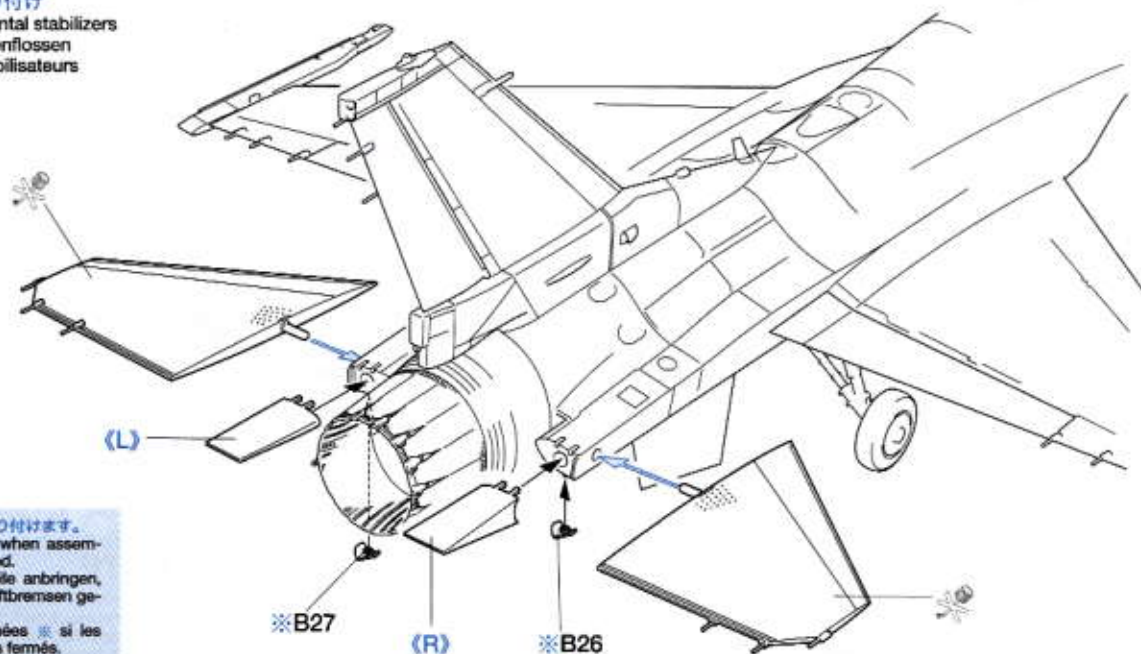
《開状態》  
Open  
Offen  
Ouverts



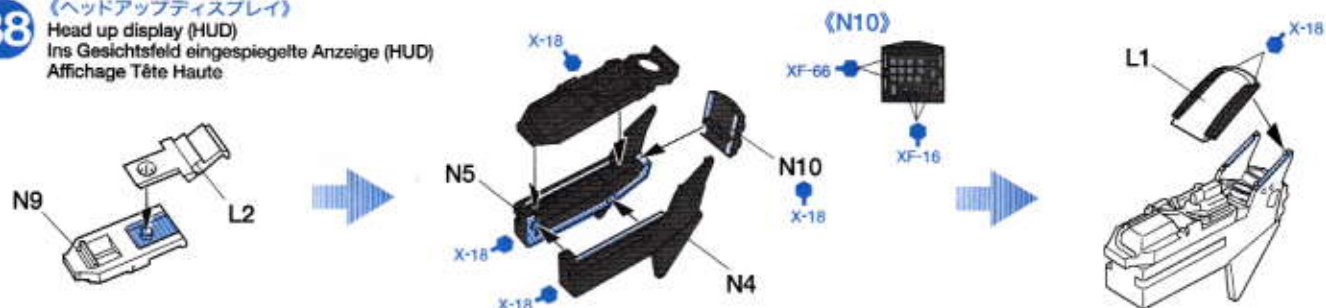
37

水平尾翼の取り付け  
Attaching horizontal stabilizers  
Einbau der Höhenflossen  
Fixation des stabilisateurs  
horizontaux

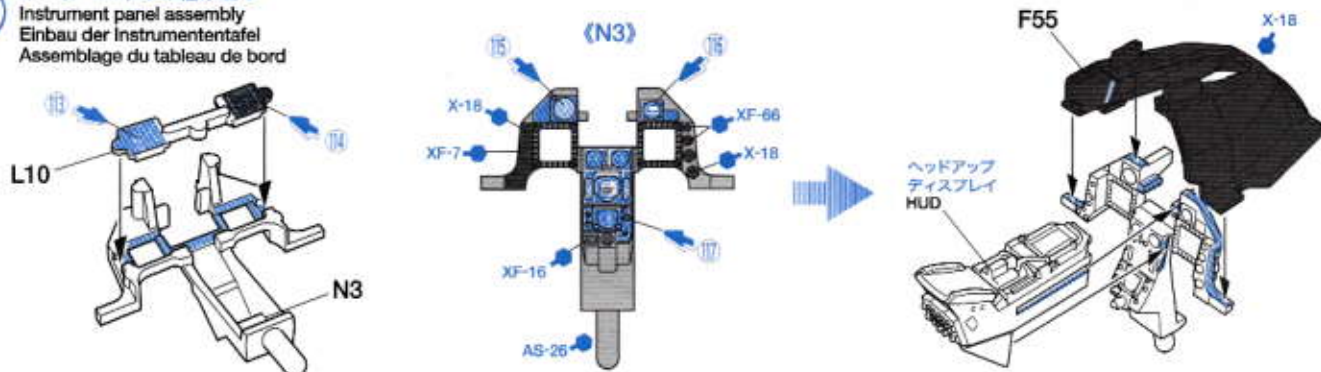
※の部品は閉状態のみ取り付けます。  
Attach parts marked ※ when assembling with air brakes closed.  
Die mit ※ markierten Teile anbringen, wenn die geschlossenen Luftbremsen gebaut werden.  
Utiliser les pièces marquées ※ si les aérofrens sont présentés fermés.



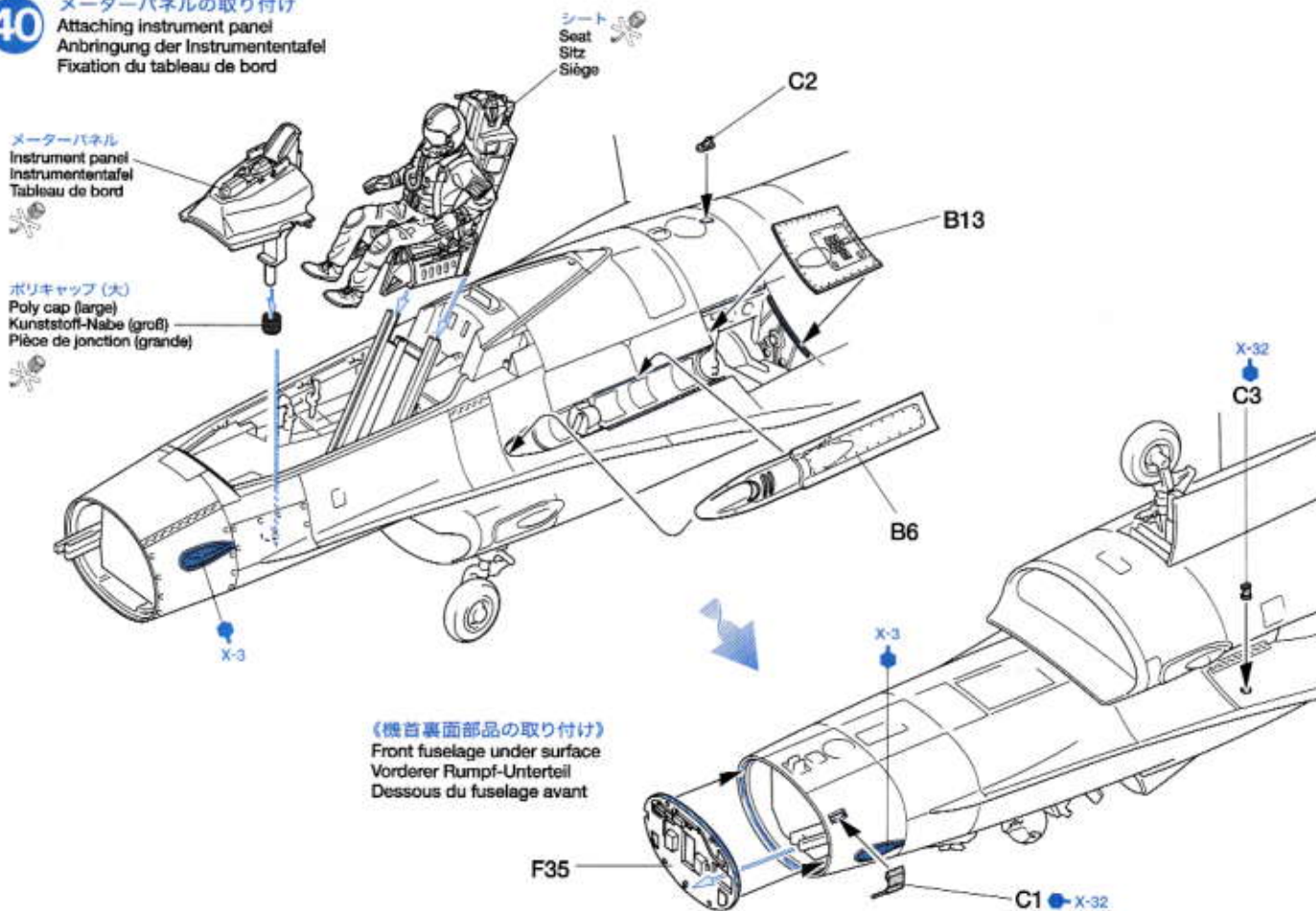
### 38 《ヘッドアップディスプレイ》 Head up display (HUD) Ins Gesichtsfeld eingespiegelte Anzeige (HUD) Affichage Tête Haute



### 39 メーターパネルの組み立て Instrument panel assembly Einbau der Instrumententafel Assemblage du tableau de bord



### 40 メーターパネルの取り付け Attaching instrument panel Anbringung der Instrumententafel Fixation du tableau de bord



#### 《マスクシールの使い方》

- ① マスクシールを台紙ごと切り抜きます。
- ② アルファベットの順にマスクシールを貼ります。この時、先に貼ったマスクシールに少し重なるように貼っていきます。
- ③ 裏は市販のマスクングテープで全面を覆ってから塗装してください。

※ マスクシールやマスクングテープは浮き上がっているとそこから塗料が入ってしまい失敗の原因になるため、塗装する前に浮いているような場所はしっかり押さえてから塗装します。また、前部キャノピーはスモーク部品を、後部キャノピーはクリア部品を使用してください。

#### Using masking sticker

- ① Cut out masking sticker.
- ② Apply masking stickers referring to illustration, placing the stickers over the border in numbered order.

- ③ Mask whole inside of the canopy using masking tape (sold separately).

① Make sure to securely apply masking sticker/tape so as not to allow any gap under the sticker. Use front canopy (smoke) and rear canopy (clear) for "Thunderbirds" aircraft.

#### Verwendung der Abkleber

- ① Abkleber unter Beachtung der Abbildung anbringen, dabei die Abkleber in der nummerierten Reihenfolge über die Grenze kleben.
- ② Die gesamte Innenseite des Kabinendaches mit (getrennt erhältlichem) Abklebeband abkleben.

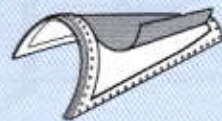
※ Unbedingt auf sicheres Andrücken von Abklebern/Abklebeband achten, so dass sich kein Spalt unter dem Abkleber bilden kann. Für die "Thunderbirds" Flugzeuge die vordere (rauchfarbene) und hintere (klare) Kanzel verwenden.

#### Utilisation des caches autocollants

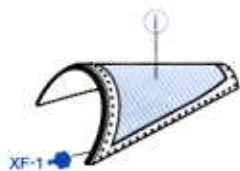
- ① Découper les caches autocollants.
- ② Appliquer les caches autocollants en se référant aux illustrations. Placer les caches le long des limites dans l'ordre numérique.

③ Masquer entièrement l'intérieur de la verrière avec de la bande cache (disponible séparément).

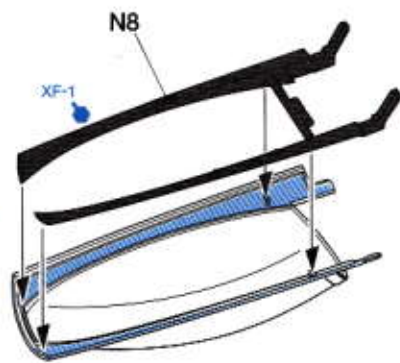
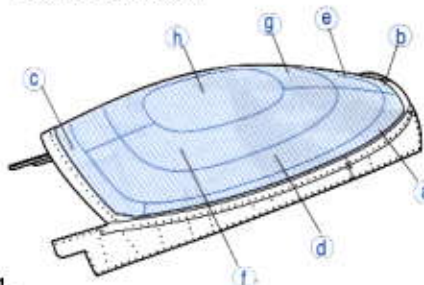
④ Appliquer soigneusement les caches auto-collants et la bande cache de façon à ne laisser aucun espace. Partie avant fumée et partie arrière claire sur un appareil des "Thunderbirds".



**41** 《キャンピー後部 (クリア部品)》  
Rear canopy (clear)  
Hinteres Kabinendach (farblos)  
Verrière arrière (claire)



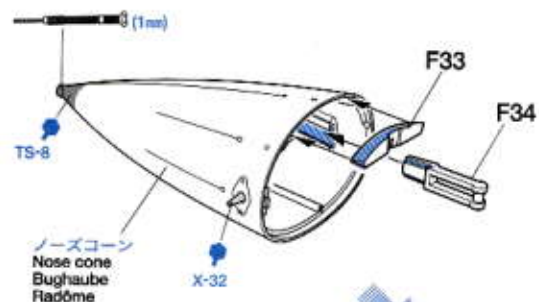
《キャンピー前部 (スモーク部品)》  
Front canopy (smoke)  
Vorderes Kabinendach (rauchglasfarben)  
Verrière avant (fumée)



- ★ P21の《マスクシールの使い方》を参考に貼ります。
- ★ Refer to "Using masking sticker" on page 21.
- ★ Die "Verwendung der Abkleber" auf Seite 21 beachten.
- ★ Se reporter à "Utilisation des caches autocollants" page 21.

**42** キャンピーの取り付け  
Attaching canopy  
Kabinendach-Einbau  
Fixation de la verrière

《キャンピー閉状態》  
Canopy closed  
Kabinendach geschlossen  
Verrière fermée



ノーズコーン  
Nose cone  
Bughaube  
Radôme

▲ ビトータ管  
Pitot tube  
Pitot-Rohr  
Tube de pitot

TS-8

F33

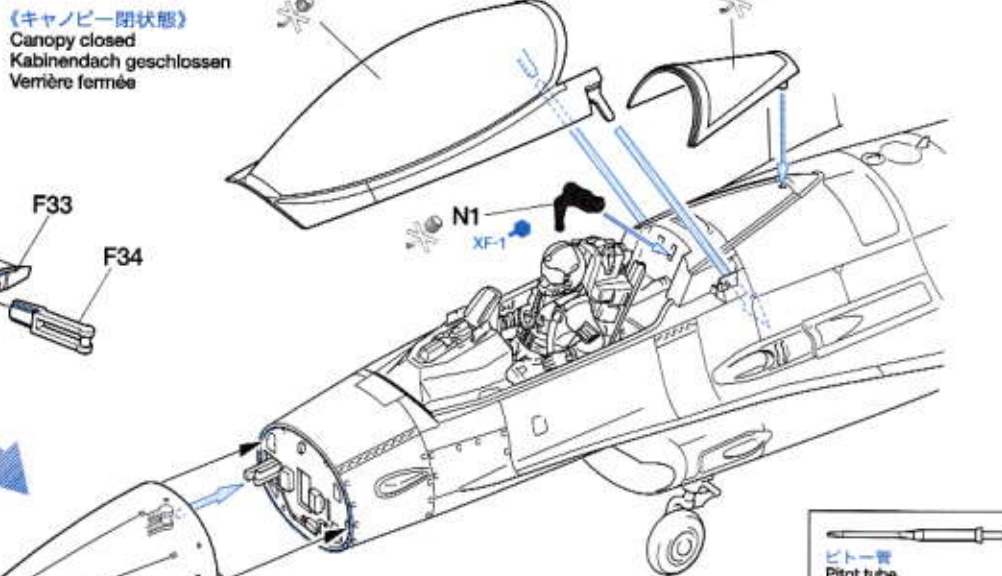
F34

X-32

TS-8



C4

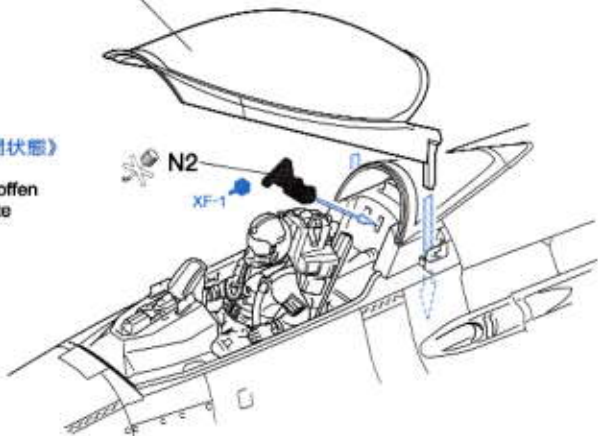


N1

XF-1

▲ ビトータ管  
Pitot tube  
Pitot-Rohr  
Tube de pitot

《キャンピー開状態》  
Canopy open  
Kabinendach offen  
Verrière ouverte

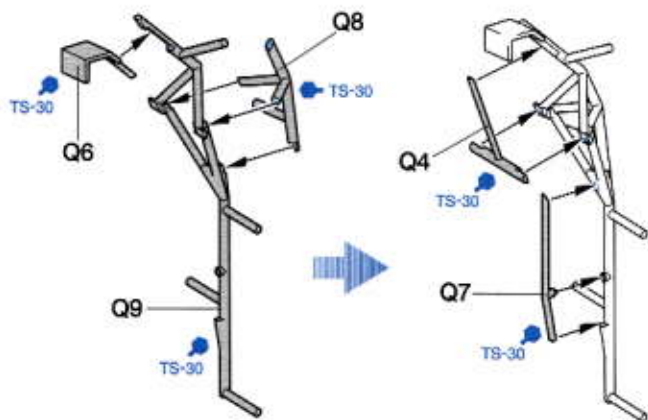


N2

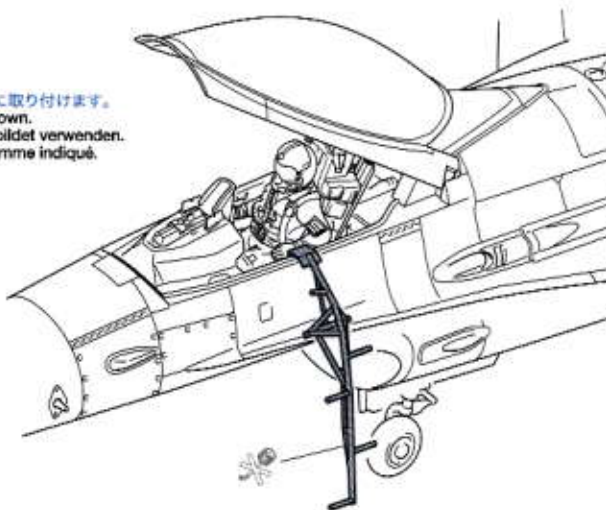
XF-1

**43** ラダーの組み立て  
Ladder assembly  
Zusammenbau der Einstiegsleiter  
Assemblage de l'échelle

**A**



- ★ 図の位置に取り付けます。
- ★ Use as shown.
- ★ Wie abgebildet verwenden.
- ★ Utiliser comme indiqué.



44

## 《車輪止め》

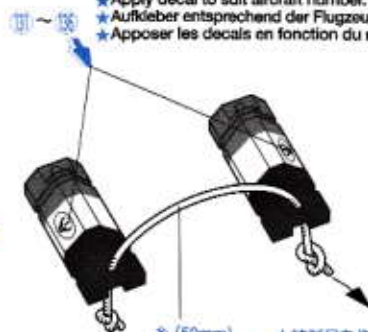
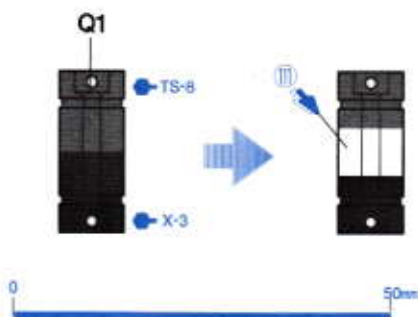
Wheel check  
Sicherheits-Bremsblock  
Caes

A

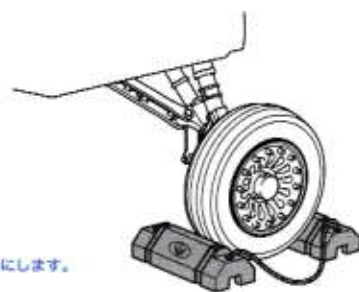
- ★2個作ります。
- ★Make 2.
- ★2 Satz anfertigen.
- ★Faire 2 jeux.

- ★機体番号に合わせてマークを張ります。
- ★Apply decal to suit aircraft number.
- ★Aufkleber entsprechend der Flugzeugnummer anbringen.
- ★Apposer les decals en fonction du numéro de l'avion.

- ★マークが外側を向くように使います。
- ★Use as shown.
- ★Wie abgebildet verwenden.
- ★Utiliser comme indiqué.



- 糸 (50mm)  
String (50mm)  
Leine (50mm)  
Ficelle (50mm)
- ★結び目を作って抜けないようにします。
- ★Make a knot.
- ★Einen Knoten machen.
- ★Faire un noeud.



## DISPLAY STAND

45

## ディスプレイスタンドの組み立て

Display stand  
Ausstellungs-Ständer  
Support de présentation

B



SB1

3×18mm丸ビス  
Screw  
Schraube  
Vis



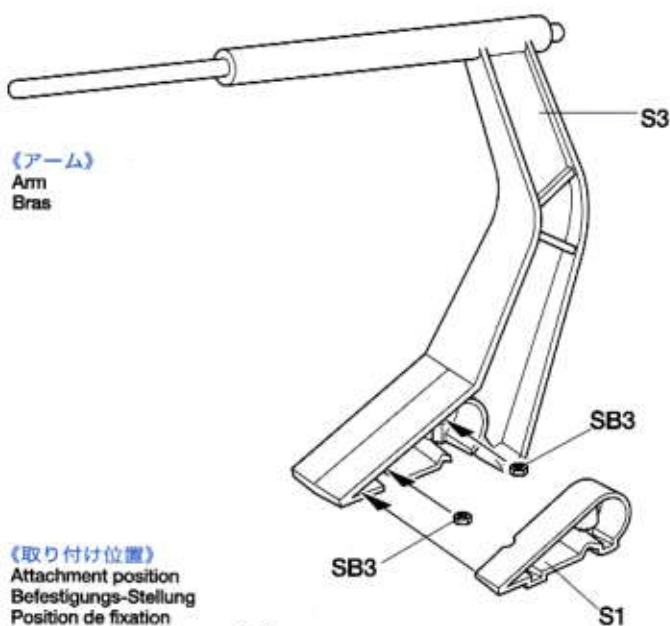
SB2

3mmワッシャー  
Washer  
Bellagscheibe  
Rondelle



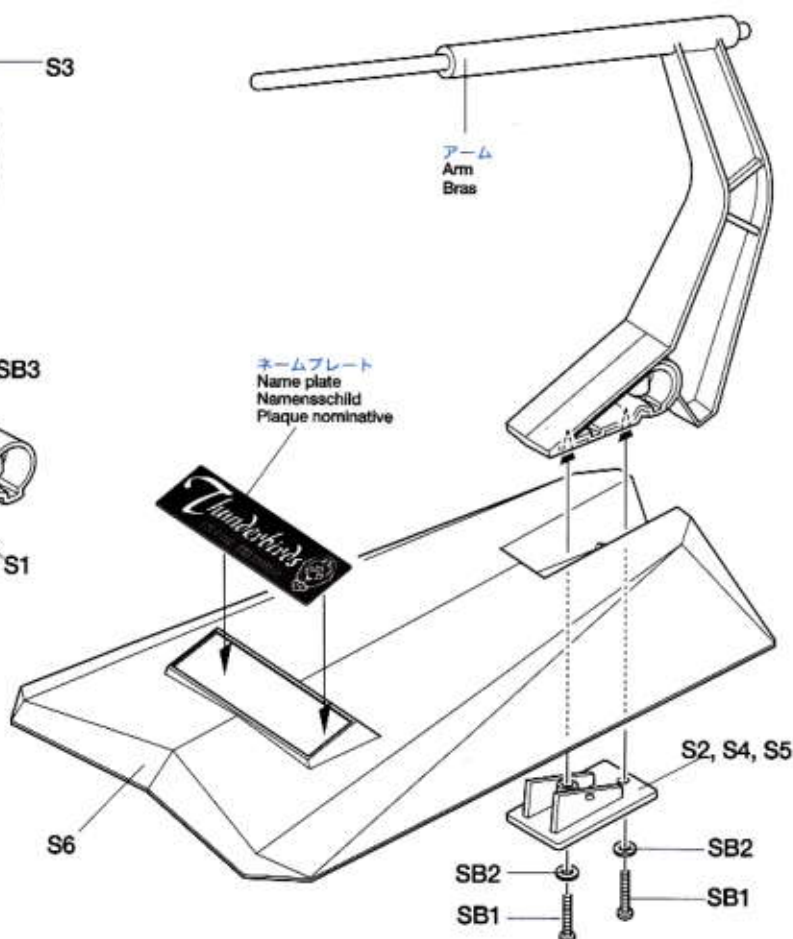
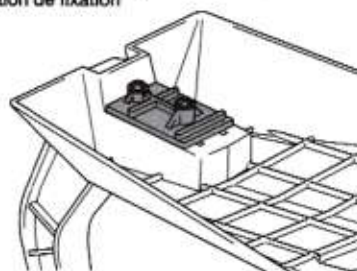
SB3

3mmナット  
Nut  
Mutter  
Ecrrou



《アーム》  
Arm  
Bras

《取り付け位置》  
Attachment position  
Befestigungs-Stellung  
Position de fixation



ネームプレート  
Name plate  
Namensschild  
Plaque nominative

S6

S2, S4, S5

SB2

SB1

SB2

SB1

- ★SB1は+ドライバー(大)で締め込みます。
- ★Tighten screws SB1 using + screwdriver (large).
- ★Die Schrauben SB1 mit + Schraubenzieher (groß) einschrauben.
- ★Serrer les vis SB1 à l'aide d'un tournevis + (grand modèle).

## 《アームの角度》

Arm angle  
Winkel des Arms  
Inclinaison du bras

- ★取り付ける部品 (S2, S4, S5) によってスタンドの角度をA, B, Cの3段階に変えることができます。
- ★Select 3 angles by using S2, S4 or S5 part.
- ★Durch Verwendung von S2, S4 oder S5 sind 3 Winkel wählbar.
- ★Choisir une des 3 inclinaisons possibles en optant pour S2, S4 ou S5.

A

(S2)



B

(S4)



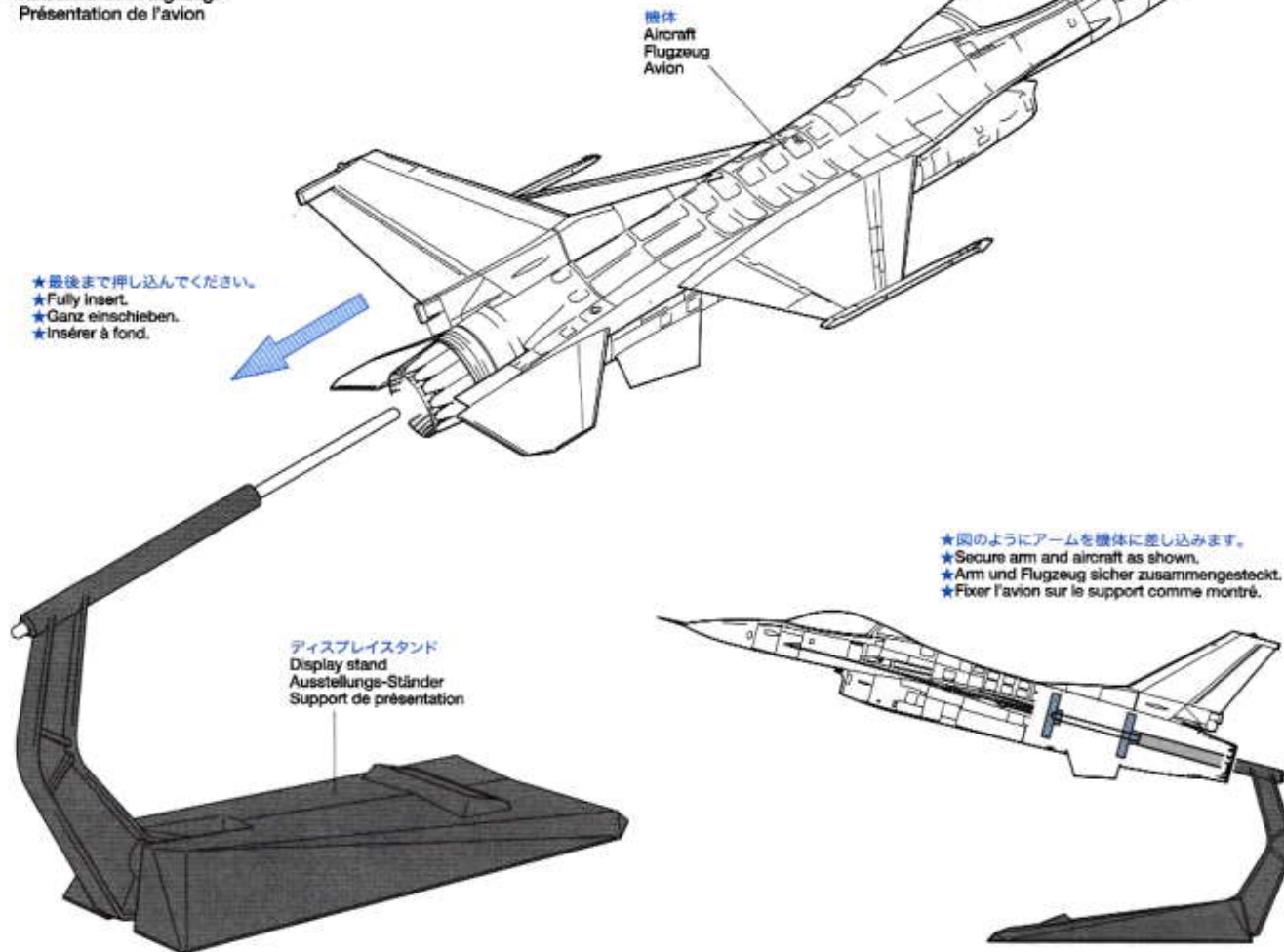
C

(S5)



**46** 機体の取り付け  
 Displaying aircraft  
 Aufteilen des Flugzeugs  
 Présentation de l'avion

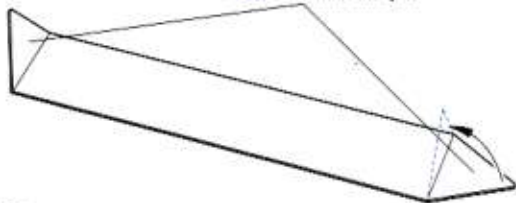
**B**



《ネームプレートの使用方法》

Name plate  
 Namenplatte  
 Plaque de nom

- ★折り曲げます。
- ★Bend as shown.
- ★Wie abgebildet biegen.
- ★Plier comme indiqué.



《セイフティーピンタグの使用法》

Safety-pin tag  
 Sicherheitsfähnchen  
 Repères des contrôles pré-vo

- ② 細いエナメル線などを使い、図のように工作してください。  
 Use thin wire, etc. (not included)  
 Benutzen Sie dünnen Draht, usw. (nicht enthalten)  
 Utiliser du fil fin, etc... (non fourni)



- ★セイフティーピンタグは飛行前にチェックが必要な部分や爆弾の安全ピンなどに取り付けておくものです。お手持ちの資料を参考に取り付けてください。
- ★The safety-pin tags are attached to vital aircraft components that require ground crew inspection. Attach these tags referring to your own materials.
- ★Die Sicherheitsfähnchen werden an wichtigen Teilen des Flugzeugs angebracht, welche von der Boden-Crew überprüft werden müssen. Diese Fähnchen entsprechend Ihren eigenen Unterlagen anbringen.
- ★Ces fanions sont fixés aux éléments de l'appareil nécessitant une inspection par le personnel au sol. Attachez-les en vous référant à votre documentation personnelle.

**STORING MODEL**

完成したモデルは各部を分解して箱に収納できます。収納方法は下記に示しました。

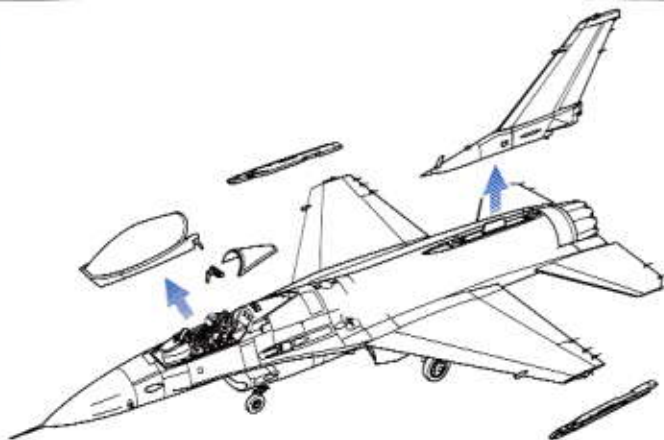
① まずキャノピーと垂直尾翼を取り外します。この時、人形やエンジンが抜け落ちる場合がありますので十分注意します。外したキャノピーは付属のチャック付きビニール袋に入れます。

Assembled model can be perfectly stored in the box.  
 ① Detach canopy and vertical fin. Store canopy in vinyl bag included in kit.

Das zusammengebaute Modell kann perfekt in der Schachtel aufbewahrt werden.  
 ① Kanzel und Seitenleitwerksflosse abnehmen. Die Kanzel im Vinylbeutel, der dem Bausatz beiliegt, verstauen.

Le modèle assemblé peut être parfaitement calé dans la boîte.  
 ① Enlever la verrière et la dérive. Ranger la verrière dans le sac vinyle fourni dans le kit.

**1**





②中蓋の足はミシン目になっていますので、図の位置から切り離します。

② Cut storage base as shown.

② Den Karton zum Verstauen wie abgebildet zuschneiden.

② Découper le carton de calage comme montré.

③中蓋に穴を開けます。穴はミシン目になっていますので、切れ目を入れて指示の方向に折り曲げます。また図中に指示のある場合はその指示に従ってください。

③ Make holes in storage base. Cut lines and fold as indicated. Follow instructions in the illustrations below.

③ Die Öffnungen in den Verstaukarton schneiden. Die Linien ritzen und wie abgebildet falten. Befolgen Sie dabei die unten bei den Abbildungen stehenden Anleitungen.

③ Percer les trous dans le carton. Découper selon les lignes et plier comme montré. Suivre également les instructions sur les illustrations ci-dessous.

★し字に折り曲げます。  
★Fold in to form L shape.  
★In L-Form falten.  
★Plier en L.



★山折りにします。  
★Fold in.  
★Erhöhung falten.  
★Pliage intérieur.



★し字に折り曲げます。  
★Fold in to form L shape.  
★In L-Form falten.  
★Plier en L.



④取り外したミサイルランチャーおよびキャノピーは付属の小箱に収納します。小箱と分解したスタンドをパッケージ内箱に収納し、その上に中蓋をかぶせます。

④ Store canopy and accessories in the small box included in kit. Place the small box and display stand under the storage base.

④ Verstauen Sie die Kanzel und das Zubehör in der dem Baupack beiliegenden kleinen Schachtel. Legen Sie die kleine Schachtel und den Ausstellungsstander unter die Grundplatte der Verpackung.

④ Ranger la verrière et les accessoires dans la petite boîte incluse dans le kit. Placer la petite boîte et le support de présentation sous le fond.

⑤中蓋に本体、垂直尾翼を図のように収納してください。

※本収納箱はパッケージを利用した一時的なものです。パッケージの上に物を重ねたり、強く押すと中の完成品が破損する場合があります。展示や保管には市販のケースをご利用ください。

⑤ Place fuselage and vertical fin on storage base as shown.

※Do not place things on the package or handle roughly while model is stored inside. This will damage the model. Use separately sold display case for high quality display and extra protection.

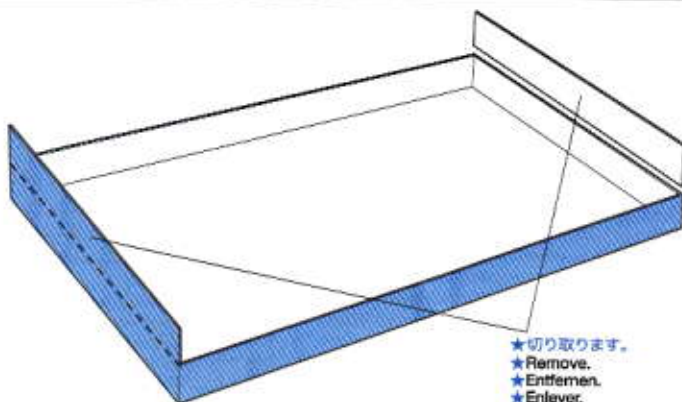
⑤ Den Rumpf und das Seitenleitwerk wie abgebildet im Verstaukarton anordnen.

※Legen Sie keine Gegenstände auf die Verpackung oder drücken Sie diese, wenn das Modell darin verstaut ist. Das Modell wird dadurch beschädigt. Wenn Sie mehr Sicherheit wünschen, verwenden Sie eine getrennt erhältliche Ausstellungs-Box.

⑤ Placer le fuselage et la dérive dans le carton de calage comme montré.

※Ne pas placer d'objet sur la boîte. Ne pas la pousser avec le modèle à l'intérieur. Cela endommagerait le modèle. Utiliser une boîte vitrine, disponible séparément, pour plus de protection.

2



★切り取ります。  
★Remove.  
★Entfernen.  
★Enlever.

3

★谷折りにします。  
★Fold out.  
★Mulde falten.  
★Pliage extérieur.

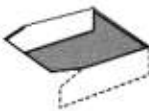


★谷折りにします。  
★Fold out.  
★Mulde falten.  
★Pliage extérieur.

★切り抜きます。  
★Cut out.  
★Ausschneiden.  
★Découper.



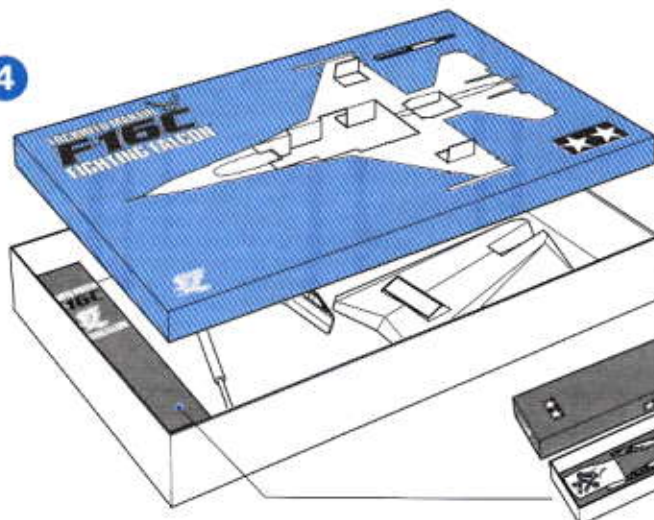
★山折りにします。  
★Fold in.  
★Erhöhung falten.  
★Pliage intérieur.



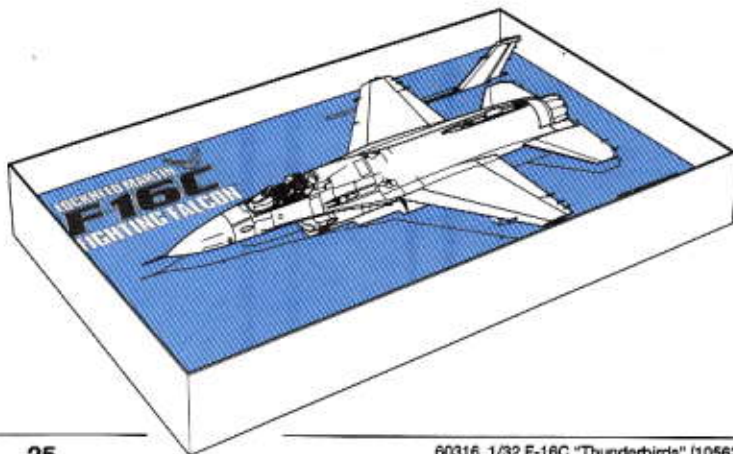
★谷折りにします。  
★Fold out.  
★Mulde falten.  
★Pliage extérieur.



4



5



# PARTS

## A PARTS ×1 9006434

スライドマーク a .....×1  
Decal sheet 1406215  
Abziehbild-Blatt  
Décalcomanies

スライドマーク b .....×1  
Decal sheet 1406216  
Abziehbild-Blatt  
Décalcomanies

スライドマーク c .....×1  
Decal sheet 1406217  
Abziehbild-Blatt  
Décalcomanies

セイフティピンタグ .....×1  
Safety-pin tag 1246006  
Sicherheitsfährchen  
Repères des contrôles pré-vo

ネームプレート .....×1  
Name plate 1426062  
Namensschild  
Plaque nominative

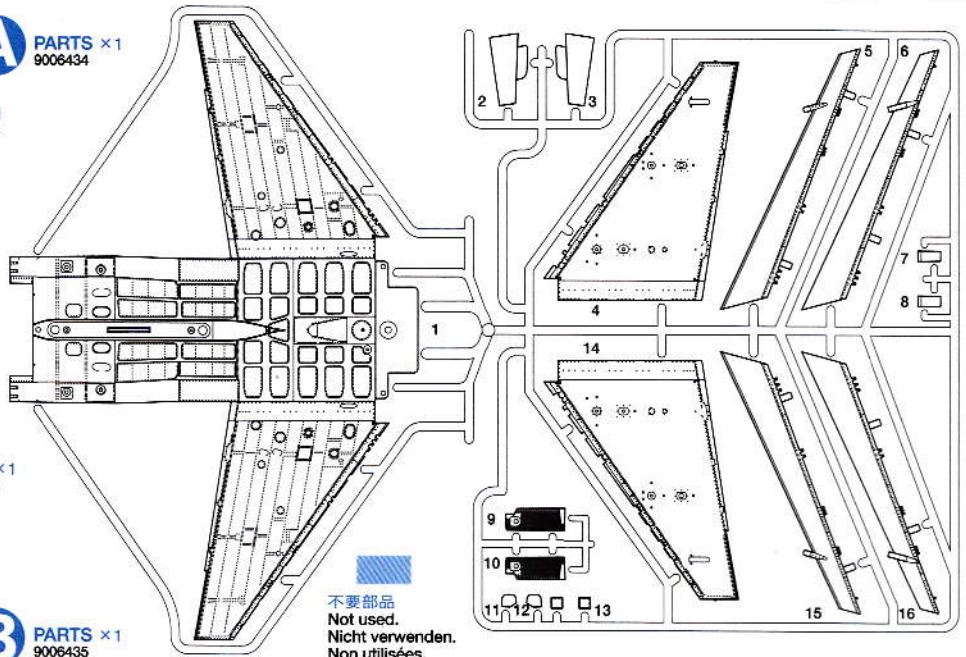
マスクシール .....×1  
Masking sticker 1426059  
Abkleber  
Cache

モルディングステッカー .....×1  
Sticker 1426061  
Aufkleber

● スモーク部品 / Smoke parts 9336085  
/ Rauchfarbene Teile / Pièces fumées

## B PARTS ×1 9006435

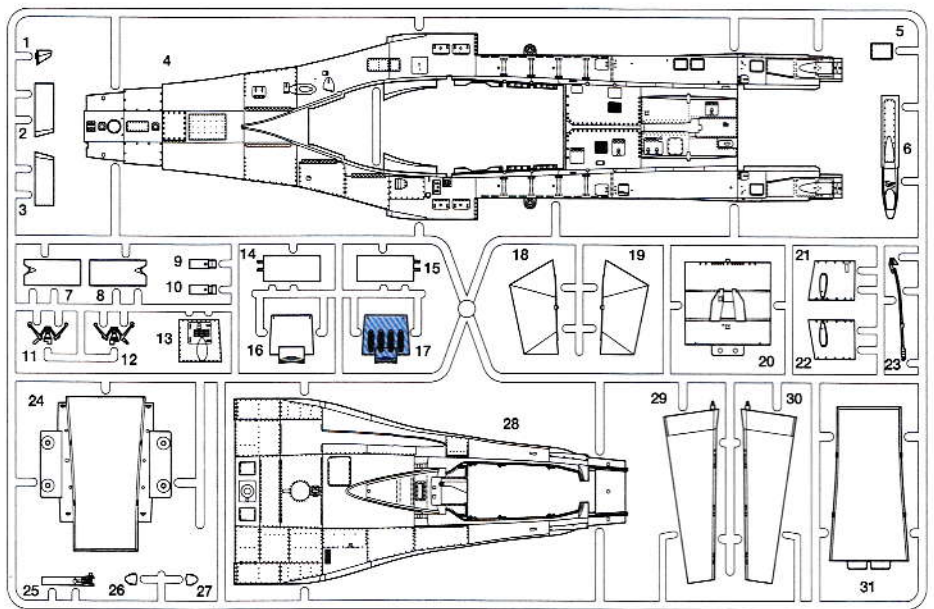
不要部品  
Not used.  
Nicht verwenden.  
Non utilisées.



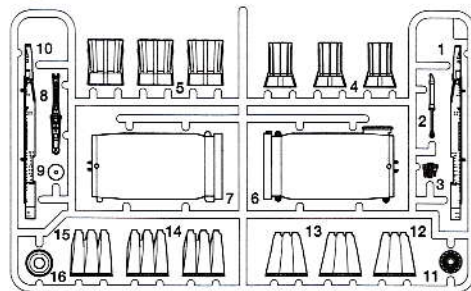
## L PARTS ×1 9116019

キャンピー前部 .....×1  
Front canopy  
Vorderes Kabinendach  
Verrière avant  
9336084

キャンピー後部 .....×1  
Rear canopy  
Hinteres Kabinendach  
Verrière arrière  
9336084



## R PARTS ×2 0006452

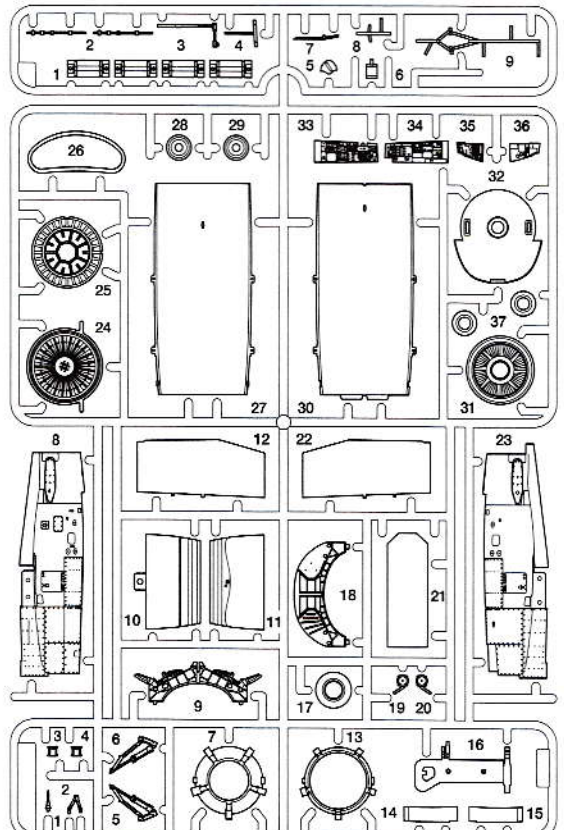
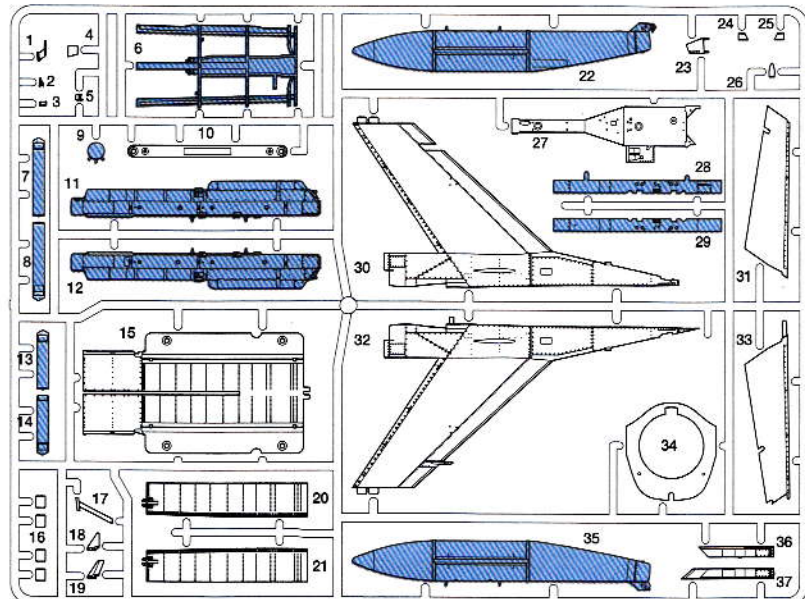


## Q PARTS ×1 9116024

ノーズコーン .....×1  
Nose cone  
Bughaube  
Radôme  
9006440

## P PARTS ×1 9116024





## C PARTS ×1 9006436

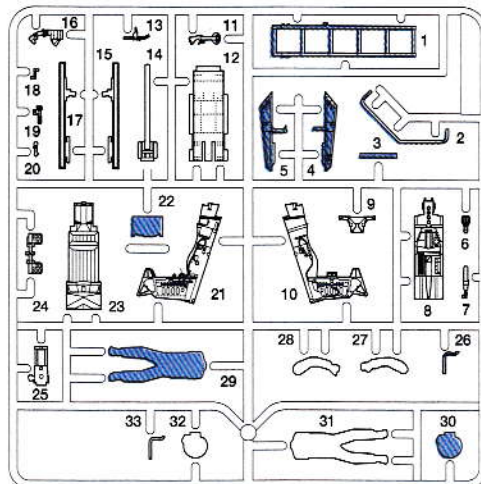
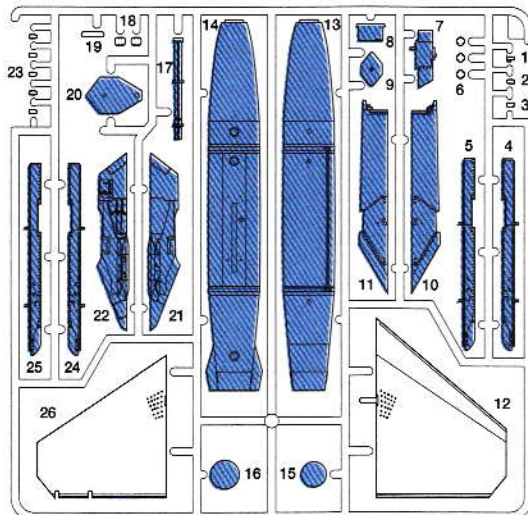


# PARTS

## E PARTS ×2 0006451

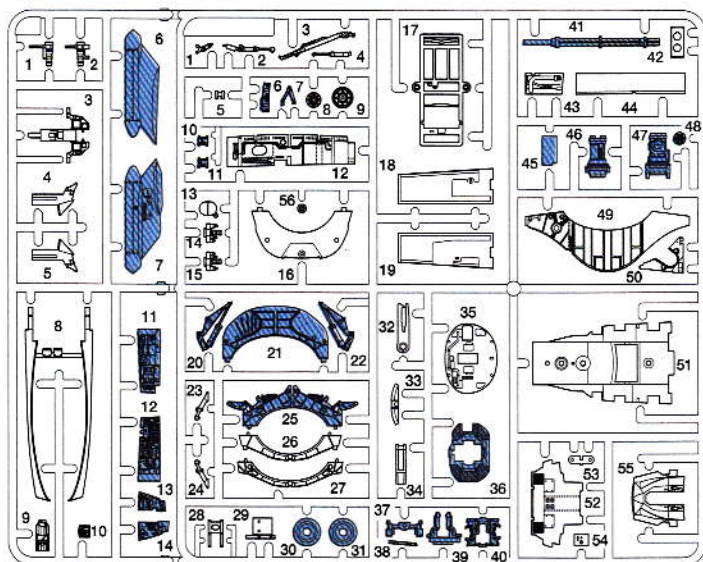
## G PARTS ×1 9006408

-  **タイヤ (小)** .....×1  
Tire (nose landing gear)  
Reifen (Bugfahrwerk)  
Pneu (train avant)  
0118031
-  **タイヤ (大)** .....×2  
Tire (main landing gear)  
Reifen (Hauptfahrwerk)  
Pneu (train principal)  
0118031
-  **5mm オリング** .....×2  
O-ring 9905701  
O-Ring  
Joint torique
-  **ポリキャップ (小)**  
Poly cap (small)  
Kunststoff-Nabe (klein)  
Pièce de jonction (petite)  
0446168

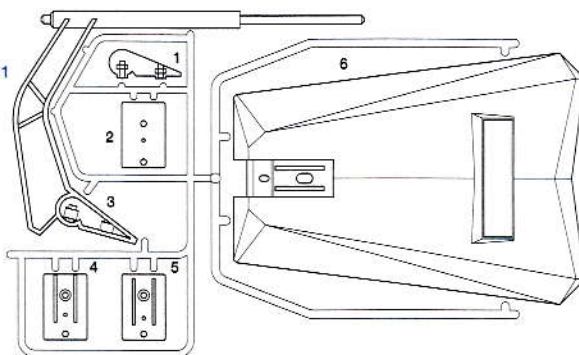


## N PARTS ×1 9006407

## F PARTS ×1 9006407




## S PARTS ×1 0446176



**スタンド金具袋**  
STAND PARTS BAG  
STÄNDER TEILE-BEUTEL  
SACHETS DES PIÉCES DU  
SUPPORT 9486006

 **3mm ワッシャー**  
Washer  
Beilagscheibe  
Rondelle  
**SB2 ×2**

 **3 × 18mm 丸ビス**  
Screw  
Schraube  
Vis  
**SB1 ×2**

 **3mm ナット**  
Nut  
Mutter  
Ecrou  
**SB3 ×2**

**金具袋**  
METAL PARTS BAG  
METALLTEILE-BEUTEL  
SACHET DES PIÉCES  
METALLIQUES

**+ドライバー (小)** .....×1  
+ Screwdriver (small)  
+ Schraubenzieher (klein)  
Tournevis + (petit)  
2990007

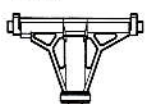


**+ドライバー (小) 用アダプター** .....×1  
Adapter for + screwdriver (small)  
Adapter für + Schraubenzieher (klein)  
Adaptateur pour tournevis + (petit)

**MS1** 0.7 × 13.5mm シャフト  
×4  
9446024  
Shaft  
Achse  
Axe

**前脚** .....×1  
Nose landing gear  
Bugfahrwerk  
Train avant  
7806073

**MS2** 0.7 × 6mm シャフト  
×2  
9446023  
Shaft  
Achse  
Axe



**MS3** 0.5 × 5.5mm シャフト  
×15  
9446024  
Shaft  
Achse  
Axe

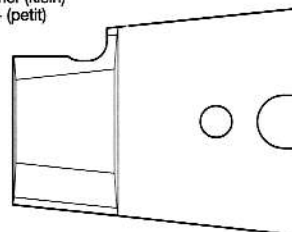
**ピトー管** .....×1  
9446023  
Pitot tube  
Pitot-Rohr  
Tube de pitot

**ポリキャップ (大)** .....×10  
9442022  
Poly cap (large)  
Kunststoff-Nabe (groß)  
Pièce de jonction (grande)


**糸 (15cm)** .....×1  
8020007  
String (15cm)  
Leine (15cm)  
Ficelle (15cm)


**エッチングパーツ (a)** .....×1  
9406135  
Photo-etched parts  
Fotogeätzte Teile  
Pièces photo-découpées

**バラスト** .....×1  
Ballast  
Gewicht  
Lest  
7806073



**ビス袋** 9486005  
SCREW BAG  
SCHRAUBENBEUTEL  
SACHET DE VIS

 **1.6 × 3mm 丸ビス**  
Screw  
Schraube  
Vis  
**MB4 ×1**

 **1.4 × 4mm 丸ビス**  
Screw  
Schraube  
Vis  
**MB5 ×2**

 **1.2 × 4mm 丸ビス (黒)**  
Screw (black)  
Schraube (schwarz)  
Vis (noire)  
**MB6 ×1**

 **六角リベット**  
Hex head rivet  
Sechskant-Niete  
Rivet à tête hexagonale  
**MB7 ×2**

 **3 × 6mm タッピングビス**  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse  
**MB1 ×1**

 **2 × 4mm タッピングビス**  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse  
**MB2 ×15**

 **1.4 × 3mm タッピングビス**  
Tapping screw  
Schneidschraube  
Vis taraudeuse  
**MB3 ×4**

 **平リベット**  
Flat head rivet  
Flachkopf-Niete  
Rivet à tête plate

